

ロータリーの友

THE ROTARY-NO-TOMO NOVEMBER 2014 VOL.62 NO.11

ロータリーの友11月号 第62巻 第11号
平成26年11月1日発行(毎月1回1日発行)
通巻743号 昭和28年1月創刊
昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

11
2014

ロータリー財団月間
世界でよいことをする
世界インターアクト週間
明日へ 未来へ インターアクター

Rotary 



宗教も哲学も
有意義な行動に結びつかなければ、
死んだも同然です。

ロータリーの創始者 ポール・ハリス





ロータリーの友情と 奉仕に輝きを



黄其光 (Gary C.K. Huang)

2014 - 15 年度 RI 会長
台湾・台北 RC

親愛なるロータリアンの皆さん、「ロータリーに輝きを」に努める年度も 4 か月が過ぎ、私は今まで以上にロータリーを楽しんでいます。22 か国の、数十もの都市を訪れ、可千人ものロータリアンに会いました。見事なプロジェクトを目にし、ロータリアンたちが世界のあらゆるところで行っている素晴らしい活動に、繰り返し、繰り返し刺激を受けました。また、私はクラブの例会からロータリー研究会に至るまで、ロータリーデーから財団の晩餐会に至るまで、ロータリーのさまざまな行事に出席する機会に恵まれています。

どれも忘れることのできないイベントですが、特に光栄に思うのはクラブのお祝いの席に招かれた時です。私にとって、国際ロータリー (RI) の会長としてロータリークラブの祝賀会に出席することは、賓客として家族のイベントに招待されたようなものです。実際、ロータリーは世界で最も大きな家族です。

ロータリーは奉仕と友情から成り立つ建物

ロータリーは奉仕から成り立っていると言えます。一つひとつのプロジェクトというレンガから成る大きな建物、それがロータリーなのです。私たちの奉仕をレンガとするなら、レンガ同士をつなげるモルタルが友情であることに疑いはありません。このようなことを私は日々経験していますが、創立 100 周年を迎えたロータリークラブの祝賀イベントほどそれが顕著になる場はありません。

創立 110 周年の年に国際ロータリーの会長になり、このようなイベントに参加することができて、私は幸運でした。長年、奉仕を実践しているクラブを訪れた時、その秘訣を知りたくなるのは当然のことです。なぜならば、長年奉仕を実践しているクラブは、とても建設的なクラブであると注目していたからです。彼らは大きいです。彼らは活動的です。そして彼らは素晴らしい活動をしています。

それだけでなく、活動することで素晴らしい時間を過ごしています。

生活に輝きを与えるロータリーの友情

もちろん、それが彼らの秘訣です。ロータリーには、強い友情と素晴らしい奉仕とが密接な関係にあります。活動が楽しければ、活動をしたくなります。さらに熱心に、より良い活動がしたくなります。私たちはロータリーの会合を楽しみにしています。たとえ忙しくてもロータリーを優先します。なぜならば、友達に会いたいから。そして奉仕をしたいから。

109 年以上たった今もロータリーがあるのは、そんな理由からです。

如果人生没有朋友 就等於没有太陽

友のいない生活は、太陽のない生活のようなものである。

ロータリーの友情は、私たちの人生に輝きを与えます。そして、奉仕と同様、ロータリーの友情は、「ロータリーに輝きを」を与えるもののなのです。

Gary C.K. Huang

2014-15 年度 国際ロータリー会長

ROTARY
JAPAN
Home Page www.rotary.or.jp

『Rotary Japan』のホームページに、英文の RI 会長メッセージを掲載しています。

11月はロータリー財団月間です
11月3～9日は世界インターアクト週間です

- 3** RI 会長メッセージ
ロータリーの友情と奉仕に輝きを 
RI 会長 黄 其光
-
- 22** よねやまだより
"よねやま"から広がる新しい世界 ①
スリランカの学校に音楽隊を
松戸西RC 三浦 幹敏
米山学友 サジーワニー・ディサーナーヤカ
-
- 24** ロータリーデー
生駒RC/高山中央RC/浦和南RC
アメリカ・オハイオ/オレゴン
-
- 27** 被災地で見た笑顔
フィリピンレイテ島 ポリオミッション報告
第2650地区フィリピンミッション
福井フェニックスRC 松原 六郎
-
- 30** 心は共に 東日本大震災
日仏合同プロジェクト ツール・ド・フランス
出発点サンジロンから気仙沼・釜石へ
東京恵比寿RC 織田ゆり子
-
- 32** Rotary いま……
日本で、世界で開催されるロータリーデー
-
- 6** ■ロータリーとは
33 ■エバンストン便り
34 ■管理委員長の思い 
43 ■ロータリー掲示板
新クラブ・RC事務所住所変更・RC例会変更・IAC名称変更・
2015年3～6月号『友』誌表紙写真再募集・広報誌のご案内・
RAC名称変更・RAC終結・『友』誌ご購読部数変更について
のお願い・地区別クラブ数/会員数/出席率一覧表・
『友』12月号主要記事予定
45 ■日本ロータリー分布図
45 ■奥付

特集 ロータリー財団月間

- 7** 世界でよいことをする
- 8** グローバル補助金によるインド少数民族の「E-3村」自立支援プロジェクト
芦屋RC 国際奉仕委員長 松本 裕夫
- 10** UNHCRで今も活躍する元ロータリー財団奨学生・ロータリー平和フェロー
国連UNHCR協会 ファンドレイジンググループ団体統括
中村 恵
- 13** 「ロータリー平和フェローシップ」入門
ロータリー平和センター・ホストエリアコーディネーター補佐
山崎 敬生

特集 世界インターアクト週間

- 16** 明日へ 未来へ
インターアクター
第2640地区/川内商工高校IAC/
大森学園高校IAC/第2510地区/金沢高校IAC・
藤花学園尾山台高校IAC・遊学館高校IAC・
金沢商業高校IAC/第2530地区/第2780地区・
第2620地区/豊岡総合高校IAC/第2640地区/
第2820地区/第2660地区/鎮西学院高校IAC/
大分舞鶴高校IAC/第2540地区/第2630地区/
第2580地区/第2550地区/柳井商工高校IAC/
柳川高校IAC/花園高校IAC/啓明学園IAC
- 21** 第3回全国インターアクト研究会
第1回全国インターアクト委員長会議報告
全国インターアクト研究会・
全国インターアクト委員長会議実行委員長
RIローターアクト・インターアクト委員会委員 三木 明
- 35** ロータリー入門
GLOBAL OUTLOOK 
ロータリアンのための
パブリックスピーキング入門
THE ROTARIAN 11月号

一般社団法人 ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

ROTARY
JAPAN
Home Page 
www.rotary.or.jp



P7～15 ローターリー財団では、若い人たちの支援をしています

©Rotary International / Alyce Henson

ロータリーの友 委員会	特別顧問	中山 義之(横浜南)	地区 代表委員	2500 佐藤 真康(帯広)	2830 中畑 肇(弘前西)	2650 橋本 和典(奈良大宮)
		神崎 正陳(茅ヶ崎湘南)		2510 柳 孝一(札幌横南)	2840 島津 文弘(高崎北)	2660 藤田誠一郎(大阪帝塚山)
		上野 孝(横浜)		2520 佐藤 澄子(盛岡滝ノ沢)	2580 石橋 正男(東京東江戸川)	2670 石川 浩(高松南)
		安平 和彦(姫路)		2530 金平 祖隆(福島北)	2590 長戸はるみ(川崎高津南)	2680 熊見 一郎(神戸須磨)
		片岡 信彦(土浦南)		2540 加賀 美奈(大曲)	2600 山口 健雄(伊那)	2690 榎山 義晴(益田)
	顧問	本田 博己(前橋)		2550 伊藤 一男(大田原)	2610 小間 茂雄(高岡)	2700 廣澤 元彦(小倉東)
		志田 洪顕(静岡)		2560 山内 正胤(十日町)	2620 阿部 正義(浜松北)	2710 田頭 和規(福山南)
		大室 僑(宝塚武庫川)		2570 今泉 博(川越)	2630 加藤真左子(多治見西)	2720 高山龍五郎(大分)
		鈴木 喬(東京江北)		2770 宮下 守夫(大宮シティ)	2750 西澤 宗英(東京渋谷)	2730 深尾 兼好(鹿児島西)
		水野 功(東京飛火野)		2790 寺川 典秀(千葉幕張)	2760 岩瀬淳一郎(豊川)	2740 杉原 宏一(諫早北)
委員長	橋本 長平(京都東)		2800 御橋 広真(鶴岡西)	2780 加藤 盛久(茅ヶ崎湘南)		
副委員長	清水 良夫(横浜)		2820 木曾 正明(日立)	2640 京谷 知明(堺フェニックス)	編集長	
R I 理事	北 清治(浦和東)				二神 典子(東京築地)	
R I 理事	杉谷 卓紀(玉名)					

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数34,578、会員総数1,185,074人（2013年7月1日RI公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,277、会員数88,360人（2014年8月末現在）となっています。

2014 - 15 RI テーマ



Light Up Rotary

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

特集 ローターリー財団月間

世界でよいことをする



The
Rotary
Foundation



アーチ C. クランフ



グローバル補助金による インド少数民族の「E-3村」自立支援プロジェクト

芦屋RC 国際奉仕委員長 松本 裕夫

共感・活気・地位向上

インドの西ムンバイ（旧ボンベイ）から北へ約50分のフライトでグジャラート州パローダに到着します。別名ヴァドーダラーともいう繊維産業が盛んな人口160万、古城も残る都市です。グジャラート州は、インドでは裕福な州とされていますが、舗装された市街区から東へ120kmほど砂塵のまうデコボコ道を車で走ると、州境近くに貧しい少数民族が点在するカトラヴァントという村落に到着します。地方自治体の行政支援が及ばない存在の地域です。

ラフタ、ダンカ、ビルの各部族民750人ほどが住む、160haのカトラヴァント周辺農地の年間降雨量は約950mmですが、その95%が6月から9月までの4か月間に集中、広大な農地は跡形もなく流出してしまいます。村人は、わずかな耕地で食糧確保の農業と家畜飼育でほそぼそと生活をしているものの、乾期は収入がなく、家長は近隣都市に働きに行かざるを得ません。しかし、非識字で手に技能もなく、カースト制の影響で、まともな仕事に就けず極貧生活を余儀なくされ、世代間に連鎖する貧困の罠から抜け出せずにいます。

芦屋ロータリークラブ（RC）は、2013年7月、パローダメトロRC（第3060地区）と提携し、農業灌漑や乾期の用水確保、年間を通じた農作業従事、若者・女性教育などで生活の安定を図る「E-3ロータリーモ

デル村」の建設企画に参加を決定しました。人道的重点分野の「経済と地域社会発展」、「水と衛生」、「基本的教育と識字率向上」につながるプロジェクトです。「E-3」とは「Empathize 共感→Energize 活気→Empower 地位向上」の推進計画で、生活に閉塞感の漂う部族にやる気を起こさせ、維持発展が可能なロータリーモデル村の構築です。

グローバル補助金（GG）の代表提唱クラブとなり、地区補助金申請とともに地区内クラブに呼びかけ、神戸、神戸東、神戸西、姫路、伊丹、甲子園、尼崎中の7クラブに参加をいただき、2014年4月末、ロータリー財団からGG # 1411135「Rotary E-Cube Village」として総額10万8,950ドルの承認を得ました。

2014年6月21日、マノジ・デサイ次期国際ロータリー（RI）理事（パローダメトロRC会員）、技術協力提携先団体のシュロフス財団（Shroffs Foundation Trust）のシュルティ・シュロフス理事長や多数の関係者が出席し、主役のカトラヴァント村民たちの華やかな踊りや喜びの中で、プロジェクトを開始しました。完成予定は2015年秋、人々の自立はそこからがスタートとなる息の長いプロジェクトです。

具体的な活動は、

1. 住民の生活意欲向上のため、気候条件の影響を最小化する農地と用水管理（農地の水平化と築堤で土壌流出を3分の1に防ぎ、500㎡貯水池Bori Bandを設

置する)

2. 長期的用水確保と収穫技術改善 (7,000 m³ の2つの
チェック・ダムと50か所以上の伏流水^{せき}堰止め)
 3. 21haの小規模灌漑手法指導と76haの農地面積の拡大と多毛作の実現
 4. 簡易井戸 Tanka の掘削で生活用水の確保、家畜のふんなどでつくるバイオガスの活用、女性の家事労働、農作業、保健、調理の生活改善を目指す10モデルハウス創設
 5. 部族の若者やリーダーに村落で自然変動対応と自主維持管理能力を構築する訓練実施 (政府プログラムや村落開発委員会〈Village Development Committee〉のサポート・プログラムへの参加)
- などです。

何のためにではなく、誰のために

バローダメトロRCとの出会いは、2009年にさかのぼります。3代続いて芦屋に住むインド・バローダ出身のトラバリ・ハッサン一家は、小児科医の京極正典会員一家と付き合いがあり、ハッサン氏のいとこのハキムバローダメトロRC会長から貧困部族の支援ができないかと相談を受けたのが始まりでした。旧マッチング・グラント (MG) により、バローダに近いチョウタデプルにバローダメトロRC建設の貧困部族の病院に放射線医療設備と関連機材提供しました。2011年11月のオープニング式典には、当時のカルヤン・パネルジーRI会長夫妻が、テープカットを行いました。続いて2012-13年度に、チョウタデプル周辺地域の貧困層へ、義手、義足、松葉づえ、車いすの提供をマッチング・グラントとして申請 (MG # 78623)、地区内から宝塚武庫川と尼崎中の両クラブにも参加をいただきました。

バローダメトロRCの医師団はじめ会員、シュロフス財団医療技師スタッフの労力提供の奉仕活動が6か月にわたり継続されました。為替差益で予算の余剰が生じたことから、財団から追加機材の購入許可を得、さらに2014年5月末まで2か月間活動を延長しました。

これらの活動を通じ、両クラブの相互訪問で信頼と意思疎通が図られ、立案から完了まで綿密でタイムリーなコミ

ュニケーションが取れ、各プロジェクトは当初の計画通りの成果を収めました。

第2680地区でグローバル補助金の本格的導入に当たり、目的と効果測定が明確なプロジェクトを行いたいとバローダメトロRCに呼びかけた結果、10年余の協力関係にあるシュロフス財団の技術とノウハウを得る、少数貧困部族の生活自立支援プロジェクトの提案がありました。バローダメトロRC内に灌漑の専門家がいて、予算規模が従来プロジェクトに比し巨額になるものの、従来から培った信頼と友好で実現に努力しようと日本側でも申し合わせました。

2014年3月下旬に活動予定地を訪問、実施国側の代表提唱クラブのプレマル・ガバナー補佐、メティッシュ会長、会員やシュロフス財団理事長や活動担当のスタッフと村民男女リーダー30人との懇談会、シュロフス財団の既設の職業訓練所や施設での活動打ち合わせを通じ、プロジェクト実現の確証を得て、前述の通り念願の実施に至りました。

当クラブは2012年にクラブ戦略計画を設定、以後毎年見直しを行っていますが、人道的奉仕活動分野では貧困地域への支援を柱とし、ロータリー財団補助金制度による推進を手段としています。海外との協同事業には信頼と忍耐が必須ですが、時にして異文化間での戸惑いが生じ、活動に疑念が生じる場合があります。

マザー・テレサの言葉「仕事に意欲を失ったら、『何のために』と考えるのをやめ、『誰のために』しているのかを思い出さない (If you feel reluctant to work, stop thinking "for what", but remember "for whom" you are working.)」は、貴重な支えになります。今後とも、己の特性と分限に応じた活動であることが継続可能な条件であるとする次第です。(第2680地区 兵庫県)

現地での打ち合わせ時に (中央の女性がシュルティ・シュロフス氏、右から4人目が筆者)



UNHCRで今も活躍する 元ロータリー財団奨学生・ロータリー平和フェロー

国連UNHCR協会

ファンドレイジンググループ団体統括

中村 恵 (1983 - 84 年度ロータリー財団奨学生)

UNHCR (ユー・エヌ・エイチ・シー・アール) とは、United Nations High Commissioner for Refugees の頭文字です。緒方貞子さんが1991年から2000年の10年間、国連難民高等弁務官を務め、日本では「国連難民高等弁務官事務所」という名称で知られています。

UNHCRは、難民問題を担当する国連機関として1951年に活動を開始しました。その同じ年に緒方さんは大学を卒業し、日本で2番目のロータリーフェロー(ロータリー財団奨学生)としてアメリカに留学されました(参照:『ロータリーの友』2006年11月号縦組みP④～⑧「ロータリー・フェローズ東京40周年記念特別例会講演」)。

緒方さんに続いてロータリー財団から留学の機会を得た日本人の中に、同じく人道支援の最前線に立ってUNHCRで働くことを選んだ日本人女性があります。2009年2月号横組みP5～9の記事「UNHCRで活躍する元ロータリー財団親善奨学生・ロータリー世界平和フェロー」の続編として、今もUNHCRで活躍する方々をご紹介します。

よしだのりこ
吉田典古さんは、京都・福知山ロータリークラブ(RC)の推薦を受け、財団国際親善奨学生として1988年にアメリカに留学しました。UNHCRで働くという夢を実現させ、1991年にナイジェリアに赴任。スーダン、

ジュネーブ本部アフリカ局、コートジボワール、アフガニスタン、ジュネーブ本部欧州局を経て、2008年からスーダン南部の主要都市であるジュバ事務所長として、難民の帰還・再定住支援を現場で統括しました。2011年にジュネーブ本部アフリカ局次長に就任し、在籍20年を超えたベテラン職員として活躍しています。

あかさかようこ
赤阪陽子さんは、大阪・富田林RCの推薦を受け、財団親善奨学生として1992年にアメリカに留学しました。コロンビア大学で人権や難民保護について学んだことを生かし、1997年にUNHCRに入職しました。ウクライナ、モルドバ、ミャンマー、スリランカ、パキスタン、タイを経て、2013年1月にシリアの首都ダマスカスに赴任して以来、上級フィールド調整官として最前線の現場に立ち、国内避難民の支援に尽力しています。5月に一時帰国した際に、NHKBS1「国際報道2014」に出演し、シリアでの活動について伝えました。

こうやまゆきこ
神山由紀子さんは、岐阜北RCの推薦を受け、財団国際親善奨学生として2001年にオーストラリアに留学し、国際難民法を専攻しました。2005年にモスクワに赴任し、アフガニスタン東部のジャララバード、2回目のモスクワ、パキスタンの首都イスラマバード勤務を経て、2013年以降、ネパールの首都カトマンズで、難民

ザンビアを訪問し、アンゴラ難民の定住セレモニーに参列した吉田典古さん(前列左)。

© UNHCR



UNHCRの旗を高く掲げ、人道援助機関であることを示しながら援助物資を運ぶUNHCRダマスカス事務所の赤阪陽子さん(左から4人目)

© UNHCR / B. Diab





スーダン・南ダルフールにて。養鶏支援を受けた難民および現地政府の担当者。阿阪奈美さん（左から2人目）

© UNHCR



エチオピア・ボコルマヨ難民キャンプ。キャンプ内の子ども用遊び場に集うソマリア難民の子どもたちと。阿阪奈美さん（前列左から3人目）

© UNHCR

認定および第三国定住に関わる業務に携わっています。2014年9月5日、神山さんはUNHCRカトマンズ事務所代表とともに、地元のロータリークラブの朝例会に招かれる機会があり、難民への支援を訴えました。

細井麻衣さんは、兵庫・神戸RCの推薦を受け、ロータリー平和フェローとして2003年からアメリカで平和と紛争解決について学びました。2006年からジュネーブ本部に勤務し、2008年5月からミャンマーサイクロン被災者への緊急援助に2か月間従事しました。他の機関への出向を経て、2013年からタイの首都バンコクを拠点とする民間ファンドレイジング担当官として、日本を含むアジア・太平洋地域をカバーしています。

今もUNHCR在職中の前回の記事でも取り上げた以上の4人に加えて、今回、新たにもう1人ご紹介さ

せていただきます。

阿阪奈美さんは、東京東中野RCの推薦を受け、財団国際親善奨学生として2005年にイギリスに留学しました。（財）アジア福祉教育財団難民事業本部にて、日本における難民認定申請者に対する支援などに携わった後、2008年にUNHCRに入職し、南スーダン（当時スーダン、以下同）のジュバに赴任しました。スーダンのダルフール、エチオピアを経て、2013年3月に再び南スーダンに戻り、保護官を務めています。

阿阪さんは、大学時代にケニアのカクマ難民キャンプでボランティア活動に従事して以来UNHCRの仕事に興味を持ち、UNHCRで働くことを目標にしていました。当時は日本の大学院に国際人権法・難民法の修士号コースがほとんどなく、ロータリー財団の奨学金を得て、この分野で定評のあるイギリスのエセックス大学大

6月20日「世界難民の日」にUNHCRカトマンズ事務所の同僚たちとともに。神山由紀子さん（左から2人目）

© UNHCR

UNHCRヤンゴン事務所に勤務していたころの細井麻衣さん。同事務所の運転手さんたちとともに

© UNHCR





UNHCR職員としてミャンマー北西部ラカイン州で活動していた当時の筆者
(左端) © 国連UNHCR協会

学院に留学できました。UNHCRでは一貫して難民・国内避難民の保護に従事していますが、どのような保護活動をするにも国際人権法・難民法は常に基礎となっています。

阿阪さんは、UNHCR職員として初めて赴任した南スーダンのジュバで、少人数のロータリアンが集まり、南スーダン初のロータリークラブ（ジュバRC）立ち上げに携わっている姿を見ました。「2011年7月の独立直前に、世界で一番新しい国となろうとしていた南スーダンを支援するため、ロータリアンとしての使命を全うしようとしている方々が集う姿に、彼らの“Service Above Self（超我の奉仕）”の精神を感じました」

私も、松戸東RC（第2790地区・千葉県）の推薦を受け、財団奨学生として1983－84年度年にフランスに留学させていただきました。1989年以降、ジュネーブ本部、東京、ミャンマー北西部ラカイン州で勤務しました。2000年にUNHCRの公式支援窓口となるNPO法人国連UNHCR協会（2009年記事では日本UNHCR協会、その後名称変更）の設立に関わり、国連の難民支援活動を後方から支えるファンドレイジングに従

事しています。

近年、日本では、寄付を募ることを表す英語 fundraising（ファンドレイジング）、その活動に従事する人を表す英語 fundraiser（ファンドレイザー）が、カタカナで普通に使われるようになってきました。国連UNHCR協会は、UNHCRの活動を資金面から支えるために、さまざまな挑戦を続けています。少しでも良い世界を次の世代に残したいという思いを受け止めるとともに、形にしていけることが、私たち一人ひとりの責務だと肝に銘じながら、日々の職務に取り組んでいます。

現在、最も多くの難民を出している国はシリアです。2011年3月以降の内戦によって、すでに300万人以上の市民がレバノン、ヨルダン、トルコ、エジプトなどの周辺国に逃れました。シリア国内でも650万人以上が、家を追われ、国内避難民となっています。また、スーダンと南スーダン、ソマリア、エチオピア、マリ共和国、中央アフリカ共和国、コンゴ民主共和国など、アフリカ各地でも緊急事態が続発し、UNHCRは人々の命を守るために各現場の最前線で援助活動に力を尽くしています。

留学という貴重な機会を通して、難民支援を担う人材を育ててくださったロータリーの皆さまには、これからもUNHCRの活動を見守り、支えていただきたく、心からお願い申し上げます。

<お問い合わせ先>

国連UNHCR協会

電話 03-3499-2450 ファクス 03-3499-2273

Eメール nakamura@japanforunhcr.org（中村宛）

<ご寄付受付窓口>

ゆうちょ銀行

口座番号：00140-6-569575

加入者名：国連UNHCR協会

※通信欄に「307：ロータリーの友」とお書き添えいただければ幸いです。

ロータリー財団学友とロータリー平和フェロー

ロータリー財団は、1917年、アーチ C. クランフ国際ロータリー会長が「世界でよいことをするために」基金の設置を提案し、発足。1928年国際大会でロータリー財団と名づけられました。

1947年、財団初のプログラム「Fellowships for Advance Study（高等教育のためのフェローシップ）」

（後の国際親善奨学金）を開始。日本からの2人目のフェローが緒方貞子氏です。

2002年、平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センター（現、ロータリー平和センター）プログラムがスタート。国際基督教大学にロータリー平和センターの一つがあり、ロータリー平和フェローが学んでいます。



「ロータリー平和フェローシップ」入門

ロータリー平和センター・ホストエリアコーディネーター補佐 山崎 敬生

2002 - 03 年度から始まったロータリー平和センタープログラムも、今年で 13 年目を迎えました。当初は試験的プログラムとして開始されましたが、今では教育的分野の優先プログラムとなっています。

『ロータリーの友』や『ガバナー月信』などに度々掲載されていますが、まだまだご存じない会員の方々も多いとのことで、問答形式にてできるだけわかりやすく修士号取得プログラムについて寄稿させていただきます。

ロータリー平和センタープログラムには、このほかには、平和と紛争解決の分野ですでに中間または上級職に従事している人を対象にした 3 か月の専門能力開発修了証プログラムがあります。このプログラムにつきましては、日本からの応募者がほとんどありませんので、割愛しました。

ロータリー平和フェローシップについて知る機会がありません。このプログラムはいつ、どのような次第で始まったのでしょうか。

スタートしたのは 2002 - 03 年度からですが、実はこのプログラムにはロータリーの生みの親、ポール・ハリスが深く関わっています。

ポールが亡くなったのは 1947 年。その没後 50 年を記念したロータリー財団の新しいプログラムが、ラジェ

ンドラ・サブー元国際ロータリー（R I）会長を中心に検討されました。ポールが 2 度の世界大戦の時代を生き、戦争による悲惨さに心を痛め、世界平和の難しさを痛感しながらロータリーを通じて世界平和を求めていると願っていたのはご存じでしょう。

そのことは先輩のロータリアンから伺ったことがあります。

サブー氏たちは平和学を中心とするロータリー大学新設を考えましたが、それは難しいとわかり、平和研究に優れた大学の中にロータリーが平和センターを新設することに決め、世界の大学からの選定作業を進めました。そして最終的に 8 大学 7 センターが決定したのです。

アメリカ	カリフォルニア大学バークレー校 デューク大学／ノースカロライナ大学
イギリス	ブラッドフォード大学
フランス	パリ政治学院
日本	国際基督教大学（ICU）
オーストラリア	クイーンズランド大学
アルゼンチン	サルバドル大学

以上の 7 センターで始まりましたが、現在はバークレー校、パリ政治学院、サルバドル大学の 3 校が廃止され、新たにスウェーデンのウプサラ大学が加わり 6 大学 5 センターとなっています。

アメリカ	デューク大学／ノースカロライナ大学 チャペルヒル校
イギリス	ブラッドフォード大学
日本	国際基督教大学（ICU）
オーストラリア	クイーンズランド大学
スウェーデン	ウプサラ大学

プログラム名称はどのように決まりましたか。

ポール・ハリス国際研究センターと命名しようとしたが、一般にはポールの名前は周知されていません。そこで正式には「平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー平和センター」となりましたが、現在は「ロータリー平和センター」で統一されています。

ロータリー平和フェローの応募と選考について教えてください。

国際理解と平和に対する熱意と献身をお持ちの方で、学士号またはそれに相当する学位があり、平和関連分野で3年以上の職歴があれば、有資格者です。ただし英語を含む2か国語に堪能であることが求められます。

窓口はロータリークラブです。クラブで対応が難しい場合は、地区のロータリー財団委員会にご相談ください。

応募者はクラブを通して地区に申請します。地区で選出し、ガバナー、地区財団委員長またはロータリー平和フェローシップ委員長が承認した上で、申請書をロータリー財団に送ります。以前は各地区1人でしたが、今は地区から何人でもかまいません。ロータリー財団への申請締め切りが7月1日ですから、各地区での申請書の受付、選考はそれ以前に実施されることになります。ロータリー財団に届いた申請書を基に、10月、ロータリー平和センター委員と各センター長が、アメリカ・イリノ

イ州エバンストンにあるR I世界本部に集まって厳しい書類選考を行い、各センター10人程度の合格者を決定します。

日本からの応募状況はどうですか。

残念ながら大変に少ないのが現状です。昨年度はたった5人で合格者は1人でした。過去13年間でも合格したのは27人にすぎません。

なぜ、日本からは応募者が少ないのでしょうか。

日本が平和国家であるという現状もあるでしょうが、それでも海外で平和活動する若者も増えています。ロータリーとしてももっとこのプログラムを世間に知ってもらう必要があります。全国のロータリアンの皆さまが理解することで、先も開けてくると確信します。

ぜひ、そうなってほしいです。ではロータリー平和フェローに支給される奨学金はどこから出ているのでしょうか。

はい、一番の原資は地区からのDDF（地区財団活動資金）からの寄贈と個人の大口寄付です。地区には毎年、3年前に皆さまが寄付された年次基金50%がDDFとして戻され地区の財団活動資金となりますが、その中からこのプログラムに寄贈がなされています。金額は地区の裁量ですから一律ではありません。日本でも当初は全地区が寄贈されています。ということは、皆さまの寄付もこのプログラムに生かされています。

恒久基金2万5,000ドル以上から冠名基金を設立できます。これには100万ドルを寄贈された田中作次元R I会長を筆頭に日本で60人近い方々で総額630万ドルに達しています。また、地区はDDF2万5,000ドル以上を寄贈して冠名基金を設立することができます。第2650地区と第2770地区はDDF50万ドルで冠名基金を設立し、おおよそ3～4年に1人のロータリー平和フェローを支援しています。世界中の地区や個人からの寄贈を基金としてその運用益がこのプログラムに使われています。

ロータリー平和フェローにかかる奨学金の額はどのくらいですか。

各センターにより違いはあるでしょうが、日本で学ぶロータリー平和フェローには8万ドル程度と聞いております。ICUの学費、居住費、食費、旅費、そして夏季休暇中の2～3か



月間の実践的なインターシップなどです。

よくわかりました。次にロータリー平和フェローを支援するロータリー側のことを伺います。よく聞くホストエリアとは何ですか。

I C Uは東京三鷹市に所在しますので、第2750地区がホスト地区になりました。プログラムがスタートする前から尽力された故・岩井敏パストガバナー（元ロータリー日本財団理事長）、田中作次元R I会長などの先見の明で、近隣5地区を含めた6地区合同でホストエリア体制としたのです。

統括するトップ（現在は久邇邦昭ホストエリアコーディネーター）を中心にホストエリア連絡協議会が組織され、公式のカウンセラーオリエンテーション、ロータリー平和フェローオリエンテーション、ホストエリアセミナーを実施しています。また、ロータリー平和フェローの日本文化体験、広島研修旅行など、ロータリー平和フェローをさまざまなかたちで支援していますが、そのための資金はガバナー会を通して全国ロータリアンの方々から毎年1人15円のご協力をいただき成り立っています。

年次セミナーについて知りたいのですが。

ロータリー平和フェローが2年間の研究テーマを発表する唯一の公式行事で、大学が主催します。毎年、R I理事をはじめ全国各地からガバナー、財団関係者など、多くのロータリアンが参加されます。ロータリー平和フェロー一人ひとりの平和研究テーマもさまざまで、研究の多様性に驚かされます。同時通訳による半日がかりのセミナーの後、卒業を祝う会を盛大に行います。

卒業したロータリー平和フェロー（学友）はどのような活動をしているのでしょうか。

専門能力開発修了証プログラムを含めると1～11期生まで世界のセンターを卒業した学友数は860人ほどですが、本部でアンケートを求めたところ、4割ほどはN G Oに就職し、センターで学んだ力を生かし、活躍しています。15%は各国の政府機関の人的な部署に所属していました。その他、国連機関、平和研究者として学術部門などで活動しています。

学友たちの交流はあるのですか。

今は、ネット社会です。I C Uのように同じセンター

で学んだ学友はもちろんのことですが、彼らはロータリー平和フェローであったことに誇りを持ち、卒業年度やセンターに関係なく平和を願う戦士として共通の土壌で育った思いがあり、ネットワークで結ばれています。

年々その数はふくらみ、この先世界各地でロータリーの目指す世界平和に寄与する強い力となるでしょう。

私たちロータリーが立ち上げたこのプログラムですが、早急な成果は求めず、長いスパンで見守りたいと思います。多分、その成果は直接目にはできなくても、伐採された山に手植えた苗木が成長し茂みをつくり、人々に安らぎを与えるように平和な森をつくることでしょう。



米ソ対立による東西冷戦が終わり、世界に平和が戻るという一時の願いが幻想となり、民族、宗教、テロ、政争など内戦、紛争が絶え間なく続いています。平和が遠のく感があるからこそ、このプログラムの重要性はますます大きくなりました。私たちロータリアンはポリオ撲滅と同じく誇りに思っているのではないのでしょうか。

詳細をお知りになりたい方はロータリーのウェブサイト www.rotary.org をご覧ください。すぐにこのプログラムに精通できます。

My Rotary → 行動する → 平和フェローシップ

資料

- ロータリー平和センター
ロータリアンのためのプログラムの手引き
- ロータリー平和フェローシップ
プログラムの概要と最新情報（パワーポイント）
…… クラブにて活用ください。
- ※ロータリー平和センター・ホストエリア連絡協議会
<http://rotarypeace.jp/>

11月3～9日は世界インターアクト週間です。インターアクターたちのさまざまな活動をご紹介します。

明日へ未来へ インターアクター



▲心をこめておもてなし

第2640地区

6月22日、和泉市の農園で、地区インターアクトクラブ（IAC）の新生歓迎会も兼ね、インターアクター120人と青少年関係のロータリアンが、梅雨の合間をぬってサツマイモ1,000株の植え付け作業を実施。2014～15年度地区大会のホストクラブの一つである大阪千代田ロータリークラブ（RC）の会員は、カレーやじゃがバターなどを提供。共に活気と笑顔にあふれた一日となりました。この日植え付けたサツマイモは、10月初旬に収穫し、地区大会で記念品として配られ、またケーキにして会場で振る舞われました。

（大阪府・和歌山県）

エコキャップ運動

川内商工高校 IAC ▶

子どもたちの命を救うワクチンを届けるために、毎週水曜日の放課後にペットボトルのキャップを回収し、丁寧に洗浄・乾燥させて回収事業を行うエコキャップ推進協会に届ける活動を行っています。校内だけでなく、保護者や地域のスーパー、ガソリンスタンドにも協力してもらい、昨年度は63人分のワクチンに相当するキャップを回収しました。この数は年々増加。援助を必要とする人のため自発的に行動できる人になれるよう、またボランティアの輪を少しでも広げられるよう、継続して取り組んでいきます。

（第2730地区 鹿児島県）



◀おもちゃの病院

大森学園高校 IAC

壊れて遊べなくなったおもちゃを無料で修理する「おもちゃの病院」を学校で定期的に開院しています。工業を学ぶ生徒たちが「毎日勉強している『技術』で何か社会貢献できないか」という思いから、17年前に誕生した活動です。生徒たちは活動を通して「MOTTAINAI精神」を学び、子どもから親まで幅広い年代と交流し、多くを学びます。今では普通科の女子生徒までが活動に参加し、ドライバーを手におもちゃと格闘しています。

（第2750地区 東京都）



カミネッコンで森づくり

第 2510 地区 ▶

6月28～29日に開催されたインターアクト年次大会で、カミネッコン植樹を行いました。カミネッコンとは、再生紙ダンボールの植木鉢です。中に土を入れて苗木を植えて育て、鉢ごと移植します。鉢はやがて風化して土に。簡単で手軽な方法であるとともに、複数の種類の木を組み合わせることで植樹の成功率は高くなります。インターアクトたちは、小さな行動が着実に未来につながることを学び、自然の尊さを感じていました。

(北海道)



◀ インターアクトクリーンキャンペーン

金沢高校 IAC・藤花学園尾山台高校 IAC
遊学館高校 IAC・金沢商業高校 IAC

インターアクトクリーンキャンペーンは今年で22回目。毎年6月初旬の金曜に、金沢地区の4校のIACが合同で実施している地域清掃活動で、この日をごみについて考える一日としています。今回は約160人が参加し、各校から石川県中央公園(現・いしかわ四高記念公園)までの道のりのごみを拾い、分別し、最後に金沢市環境局に収集を依頼しました。

(第 2610 地区 石川県)



あっという間に打ち解けます

第 2530 地区 ▶

7月30～31日の2日間、福島県いわき海浜自然の家(いわき市)でインターアクト年次大会が行われ、地元いわきの歴史について学びました。グループごとのワークショップの前、他クラブの会員と仲良くなるために、ホスト校の会員が知恵を絞り、簡単なゲームを行いました。高校生らしい発想で、あっという間に打ち解けました。

(福島県)



◀ 合同一泊研修

第 2780 地区・第 2620 地区

3月29～30日の2日間、緑あふれる神奈川県厚木市・七沢自然ふれあいセンターで、毎年恒例の第2780地区、第2620地区合同のインターアクト「一泊研修」が行われました。今回は、110人を超えるインターアクト、青少年交換学生、ローターアクト、インターアクトの卒業生たちが集まり、これに部活動の顧問教諭、ロータリアンも加わり、奉仕の理想を持つ者同士が学校、地域、年代を超えて交流し、親睦を深めました。

(神奈川県／静岡県・山梨県)





◀ インターアクト米

豊岡総合高校 I A C

5月14日、豊岡総合高校 I A C が呼びかけた地区内5つの I A C からインターアクター42人が、豊岡 R C の協力のもと、1,400㎡の田んぼに苗を手で植えました。この「インターアクト米」事業は、インターアクターがコメ作り体験を通じ、環境問題、生命の尊厳などを学びます。9月7日に手で刈り取り、10月5日に収穫祭を実施しました。

(第2680地区 兵庫県)

新世代交流会

第2640地区 ▶

2月2日、羽衣学園高校で、同校 I A C を中心に、地区インターアクターを対象にした新世代交流会を実施。ロータリー、ローターアクト、インターアクトについて各担当者が熱く語りました。ローターアクターが楽しく盛り上げ、「卒業後、私もローターアクトクラブに入りたい」という声が一。また、日本赤十字社の協力で、災害時の対応についてグループで一緒に考えました。

(大阪府・和歌山県)



◀ 韓国研修旅行

第2820地区

地区恒例の韓国研修旅行を、今年度は、7月22～25日の4日間で行いました。第3650地区インターアクトクラブ年次大会に参加したほか、梨花女子大学師範大学付属梨花蘭高等学校を訪問し、ダンス披露、プレゼント交換、うちわ作り、学校見学などを通して楽しい国際理解、親善を实践しました。また、板門店見学で分断国家の現状を目の当たりにして、平和な日本を感じ取る意義のある研修となりました。

(茨城県)

台北で社会貢献活動

第2660地区 ▶

8月5～8日に海外研修として、台湾・台北(第3520地区)を訪問。国立台北商業技術学院を訪問後、台湾のインターアクターとともに台北駅周辺で街行く人たちからレシートを集めて、創世社会福祉基金に寄付しました。台湾では、レシートに宝くじがついており、当選すると賞金がもらえます。収集箱を差し出す日本のインターアクターたちの収集をお願いしたりお礼を言ったりする声も徐々に大きくなっていき、「集まったよ」と誇らしげでした。

(大阪府)



◀ ハンド・イン・ハンド街頭募金活動

鎮西学院高校 I A C

鎮西学院高校 I A C では、毎年12月に日本ユニセフ協会のハンド・イン・ハンド募金活動に参加。インターアクターとロータリアンが諫早市内3か所に分かれ、募金のお願いをしています。昨年は12月24日、寒風吹き荒ぶ中にもかかわらず、温かい協力をいただき、日本ユニセフ協会へ寄付しました。

(第2740地区 長崎県)

舞シューズをタイに贈りたい 大分舞鶴高校 I A C ▶

「舞シューズプロジェクト」を実施しました。卒業と同時に使わなくなった運動靴を回収し、手洗いの上、乾燥させて袋に詰め、靴のサイズを明記してタイに送るという活動で今回 2 回目。送料は提唱クラブの大分中央 R C が支援。この活動は、毎月例会を開き、基本的な内容を生徒が決め、ロータリークラブの委員と先生方がサポート支援するという、継続の結果です。
(第 2720 地区 大分県)



◀ インターアクト年次大会

第 2540 地区

9 月 13 ~ 14 日、インターアクト年次大会を開催。ホストクラブである秋田県立五城目高等学校 I A C による歓迎アトラクション「伝承 浦の虎子踊り」、工藤恵部長の歓迎のあいさつに続き、ロータリー希望の風奨学金の募金活動をした大館国際情報学院高校 I A C への感謝状贈呈がありました。記念講演、各高校の活動報告、夜は交流会で親睦を深めました。翌朝は全員で会場近辺を見学し、五城目町の思い出を胸に、解散となりました。
(秋田県)

日韓の将来の財宝

第 2630 地区 ▶

韓国・第 3600 地区と、インターアクト年次大会に合わせてインターアクターを 5 日間の日程でホームステイする交換学生事業を行っています。当地区の年次大会は台風のため開催 2 日前に中止、第 3600 地区の年次大会も韓国フェリー転覆事故により中止に。しかし、第 3600 地区の強い希望もあり、交換学生事業は実施され、交換学生によって、日韓の友好関係をより一層育むことができました。
(岐阜県・三重県)



◀ 東京中華学校春節祭へ

第 2580 地区

第 2580 地区のインターアクターは、2012 年から毎年、東京中華学校（東京都）春節祭に参加しています。東京中華学校の生徒と話し、その文化や歴史について説明を受け、一緒に食事をしながら、身近な国際交流を行っています。
(東京都・沖縄県)



足尾に緑を育てる

第 2550 地区 ▶

第 2550 地区の 12 校のインターアクトクラブ、提唱クラブのロータリアン約 200 人が、「第 19 回春の植樹デー」に参加。足尾銅山の鉱毒により緑を失った山に 100 万本の木を植えようという活動で、N P O 法人足尾に緑を育てる会が主催しています。標高 965m の山で、階段約 1,000 段を登り、急斜面に樹木を植える作業は気が遠くなりながらも、植え終わっての達成感は格別。未来に残す事業として、今後もこの活動への参加を続けていく予定です。
(栃木県)



柳井縞で地域活性化

柳井商工高校 I A C ▶

高校生の発想から地域を活性化する「まちづくり」をテーマにし、地域の木綿織物「柳井縞」に取り組んでいます。同校の建築コースの生徒が製作した機織り機で、地元の織り手の指導により手織りの技術を学び、反物を織っています。山口県立大学との協同により、この生地で柳井縞のモンペを製作し、ファッションショーに向けて準備しており、将来はブランド化や子どもたちへの技術継承を考えています。（第2710地区 山口県）



◀ 掘割清掃

柳川高校 I A C

毎年10月、福岡県柳川市の街中を流れる掘割を清掃する事業を行っています。掘割の清掃は竿で船を操りながら作業するため、ロータリアンが事前にインターアクターに船頭の練習を指導。当日は1艘に5～6人のインターアクターとロータリアン1人が乗り込んだ計10～11艘が、石垣の隙間から生えてきている草や木の枝、強風で折れて沈んだ大木や空き缶などを拾い上げます。インターアクターたちは、清掃中に、地域の人たちからかけられる感謝の言葉を励みにがんばっています。（第2700地区 福岡県）

サマーデイチャリティコンサート

花園高校 I A C ▶

8月31日、京都外国語大学森田記念講堂で花園高校 I A C 主催で、市内3中学校と I A C として活動する花園高校の吹奏楽部による「サマーデイチャリティコンサート」が開催されました。ポルカ、ワルツが演奏された時には観客もステージに上がって踊ったり、手拍子をしたり大変盛り上がりしました。また、生徒たちの活発な呼びかけで東日本大震災復興支援、広島土砂災害の被災者への寄付もたくさん集まりました。（第2650地区 京都府）



◀ 老人ホーム慰問

啓明学園 I A C

老人ホームでの慰問活動が、I A C 立ち上げの原点です。20年以上前に地元の福祉ボランティアとして活動していた啓明学園の高校生が自主的に慰問活動に参加する希望者を募り、生徒主体で活動を始めました。ロータリアンであった平野吉三啓明学園理事長（当時）がこの活動に理解を示し、東京昭島RCが提唱する I A C の活動として始め、現在に至っています。主にハンドベル演奏や歌、劇の発表、レクリエーションなどで楽しい時間を過ごし、ホームの方々に大変喜ばれています。（第2750地区 東京都）



第3回全国インターアクト研究会 第1回全国インターアクト委員長会議報告

全国インターアクト研究会・全国インターアクト委員長会議実行委員長
R I ローターアクト・インターアクト委員会委員

三木 明

2014年8月10～11日の2日間、第3回全国インターアクト研究会ならびに第1回全国インターアクト委員長会議が「世界をむすぼう!!」のテーマのもと、神戸ポートピアホテルで開催されました。

折あしく、10年ぶりに兵庫県に上陸したという大型台風の直撃で開催が危ぶまれましたが、全国からの参加者の熱意のおかげで無事に開催することができました。

主催地の第2680地区（兵庫県）では、大室儒直前ガバナー年度から地区内インターアクトクラブの顧問の先生方が周到な準備を重ねて、当日を迎えることができました。

この研究会と委員長会議は、黒田正宏元国際ロータリー（R I）理事が大会委員長を務め、今井鎮雄元R I理事が顧問としてさまざまなアドバイスを提供する中で、国際的なロータリー家族であり、若者の集まりであるインターアクト関係者が、情報交換や議論を展開しました。

研究会、委員長会議共に北清治R I理事、杉谷卓紀R I理事が出席し、青少年奉仕、特にインターアクトの意義ならびに将来の世界を担う若者にロータリーが関わることの重要性を力強く語りました。また、全国的な組織作りの整備を前向きに検討するよう、示唆をいただきました。

基調講演をした大阪の私立羽衣学園中・高等学校教諭



で、第2640地区（大阪府・和歌山県）インターアクト顧問教師でもある米田謙三氏は、世界で活躍する氏の活動を報告し、大勢のインターアクターを活動に巻き込んでいく素晴らしさについて熱く語りました。

災害救援、地域貢献、環境保全、国際理解の4つの分科会では、顧問教師それぞれがインターアクターとともに体験した活動を報告し、情報交換しました。

顔なじみになった顧問の先生方がインターアクターを指導していく楽しさや、やりがいなどについて話し合い、各学校の活動内容を報告するとともに、今後の展望について話し合うなど、夜遅くまで議論が尽きませんでした。

今回初めて開催された第1回全国インターアクト委員長会議では、地区の担当委員長が、地区内のクラブ数や会員数の現況を報告し、ロータリーと学校、顧問教師と生徒の関わりや、ロータリーがいかにインターアクトを育てていくのかなど、各地区の持つ課題について熱心に討論しました。提唱ロータリークラブが熱心に取り組まないとインターアクトも衰退するとの意見に同意する声が多く聞かれました。

パネルディスカッションでは、安平和彦パストガバナーが、軽妙な語り口で笑いを誘いながら、4人のパネリストから意見を引き出し、「育てる奉仕、共にする奉仕」という青少年奉仕の原点を再確認しました。

最後に、出席者の熱意に感動して目を潤ませながら閉会の辞を述べた第2680地区の滝澤功治ガバナーの姿が印象的でした。





“よねやま”から広がる新しい世界 ①

スリランカの学校に音楽隊を



松戸西 R C
(第 2790 地区 千葉県)

カウンセラー

三浦 幹敏 さん

3 人目の米山奨学生を迎えて

松戸西 R C が米山奨学生の世話クラブとなったのは、サジーさんで 3 人目だそうです。前回の受け入れから 20 年がたち、米山奨学生を直接知らない会員も多くなりました。私もその一人です。もちろん、カウンセラーになるのも初めてでした。クラブは会員数 28 人と小規模ながら、平均年齢は 54 歳と若く、和気あいあいとした雰囲気は自慢です。サジーさんは、同期奨学生の中でもひととき日本語が達者で、その朗らかな性格からすぐにクラブになじんでくれました。

サジーさんが来て、スリランカの文化、内戦の歴史、教育事情……、たくさんのことを学びました。彼女は学業の傍ら、夫メルビン氏と一緒に「コスモス奨学金」という、スリランカの貧しい子どもを支援する里親制度の事務局を担っていて、地区内には彼女の卓話を聞いて里親になった会員がたくさんいます。サジーさん夫妻は、子どもたちから届いたお礼の手紙を日本語に翻訳し、輝く笑顔の写真を添えて、逐一報告してくれました。

クラブに生まれた変化

彼女との交流から、クラブにも変化が生まれました。松戸西 R C がホストを務めたインターシティーミーティングを「米山記念奨学会を通してロータリーをさぐる」と題して開いたほか、クリスマス家族例会で寄付を募り、スリランカの学校に教科書を贈ったり、会員が手分けをして集めた文具を寄贈したりしました。個人でも、「新婚旅行で近くまで行くから」と文房具を届ける会員、不

用になったキーボードを寄贈する会員も出てきました。

これまでも、クラブとして発展途上国の支援活動を実施したことはありますが、振り返ると、いま一つ思い入れがなかったように思います。しかし、サジーさんを介し、スリランカという国が身近な存在となりました。サジーさんが日本を愛する心が伝わり、私たちもスリランカを好きになりたいと思うようになりました。スリランカで婚活をしたいという若い会員もいるほどです(笑)。

そんな中、会員同士の会話から発展したのが、「スリランカ日本音楽交流プロジェクト」です。スリランカの学校では行事のたびに音楽隊が演奏をするようですが、肝心の楽器がない貧しい学校がたくさんあります。地域の拠点となる学校に楽器がそろえば、周辺の学校が借りることもでき、地域の祭りにも役立ちます。何より、音楽は心を癒やし、国や言葉を超えて人の心に響くものです。

メルビン氏の協力を得て、コロンボから車で 5 時間ほどの、内戦で被害を受けた貧しい地域の学校を選びました。この学校に音楽隊を作ろう！ 皆の思いが届き、今年度の地区補助金の対象事業に選ばれました。現地まで会員が出向き、使えそうな楽器の補修費用の見積もり、学校側の希望などを調査。来年 2 月のオープニングセレモニーには、家族も連れて皆でスリランカへ行くつもりです。今後も私たち松戸西 R C は、サジーさん一家との縁を大切にしていきたいと思っています。



壊れた楽器を手にするスリランカの少女

よねやまだよりでは、今月から新シリーズ「“よねやま”から広がる新しい世界」をスタートします。米山奨学生との出会いから、クラブ・個人として異文化への新たな発見や国際交流につながった体験談を、ロータリアンと奨学生双方の視点から語っていただきます。初回は、松戸西ロータリークラブ（RC）とスリランカ出身のサジーワニー・ディサーナーヤカ（サジー）さんです。松戸西RCはサジーさんの世話クラブとなったことをきっかけに、スリランカへの関心が高まり、今年度、楽器を贈る音楽交流プロジェクトを立ち上げました。



米山学友
サジーワニー・ディサーナーヤカ さん

出身：スリランカ
奨学期間：2011 - 13
学校名：千葉大学大学院

日本の支援に救われて

私は靴も買えないような貧しい家庭で育ちましたが、日本の里親制度のおかげで大学まで進学し、日本に留学することができました。同じく勉学を志し、先に来日していた夫が、私のために夢を諦め研究を支えてくれましたが、生活は非常に苦しいものでした。米山奨学金に合格した時には、思わず泣きました。世話クラブの皆さんは家族ぐるみで親しく付き合ってくれました。カウンセラーの三浦さんは私の卒業式や出産時にも駆けつけてくれ、本当の父のような存在です。

大切なのは教育

私は、国にとって最も大切なのは経済的発展ではなく、教育だと思っています。教育こそ、国民に真の心の幸せをもたらすものです。しかし、母国では2009年に内戦が終わったばかりで、特に地方の学校では図書室

に本がなく、音楽室には壊れた楽器しかないような状態です。私のように村を出て、さらに留学できる子はまれです。私たち夫婦は一人でも多くの子どもに海外で学ぶ機会を与え、視野を広げてほしいと願っています。そうすれば、世界は必ず平和になると思うのです。

私の話を聞いて、スリランカの子どもを支援したい、という申し出をたくさんいただきました。世話クラブ以外にも多くの皆さんから支援を受け、母国の子どもたちが学ぶチャンスを得ています。私たちは決して「もらって当然」とは思っていない。支援者の方たちにとって、経済的に余裕があつての寄付金だとしても、その方の人生にも苦しい時期があつたであろうと、常に心の中に刻んでおかねばならないと思っています。そして、私たちを信頼し、大切なお金を出していただいた責任を、果たさねばならないと思っています。

今はまだ、博士号取得を目指して勉強中ですが、いつか母国に戻っても、日本の皆さんとの友情は一生切れることはない、と約束します。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見、または“よねやまだより”についてのご意見を、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会まで、ぜひお寄せください。

Tel. 03-3434-8681 Fax. 03-3578-8281

Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp



モンゴルに米山学友が創立した大学・高専が開校

9月15日、モンゴルの首都ウランバートルで新モンゴル工科大学と新モンゴル高等専門学校（高専）の開校式が開かれました。両校は、日本の教育モデルを参考に「新モンゴル学園」を創立した米山学友ジャンチブ・ガルバドラッハさんが、母国の発展に有用な人材を育てたいと新設したもの。開校式には、モンゴルの教育科学大臣や駐モンゴル日本大使ほか、多くのゲストが駆けつけました。高専の校長に就任した、新モンゴル学園出身の米山学友シルネン・ブヤンジャルガルさん（2010 - 11 / 成田RC）は「世界中の技術者と肩を並べて働き、国づくりを担う実践的な技術者を輩出したい」と抱負を語りました。



開校式でのジャンチブさん（左から3人目）とシルネンさん（左端）



子どもたちと若い世代の職業人との対話交流会と軟式学童野球大会支援

生駒ロータリークラブ

8月24日、この日を「ロータリーデー」と位置づけ、生駒市生涯学習施設「北コミュニティセンター I S T A はばたき」で、生駒市軟式学童野球連盟の協力を得て、小学生を対象にした「子どもたちと若い世代の職業人との対話交流会」を主催。地域社会に貢献している職業人として、若い自衛官、警察官、消防士を講師に、仕事に就いた理由や志、就職前後の気持ちの変化などを語ってもらい、子どもたちからの質問に応えました。

子どもたちからは、上司に叱られたことはあるか、職場の人間関係はどうかといった質問もあり、会場を沸かせていました。講師たちは苦笑を交えながらも、丁寧に的確に答えていました。

この後、秋の軟式学童野球大会への支援として、新調した生駒ロータリークラブ杯の優勝旗などを贈呈、続け

て試合の組み合わせ抽選会を行いました。

会場には小学生と保護者、野球関係者など約400人が参加し、和やかな雰囲気の中、聞き入っていました。また、展示ブースを設け、奉仕活動の写真などを準備し、休憩時には地元テレビ局で放送している当クラブの広報や、奉仕プロジェクトのビデオを放映しました。

野球大会は9月6日と13日に行われ、表彰式では先に贈呈した優勝旗、カップ、メダルの授与が、当クラブ会長から行われました。

これらの触れ合いを通じて、子どもたちが未来を見つめ、健やかに育ち、将来の街づくりに貢献してくれることを期待するとともに、一般の方々が、ロータリーへの理解と認識を深めてくれたものと思います。

(中田龍人・記 第2650地区 奈良県)

納涼夜市の会場にブース

高山中央ロータリークラブ

8月2日、高山市本町納涼夜市の会場にブースを設け、ロータリーデーを開催。ロータリーと当クラブの活動を紹介し、ポリオ撲滅を訴えました。ポリオ撲滅募金に協力いただいた人たちにかき氷のサービスを行い、ブース内では、クラブのロータリーバンドのメンバーによる演奏会も同時開催。途中からは、歩行者天国になった会場の商店街を、会長を筆頭に募金箱を手に歩きながら、募金を呼びかけました。「60円で一人分のワクチンが買える」という訴えが中高生や市民の関心を引き、多くの人に募金いただき、7万5,623円のポリオ撲滅募金が集まりました。(第2630地区 岐阜県)



ポリオ撲滅募金運動

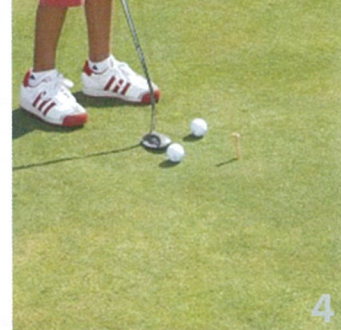
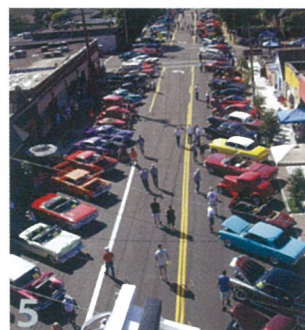
浦和南ロータリークラブ



7月20日、浦和まつり南浦和会場での「浦和よさこい」に協賛してテントを設営。「ポリオ撲滅まであと一歩」と銘打って、ポリオ撲滅募金運動を行いました。今年で6年目、6回目のポリオ募金になりますが、今回は「ロータリーデー」として開催しました。猛暑の中6時間、全会員が参加し一人ひとりが通りに立ち、60円で子ども一人の命を救えることを訴え、募金をお願いしました。私たちの話をよく理解してもらい、多くの人たち、特に子どもたちが、お小遣いの中から募金に協力してくれたことが、とても感動的でした。(第2770地区 埼玉県)



ロータリーデー



THE ROTARIAN 11月号から

アメリカ・オハイオ 1) 第6600地区（オハイオ州）では8月1日、トレド・マッドヘンズ野球場でロータリーデーを祝いました。2) 地区内クラブから100人余のロータリアンが野球の試合に参加しました。3) ジョセフ・ラディックパストガバナーが始球式でボールを投げました。オレゴン 4) オレゴン州グラッドストーン・オークグローブRCは3日間にわたり、グラッドストーンカルチャーフェスティバルを開催。子どもたちにはスポーツマンシップなどを学んでもらおうとゴルフトーナメントを実施しました。5) フェスティバルが開催された8月1～3日の間、町には物売りやアーティストたちであふれました。クラシックカーパレードが大通りで行われました。収益金は地元の慈善団体に寄付されました。

被災地で見た笑顔 フィリピンレイテ島 ポリオミッション報告

第 2650 地区フィリピンミッション

第 2650 地区財団資金管理委員会委員 松原 六郎（福井フェニックスRC）

台風ヨランダの爪痕の残るフィリピンへ

「道端のがれきの中からこの鐘が見つかるまでの 1 週間は、今後の生活のことなど何も考えられなかった。もう全てが終わったと感じていた」と、クラブ会長は淡々と話した。2013 年 11 月 8 日朝、台風ヨランダに襲われたフィリピン・レイテ島のタクロバン・ロータリークラブ（RC）のクラブハウスは、海辺の素晴らしい眺望が楽しめる場所にあった。建物は頑丈な鉄筋コンクリート 2 階建てで、1 階に小さなレストランがあったが、そこで 2 人のスタッフが命を落としている。2 階はロータリーのクラブハウスであるが、高潮は 2 階以上の高さで襲ってきた。テーブル、旗、書類などロータリーのものが全てが失われてしまった。しかし、偶然にも鐘はクラブハウス前の道路の反対側の道端、高く積み上げられたがれきの中から見つかった。被災直後の混乱の中、水、食べ物、寝起きするところ、その全てが混沌としているさなかの発見だった。

当日の朝、その年の台風 30 号、フィリピン名「台風ヨランダ」はサマール島からレイテ島タクロバンを通り抜けた。台風は想像を絶するものであった。風速毎秒 60 m 以上の強風が襲った後、6 ～ 10 m の高潮がタクロバンを襲った。半島になっているタクロバン空港周辺は両方からの高波に襲われ、洗濯機の中のような状態だった、と奇跡的に生き残った人は語る。

タクロバン RC 会長のジョセフ・エスカローナ氏は、言葉では言い尽くせない悲惨な災害の真ただ中、「鐘

が見つかった」という報告を受けた。そして、その日が彼の言う「超我の奉仕」への挑戦を決意し行動を開始する日となったのである。

私たち第 2650 地区は、これ以前に既に 2 回にわたり、WHO（世界保健機関）西太平洋事務局、フィ

リピン政府、そしてタクロバン RC の協力を得て、現地でポリオミッションを行ってきた。そのため、タクロバン RC の全員とは連絡を取り合う仲となっていた。台風ヨランダに見舞われた直後、当時、地区 W C S 委員長だった貴志英生（福井東 RC）は必死に連絡を取ろうとした。やがて、タクロバン RC の会員から返事がくるようになり、被災状況が少しずつわかってきた。その内容は筆舌に尽くしがたいものであった。「早く支援に入りたい」「待ってください、まだ支援グループの安全が確保できない」というやり取りが続いた。そして、今回 2014 年 9 月 22 ～ 24 日に、支援の日程が設定された。

2014 年 9 月 22 日、やっとその日が来た。被災後 10 か月の月日が流れていた。メンバー 30 人のうち 20 人は先発隊として現地入りし、28 人のうち 18 人が朝日を浴びながらタクロバン空港に降り立った。滑走路の修繕が依然として続いているために、全員は飛行機に乗れず、10 人はマニラからセブ島に飛んで、船でレイテ島オルモックへ上陸し、車でタクロバンを目指すことになった。

機内から歓迎の横断幕とタクロバン RC の会員の懐かしい顔が見えた。ゆっくり話をする時間もなく、荷物を受け取ると早速タクロバン市内に向かった。そこで見たものは、悲惨な災害の爪痕であった。大きな建物は屋根が飛び、窓が壊れたままになっていた。しかし、最も印象的だったのは、にわかづくりのバラックが道路の両側にたくさん建っていて、スラムの様相を呈していることだった。おそらく、被災直後は全てが流され、何も残っていなかったところに、落ちていた棒や板を使って寝起きできるスペースをつくったに違い



見つかった鐘

被災地のバラック 打ち上げられた船も住居になっている





生徒たちのウクレレ演奏による歓迎

ない。つまり、私を最も驚かせたのは大災害にもかかわらず、立ち直りつつある地元の人たちのパワーであった。この後、私たちにはもう一つ驚かされることがあった。それは、ミッションが終わるまで私たちを感動させてくれた、彼らの笑顔であった。

被災地支援とポリオワクチンの投与

休む間もなく私たちが最初に向かったのは、レイテ島の隣のサマル島であった。今回のミッションには2つの大きな目的があった。一つ目はWHO西太平洋事務局と協力して、5歳以下の子どもたちにポリオワクチンを投与する作業とはしかの予防接種を支援すること。そして、二つ目は破壊された中学校の校舎を建て直し、学用品などの提供を行うことであった。

1時間ほどきれいな海辺の道を走って目的の村にたどり着いた。彼らは、私たちがもうすぐやって来ると連絡を受けていた。村長をはじめ住民は皆レイを用意して迎

えてくれた。一方、子どもたちは、最初から嫌なことをされると悟っている子は泣いているし、泣かない子は唇を固く結んでいた。そして、まず彼らの口の中に2滴のポリオワクチンを垂らす。次にはしかのワクチンを腕に注射する。この光景はおそらく世界共通であろう。2か所目の村も同じ様子だったが、激しいスコールに遭った。そう、フィリピンは雨期なのである。

全てが終わり、タクロバンに戻った午後6時ころ、セブ島経由のメンバーもやっとホテルにたどり着いた。その夜はタクロバンRCと第2650地区との合同例会。例の傷だらけの鐘が鳴らされ、会長のあいさつとメンバーの紹介の後、被災してから今日までの間の経過報告がなされた。彼らは自らの生活の回復もそっちのけで、自ら多くの支援を行い、加えて世界中のロータリアンから申し出があった事業を数知れずこなしてきた。

被災者支援をするために外部から入る時、地元の支援者のことを「ローカル・ゲート・キーパー」と呼んでいる。今回の場合、ローカル・ゲート・キーパーとはもちろん、タクロバンRCの会員ということになる。どのような災害でも、外部支援者が入る時にはむやみに入るわけにはいかず、支援の振り分け、被災者との調整などがどうしても必要になる。そんな時に、地域のことがよくわっていて、しかも地域で調整する力がある人に外部支援者は頼ることになる。

しかし、絶対に忘れてはならないことは、ローカル・ゲート・キーパーと言われている彼ら自身も被災者であることである。タクロバンRCの委員にも親戚を亡くしたり、会社が壊滅してしまっ

寄贈した新しい校舎



たりして、心の回復のめどが立たない人もいる。何でもかんでも、どうしたらよいかと質問をしたり、ああしてほしいこうしてほしいと依頼をしたりすることは、彼らには大きな負担になってしまうのである。ましてや、わずかでも「支援してやっている」というおごった気持ちを持つことは、彼らの心を深く傷つけることになる、肝に銘じておかなければならない。

翌日も朝からじりじりと南国の太陽が皮膚を照らし、朝食会場からは海峡と対岸のサマル島がよく見えた。2日目のミッションは、仮設住宅でのポリオワクチン投与と中学校訪問である。ワクチン投与では、主にセブ島経由で前日のミッションに参加できなかったメンバーが活躍した。仮設住宅は畳2枚くらいの広さの長屋で、トタン屋根が日差しで焼けて、中はサウナのような状態であった。それでも、家族が寄り添うように寝泊まりし、中にはそこを小さなコンビニのような売店にしたりして、必死に収入を得ようと努力している姿が見られた。アイスクリームを売って歩いているという男性は、妻も子どもも台風で失い独りぼっちで生きていた。

午後は中学校に向かった。私たちはまた、彼らの歓迎と笑顔に感動することになる。中学校に到着する手前から、もうバンド演奏の音が聞こえてきた。そして、バントワラーたちが最初に私たちを迎えてくれた。子どもたちは皆笑顔で迎えてくれた。私にはその笑顔は心からの本物の笑顔と感じた。驚いたことに、彼らが持っている紙には私たちのメンバーの名前が書いてあり、日本語の「ありがとう」の文字もあった。

私たちは、事前に学校とタクロバンRCと打ち合わせ、3つのプレゼントを用意していた。一つは校舎である。窓の狭いプレハブの暗い仮校舎ではなく、窓が大きく風通しの良いコンクリートの校舎である。そこにはトイレも付いている。そして辞書70冊、上下250着の体操着である。私は、その目録が読み上げられるたびにちょっと恥ずかしがりやの生徒が2人、後ろのほうで顔を見合わせて、「やったー」と手を取り合って喜んでいる姿を見落とさなかった。私たちは間違いなく彼らの望むものを用意できたのであった。

余興は生徒のウクレレ演奏と先生方の日本の踊りで、私たちは大いに楽しめた。最後に生徒代表は、私たちに対する感謝の言葉をこう締めくくった。「いただいた、校舎、辞書、体操着でしっかり学び、将来地元のため、国のため、世界のために役立つ大人になります」

翌朝6時のタクロバン発マニラ行きの飛行

機に搭乗した。朝4時からタクロバンRCの会員が見送りに来てくれた。心からの感謝の気持ちと、彼らと地域の人たちの安全と健康と幸せを願わずにはいられなかった。そして、私たちはもう一つやらなければならない新たなミッションを感じていた。それは、眼下に広がるこの被災地にはまだ支援が必要であることを帰国してから伝えることである。

どんな不幸なときにも笑顔を絶やさず生きている彼らに、どんな災害に遭っても、人への思いやり、地域への貢献、羽ばたこうとする強い意欲があることを、日本や世界の若者に伝えることである。あのすてきな笑顔は今の先進国の若者たちからは決して見ることのできないものであった。

おわりに

実は30人のメンバーのほかに、もう一人のメンバーが参加していた。25歳の若さで亡くなった喜多弘輝君である。彼は前回のレイテ島ポリオミッションにお父さんと参加した。今回のミッションに参加したいという希望を持っていた。しかし、ミッション直前の2014年9月3日に永眠された。私たちは彼の遺影とともにミッションを行った。弘輝君、君も見たとおり、ミッションは成功だったね。ご冥福をお祈りします。

このミッションに支援いただいた、WHO西太平洋事務局、日本大使館、フィリピン政府保健局、一緒に参加してくださった第2610地区・白山石川RC安田晶一会長、米光利也さん、通訳をしてくださった岡本浩志さん、穴田久美子さん、そして、国際ロータリー第3860地区・タクロバンRCの会員と事務局員ローズさん、地元住民の皆さんに感謝申し上げます。

(福井県・滋賀県・京都府・奈良県)

ポリオワクチンを投与



日仏合同プロジェクト

ツール・ド・フランス出発点サンジロンから気仙沼・釜石へ

東京恵比寿RC 織田ゆり子

フランスからの国際電話

昨年の8月、東京恵比寿ロータリークラブ（RC）事務局に、フランスから国際電話が入りました。スペインとの国境に横たわるピレネー山麓のサンジロン市に移り住んで10年、サンジロンクーズランRC（第1700地区）の会員である柳下宇一・崇子ご夫妻からの電話です。当クラブのウェブサイトに掲載された災害復興支援委員会のアーカイブに感銘を受け、クラブ間の交流を希望するとともに、合同プロジェクトとして被災地の復興支援活動を行いたいという申し出でした。フランスのテレビに流れる東日本大震災の映像を見るにつけ、自分たちに何かできることはないかと、クリスチャン・ジュベルティ（Christian Juberthie）会長（当時、以下同）以下26人の会員が日本に思いを寄せてくださったのです。

さっそく東京恵比寿RCでは国際奉仕委員会と社会奉仕委員会が案を練り、両クラブが被災地を訪ねて物品を寄贈することとなりました。ツール・ド・フランスの第9ステージ出発点であるサンジロンにちなんで、自転車やヘルメット、ツール・ド・フランスのロゴ入りTシャツ、ノートパソコンなどを気仙沼市の児童養護施設「旭が丘学園」へ、フランスの老舗・チュアンヌ社（医療用サポーターのトップメーカー）の腰用サポーターを釜石市の養護老人ホーム「五葉寮」へと、復興支援活動でこれまでご縁のあった方々から紹介を受けた施設への寄贈です。

気仙沼を訪問 子どもたちに自転車を贈る

6月10日の例会で、合同プロジェクト合意締結書調印式を終えた後すぐに、サンジロンクーズランRCの3人と東京恵比寿RCの6人が東北新幹線で被災地へ出発。一ノ関で大船渡線に乗り換え、その夜は気仙沼プラザホテルに宿泊しました。気仙沼港のすぐ脇に建ちながら、高台にあるため津波から逃れたこのホテルでは、魚市場に水揚げされる三陸の海の幸をふんだんに提供してくれます。ジュベルティ会長も上手な箸使いで“C'est bon”と完食。食後には復興屋台村やプレハブ商店街へ足を運び、津波から着の身着のままで助かった地元の方たちの話を伺いました。

翌朝の気仙沼港は、雲が低く垂れこめて霧雨から本降りに。私たちを旭が丘学園の車が迎えに来てくれました。この養護施設には家庭に事情のある3歳から18歳までの子どもたちが暮らしており、震災時には建物にヒビが入ったり地割れしたりしましたが、高い場所にあるので津波からは免れたのです。震災時、近隣住民たちが避難してきたものの電気・水道のライフラインは止まり、見えるのは2昼夜にわたって燃え続ける町の火と煙。備蓄してある食料は子どもたちの3日分しかなく、津波の避難施設に指定されていないので救援物資は届かず、いつ食料が底をつくかという不安と戦いながら140人がホールに身を寄せ合って寝食を共にしました。

自衛隊が確認に来てくれたのは震災から1週間後、大口の支援物資が届いたのは2週間後だったそうです。それでも大人数で暮らすことが互いの支えとなって気持ちが楽になり、心のケアを必要とする人は一人も出なかったといいます。

贈呈式は午前中だったので子どもたちには会えませんが、職員の皆さんが満面の笑みで対応してくださいました。背中にツール・ド・フランスのロゴを入れたTシャツを試着して「カッコいい」と喜ぶ声がホールに響きます。早く乗りたかった自転車も、ロータリーのシールを貼るこの日までずっと待っていてくれたのです。

若き日、日本を訪問した思い出

気仙沼駅に戻って次の移動は^{さかり}盛岡までのBRT（バス高速輸送システム）。出発時刻を待つ間に、生物学者であるジュベルティ会長がシンポジウムに参加するため、1975年に来日した時の思い出を話してくれました。「フランスの学者も日本の学者も専門分野のレベルは同じでした。でも日本の学者たちは親切で人間的で、私はその時から日本人が大好きになったのです。大震災の映像で日本人が頑張っている姿を見て、並々ならぬ苦勞を少しでも和らげるお手伝いをしたいと思っていました」

来日時から約40年がたって今は82歳。あらゆる風景を目に焼き付けようとしているのか、移動中は居眠りすることもなく、車窓を通り過ぎていく被災地の現状を眺めていました。バスの停留所名は「奇跡の一本松」や



「陸前高田」。町が消えてしまった地面を嵩上げするためにベルトコンベヤーが設置され、至るところに盛り土がなされています。

線路敷地を改築したバス専用道を走って到着した盛駅は、4月5日に釜石駅までの全線が開通した三陸鉄道・南リアス線の始発駅です。クウェートの支援で購入したという車両に乗り、幾つものトンネルを越えていく途中に「恋し浜」という駅がありました。小石浜地区で養殖されている「恋し浜ホタテ」にちなんだ駅名で、ホームの待合室にはホタテ貝の絵馬がぎっしりとつり下がっています。やがて終点の釜石駅に到着した電車は貸し切りとなって、リュックを背負った小学生たちがにぎやかに乗り込んできます。すれ違いざま一人ひとりが私たちに「こんにちは」とあいさつしてくれる礼儀正しさは、かわいくてほほ笑ましいものでした。

釜石では介護に携わる人たちにサポーターを贈る

釜石では昨年11月に移転再建された養護老人ホーム「五葉寮」へ。元あった建物は海から4kmの高台に位置していたのに、2階まで津波が押し寄せました。職員たちは入居者とデイサービス利用者50人を連れて裏山へ避難させたのですが、途中で2人が流されて犠牲になり、その晩は地域住民と併せて130人が、裏山の100㎡ほどの作業所に座りこんで夜が明けるのを待つ

たのです。1,000人近くが震災で亡くなられた釜石市において、20～30mの津波に襲われたこの地域では約600人が犠牲になりました。再建以降、今年3月で既に満床となった五葉寮には、現在60人の高齢者が暮らしています。津波で地域が壊れてしまい、高齢者を見守る家族がいなくなったことで、独り暮らしで経済的にも行き詰まった高齢者たちは養護老人ホームへの入居を待っているのです。

今回私たちが寄贈した品物は腰用サポーター。第二の皮膚と呼ばれる特殊な素材を使用した、ヨーロッパで40%のシェアを誇る医療用品です。いつも中腰の姿勢で足腰に負担がかかるケア職員全員にお配りしました。若い世代が東京に仕事を求めて流出する東北では、施設は建設されても介護スタッフが圧倒的に不足しています。五葉寮は自立できる入居者も多いのですが、それでも職員1人で15人を見ているのが現状だそうです。

贈呈式と記念撮影の後は車で約2時間、新幹線の新花巻駅へ。3年間継続していく日仏合同プロジェクトのプランを練りながらの帰路でした。旅の間に触れ合った方々の言葉やハプニングを思い出しつつ、今の被災地に本当に必要なものは何なのかを探りながら、東京恵比寿RCとサンジロンクーズランRCの交流はこれからも続いていきます。

(第2750地区 東京都)

—東日本大震災

日本で、世界で開催されるロータリーデー

今年の1月、サンディエゴで開催された国際協議会で、国際ロータリー会長（R I）エレクト（当時、以下同）の黄其光氏は、ガバナーエレクトたちに、クラブや地区で「ロータリーデー」を開催するよう話しました。

その時期や方法について、R I会長エレクトは、各地区、各クラブに委ねましたが、この話を聞いて「いったい何をすればいいのか」と戸惑ったガバナーエレクトも多かったようです。

この黄R I会長エレクトの話を補完するため、R I理事のスティーブン A. スナイダー氏が、「これまでロータリーは、自分たちの活動を“自慢”することが得意ではありませんでした。近年は公共イメージ向上のためのメッセージを発信するようになりましたが、もっと多くの人にロータリーの活動を知ってもらうには、まだ改善が必要です」と述べ、もっとロータリーを知ってもらうためのイベントとして、黄氏が「ロータリーデー」のアイデアを提案したことを紹介しました。

地区協議会などで、ガバナーエレクトが「ロータリーデー」について説明をされたことと思いますが、それでもどのようなものなのか、何をすればいいのかわからない、などという声を聞きました。それで急ぎよ掲載を決めたのが、9月号横組みP 24～25の「世界各地でロータリーデーを」というスナイダー氏のスピーチの抜粋です。

10月号横組みP 38には、『The Rotarian』に掲載されたドイツのロータリークラブの「ロータリーデー」のイベントについて紹介しました。

今月号では、いよいよ日本国内のロータリークラブの「ロータリーデー」のイベントについて、紹介を始めました。このほかにも、「ロータリーデー」の記事を送っていただいております。取材もしました。これらについても次号以降に順次掲載していきます。

当初、クラブや地区で開催するには準備のための時間がない、と心配されていたガバナーエレクトも多かったのですが、実際に年度が始まってみると、非常に多くの地区やクラブで「ロータリーデー」を開催されている

ようです。また、これからの開催を予定している地区やクラブもたくさんあります。

「ロータリーデー」のためのイベントを、あらためて企画して開催するのではなく、これまでやってきた奉仕活動、または既に企画している奉仕活動に「ロータリーを知ってもらう活動」を加えるというアイデアは、クラブにとって取り組みやすいものだったのかもしれない。

既に「ロータリーデー」を開催されたクラブの皆さま、その効果はいかがだったでしょうか。「ロータリーを知ってもらう」ということを少し意識しただけで、これまでもやってきた活動で、これまでよりも地域の人たちと触れ合うことができた、とお考えの方も多いのではないのでしょうか。また、あらためて自分たちのクラブの活動、R Iの活動を認識された方も多かったことでしょう。

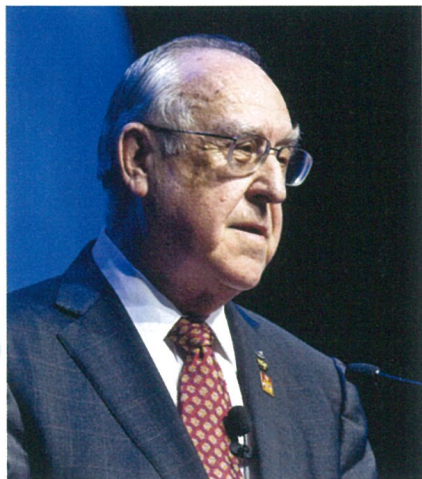
クラブで活動して、それをロータリアンでない人たちに覚えてもらう。「百聞は一見にしかず」です。地域の人たちに、これまで以上にロータリーを身近に感じ、ロータリーのことについて知ってもらう機会として、「ロータリーデー」は効果的であると思います。公共イメージの向上や広報活動には、いろいろな方法がありますが、これこそ本来の広報活動ではないでしょうか。

一人ひとりのロータリアンが、そして、個々のロータリークラブが、ほんの少しだけ、回りの人たちに理解してもらえるよう努めるとしたら、ロータリーの活動は広がっていくことでしょう。

『友』編集長 二神 典子



ジョン・ジャーム氏が
2016—17 年度 R I 会長に



アメリカ・テネシー州チャタヌーガ・ロータリークラブ会員で、インターナショナル・ポリオプラス委員会の委員長のジョン・ジャーム氏が指名委員会により 2016—17 年度国際ロータリー(R I)会長ノミニーに選出され、10 月 1 日に会長ノミニーとなりました。

ロータリーの発展には、会員が、「情熱と粘り強さ、そして何よりも高潔さをもって」現在そして将来の課題や機会と向き合わなければならないとジャーム氏。「私が心に描くロータリーは、ポリオ撲滅の達成、会員増強とアイデンティティの確立、クラブの活性化、そして、ロータリーの未来を担う若者たちとの協力など、大胆に創造性をもって取り組む団体です。R I とロータリー財団が 6 つの重点分野での活動を通じて、そのパートナーシップをより緊密で強固なものとする上で、2016—17 年度がまたとない機会になると考えています」

ジャーム氏が目指すこと、それは「ロータリーとは何ですか」という質問を誰からも聞かれなくなることです。

「ロータリアンとはどんな人々なの

か、ロータリーがこれまで世界各地や国際レベルでどのような偉業を成し遂げてきたかを、より積極的かつ効果的に伝えることで、ロータリーの公共イメージは必ず向上します。そうなれば、「ロータリーとは何ですか」といった質問を耳にすることはなくなるはずです」

世界経済の先行きが見えない現在、ロータリーは、会員の経済的負担を抑えるとともに、「資金を効果的、効率的に活用する方法を常に考えていく必要がある」と、ジャーム氏は述べます。エンジニアであるジャーム氏は、空軍に 4 年間在籍した後、1965 年、エンジニアリングのコンサルティング会社である Campbell and Associates に入社。現在は、同社の取締役会長および最高経営責任者(C E O)を務めています。

加えて、Public Education Foundation、Orange Grove Center 社、Blood Assurance 社など、複数の団体の理事長、Chattanooga State Technical Community College Foundation の創設者および財務長、Tennessee Jaycee 財団の会長も務めています。

1970 年には、テネシー州のヤングマン・オブ・ザ・イヤーを受賞したほか、92 年には、エンジニア・オブ・ザ・イヤーとボランティア・ファンドレイザー・オブ・ザ・イヤーに輝いています。

1976 年にロータリークラブに入会して以来、R I 副会長、R I 理事、財団管理委員と副管理委員長、ロータリー 2 億ドルのチャレンジ委員長、R I 会長エイドなどを歴任してきました。また、ロータリー超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状、特別功労賞を受賞し、ジュディ夫人とともに、夫婦でアーチ C、クランフ・ソサエティーのメンバーとなっています。

「ロータリーは、伝統と価値観に沿った革新を受け入れることによって、急速に変化する世界に対応します」と

ジャーム氏。「適切な新しいテクノロジーやソーシャルメディアを積極的に取り入れ、新たな機会を活用すれば、ロータリーに対する一般の人々の理解が深まっていくでしょう」

ロータリー財団の賞：
日本国内受賞者リスト

2013—14 年度ロータリー財団特別功労賞とロータリー財団功労表彰状の受賞者をお知らせします。特別功労賞はロータリー財団最高の賞で、地区レベルを超えた、長年にわたる受賞者の貢献をたたえるものです。この賞は、功労表彰状の受賞後 4 年が経過したロータリアンを対象としています。功労表彰状は、1 年以上にわたりロータリー財団のために積極的な奉仕を行ったロータリアンに贈られる賞です。この賞は、ロータリアンなら誰でも推薦することができますが、ガバナーの承認が必要となります。(敬称略)

特別功労賞

第 2680 地区 米谷 収(神戸南)

第 2770 地区 田村 亮夫

(川口モーニング)

第 2820 地区 清水 清(日立)

第 2830 地区 黒田 正宏(八戸南)

功労表彰状

第 2500 地区 森山 昌彦(旭川北)

第 2530 地区 山崎 栄一

(いわき内郷)

第 2550 地区 鈴木 宏(宇都宮北)

第 2580 地区 長田 祐之(東京東)

第 2660 地区 宮里 唯子(茨木西)

第 2710 地区 大之木精二(呉)

第 2750 地区 佐久間崇源(東京目黒)

第 2760 地区 矢形 修己(名古屋北)

第 2770 地区 井橋 吉一(越谷)

第 2780 地区 山田 雅孝(平塚西)

第 2820 地区 山崎 清司(古河東)

第 2830 地区 島村吉三久

(五所川原中央)

国際大会カウントダウン コーヒーをどうぞ



ブラジルでのコーヒー豆栽培の始まりは、18世紀初頭にさかのぼります。しかし、コーヒーに対するブラジル人の関心が本当に高まるのは、19世紀に入り、サンパウロ州パライーバ渓谷地域に大規模プランテーションができたからのことです。それから100年で、コーヒー豆は国の主要輸出品となり、現在ブラジルは世界最大の生産国となっています。2015年R I国際大会（6月6～9日）でサンパウロにお越しの節は、早朝から深夜まで、いつでもおいしいコーヒーを楽しめるでしょう。

朝食時のコーヒーは通常、ブラックかミルク入りの「ピンガード（pingado）」で、食後は、濃いブラックが小さいカップに入った「カフェジーニョ」（cafezinho）です。午後のおやつといえば、カフェジーニョと「ボンデケイジョ（pão de queijo）」と呼ばれるチーズのパンです。

普通のバーやパン屋（padarias）でもおいしいカフェジーニョを注文できますが、少し高級なパン屋に行ったら、パイ菓子やデザート、またはハムとチーズのサンドイッチ「ミストケンチ（misto quente）」と一緒にどうぞ。

サンパウロから1時間ほどの街サントスに足を延ばすと、カフェとショップも入ったコーヒー博物館（Museu do Café）があります。ここはかつて、Palácio da Bolsa Oficial de Caféというコーヒー豆取引所として国のコーヒー産業を支えました。

サンパウロ国際大会への登録は、www.riconvention.org/ja から。

今後のR I 国際大会

2015年6月6～9日

ブラジル・サンパウロ
（以下、予定）

2016年5月29日～6月1日

韓国・ソウル

2017年6月10～14日

アメリカ・アトランタ

統計

全世界ロータリアン総数

1,185,074人

クラブ数 34,578 クラブ

管理委員長の思い

平和推進にご協力を

世界が平和になることは、私たち皆が抱く切なる願いです。

私たちのロータリー財団

は、世界各地のロータリー平和センターの運営を通じて、その願いの実現に努めています。

ロータリー平和センターは、財団の中でも類を見ない素晴らしい教育プログラムです。ですから私はロータリアンの皆さんに、このプログラムの価値を増すために、このプログラムを促進し広報することで、世界理解、親善、平和を推進することを願っています。

このプログラムでは、毎年100人を上限としてロータリー平和フェローシップ（奨学金）を提供しています。受領者（ロータリー平和フェロー）は、財団が厳選した次の大学院で平和と紛争解決分野の修士号が取得できます。デューク大学・ノースカロライナ大学チャペルヒル校（アメリカ）、クイーンズランド大学（オーストラリア）、ウプサラ大学（スウェーデン）、ブラッドフォード大



2014 - 15年度ロータリー財団管理委員長 ジョン・ケニー

学（イギリス）、国際基督教大学（日本）。また、これらの教育機関に加え、チュラロンコン大学（タイ）の平和センターでは、3か月間の集中研修プログラムを提供しています。

ロータリー平和センターの理念は、平和と紛争解決への熱意をもった専門家グループを形成し、彼らの活動を成功へと導くためのツールを提供することです。2002年のプログラム開始以来、約900人が平和センターで学び、現在、世界各地で平和を築くための活動に貢献しています。その活動の場は、非政府組織、政府機関、世界保健機関、世界銀行など実にさまざまです。

このプログラムを支えるため、ロータリー平和センター大口寄付推進計画が実施されています。この計画は、今年度末までに1億2,500万ドルを集めることを目標としています。

21世紀のニーズに応える平和センターは、全ロータリアンによる支援に値するプログラムです。

怒りと苦しみが続けられ、先行きの見えない今日の世界だからこそ、国家の枠組みを超えた人のつながりが大切です。

地区数 536 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 158,401 人

クラブ数 6,887 クラブ

国と地域 160 以上

インターアクト会員数 385,066 人

クラブ数 16,742 クラブ

国と地域 150 以上

2013年7月1日現在

* 2014年4月2日現在

** 2014 - 15年度

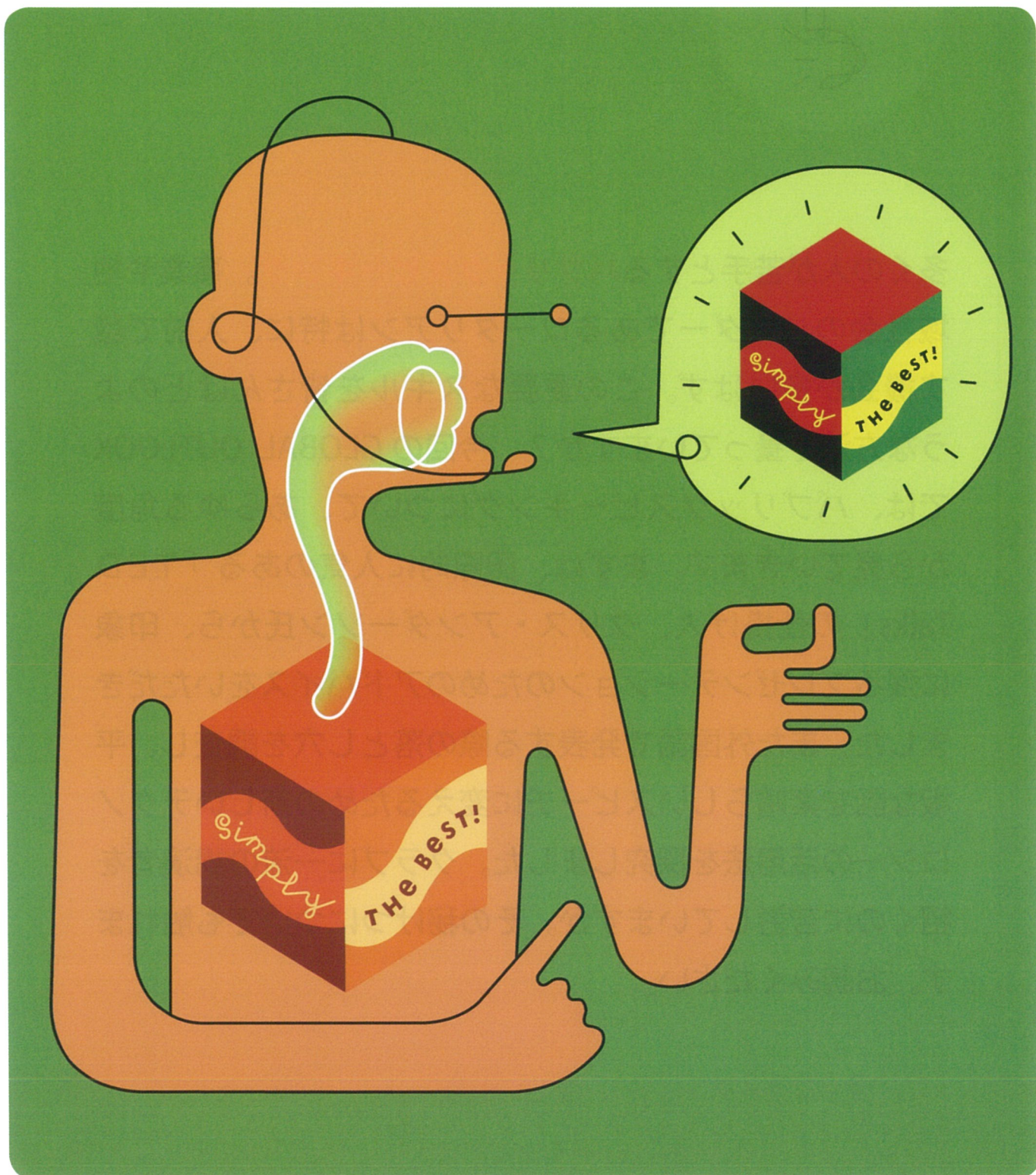
ロータリーの
ニュースは

ROTARY
JAPAN
Home Page
www.rotary.or.jp

R I 指定記事

GLOBAL OUTLOOK

ロータリアンのためのパブリックスピーキング入門





多くの人が苦手とする**パブリックスピーキング**。事業や地域社会のリーダーであるロータリアンは特に、人前で話す機会が多いはず。この重要なスキルを皆さんはどのような方法で養っていますか？ 今回の GLOBAL OUTLOOK では、パブリックスピーキングについて、あらゆる角度から見ていきます。まずは、国際的に人気のある「TED Talks」の仕掛け人、クリス・アンダーソン氏から、印象に残るプレゼンテーションのためのアドバイスをいただきました。また外国語で発表する際の落とし穴を調査し、平板な話を素晴らしいスピーチに変えるための新しいテクノロジーの活用法を探究しました。クラブに一流の講演者を招くのに苦労していますか。その秘けつについても触れます。お読みください。

心をつかむ プレゼンの ために

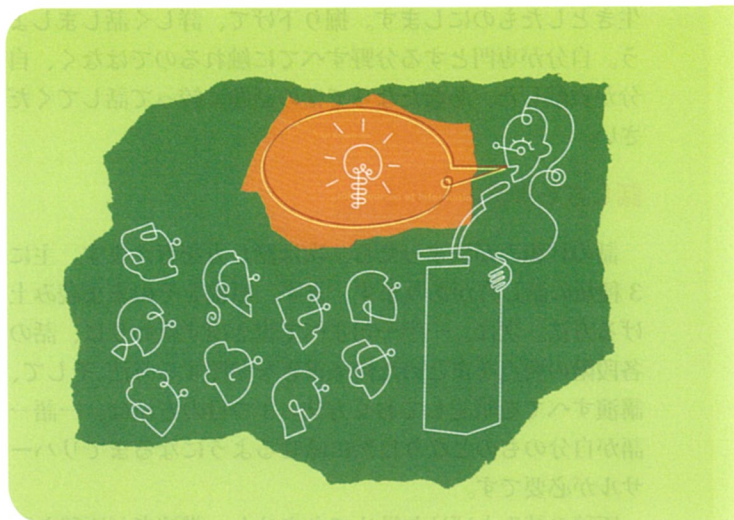
クリス・アンダーソン

クリス・アンダーソンは、簡潔で力強い講演を通じてさまざまなアイデアを広めている非営利団体「TED」の運営者です

同僚と一緒にケニアのナイロビに向かう途中、マサイ族の12歳の少年、リチャード・トゥレ君と出会い、ある素晴らしい話を聞きました。彼の家族は、広大な国立公園のはずれで家畜を飼育しており、一番の大敵は夜に動物たちを襲うライオンでした。屋外の明かりをつけてもライオンがひるむことはありませんでしたが、^{たいまつ}松明を持って野外を歩くとライオンが寄ってこないことに気づきました。彼は幼いころから電気に関心があり、両親のラジオを解体するなどして独学で学んだ知識を生かして、自動的に点滅する電灯システムを作りました。彼は、ソーラーパネル、自動車のバッテリー、バイクの部品を組み合わせてつくったこのシステムについて、光にある種の“動き”を持たせることでライオンが寄りつかなくなるだろうと期待していました。早速、システムを設置すると、ライオンの襲撃がびたりとやみました。リチャード君の「ライオンライト」はたちまち、ケニア中の村で利用されるようになりました。

この話はとても興味深く、私たちが運営するTEDカンファレンスの多様性に富んだ聴衆に聞かせる価値のあるものでしたが、リチャード君は一見したところ、TED Talksで講演できるようには見えませんでした。非常に恥ずかしがり屋で、英語もたどたどしかったのです。自分の発明を説明しようとすると、話が前後して支離滅裂になってしまいます。また、率直に言って、10代はじめの少年が1,400人を前に話をするのは想像し難いものでした。

しかし、リチャード君の話がとても魅力あるものだったので、私たちは、彼に講演を依頼しました。本番の数か月前から、一緒に話の筋立てをしました。何から話し始めるかを決め、出来事の流れを順序立てて簡潔にまとめました。リチャード君は、「ライオンライト」の発明によって、ケニアの名門校へ通うための奨学金を得ました。そこで聴衆を前に話をする機会が何度かありました。自信をつけて、発表で個性を輝かせるようになることが重要だったので、2013年にカリフォルニア州ロングビーチで開かれたTEDカンファレンスで講演した時は、見るからに緊張しているのがわかりましたが、逆に聞き手が彼に注目し、そ



の一言一言に聞き入りました。緊張しても自信を持って舞台に立ち、笑顔を保つことのない姿に、聴衆はすっかり心を奪われていました。講演を終えると、たちまちスタンディングオベーションが起こりました。

TEDカンファレンス30年の歴史においては、政治家、音楽家、テレビ司会者など多くの聴衆の前でも動じず話ができる人から、各界の専門家、科学者、作家など人前での発表を非常に苦手とする人まで、さまざまな講演者がいました。経験の少ない発表者でも、話を組み立てて練習し、聞き応えのある講演ができるよう、私たちは長年にわたって準備の手順を確立してきました。この経験から、適切な指導があれば、上手な講演は可能だと確信しています。わずか数時間でも、つたない講演内容や話し方が、見違えるほど上達します。私のチームは18分以内の比較的短い講演に的を絞っていますが、私たちが学んだ教訓はほかの発表にも確実に役立つものです。

まずは話の枠組みから

話すに値する題材がなければ、良い講演はできません。コンセプトをまとめ、話したい内容の枠組みをつくることは、準備で一番重要な段階です。心に訴える講演とは、聞き手を旅に連れて行くような講演だと私は考えています。

話を、一つの旅のようにまとめる時の最大の決め手となるのは、どこから始めて、どこで終わるかです。何から始めればいいのかを見つけるには、聞き手が既に知っていることは何かをよく考えること。また聞き手の関心がどのくらいあるかということも考慮します。すでに知っているだろうとか、高い関心があるだろうと思い込んで話し始めたり、専門用語や技術的なことから始めると、聞き手が興味を失くしてしまいます。話の上手な講演者は、冒頭で手短かに話題を紹介した後、なぜそれに関心を持つべきかを説明し、聞き手の注意を引き付けます。

私が最初にプレゼンテーションの原稿をチェックする時に出会う最大の問題は、扱う話題が多過ぎることです。限られた時間内で、範囲を決めて、具体例を挙げて話を生き

生きとしたものにします。掘り下げて、詳しく話しましょう。自分が専門とする分野すべてに触れるのではなく、自分が貢献した、あなたならではの話題に絞って話してください。

話し方を事前に考える

話の枠組みが決まったら、次は話し方を考えます。主に3種類の話し方があります。まず、原稿をそのまま読み上げる方法。次に、一字一句すべて書き出す代わりに、話の各段階の要点をまとめた箇条書きを参照する方法。そして、講演すべてを暗記しておく方法。3つ目の方法は、一語一語が自分のものとなり自然に話せるようになるまでリハーサルが必要です。

原稿の読み上げはお勧めできません。講演者が原稿を読んでいるだけだとわかればたちまち、聞き手の態度が変わります。聞き手との“つながり”や一体感が失われ、講演全体が形式的なものになってしまいます。

TED Talksで最も優れた人気講演者の多くは、一字一句を暗記しています。確かに、すべての発表に、それだけの時間をつぎ込む価値があるわけではありません。しかし、原稿を暗記すると決めた場合は、学習曲線を予測する曲線の存在を意識してください。多くの人が、私が「ぎこちない谷間」と呼んでいる段階を経験します。講演者がまだ十分に暗記し切れていない段階です。この段階で講演をすると、聞き手にもその「ぎこちなさ」が伝わります。発言が何かの引用のように聞こえ、文の途中で言葉に詰まったり、思い出そうとして視線が上を向いてしまうのです。幸いなことに、この問題は簡単に乗り切ることができます。言葉が流れ出るようになるまで繰り返すだけでよいのです。これができたら、後は、意味や信頼性をもたせるように話します。

スピーチをすべて暗記して「ぎこちない谷間」を越える時間がない場合、この方法は得策ではありません。代わりに、カードに箇条書きで書いて臨みましょう。各段階で言いたいことがわかっていれば、問題なく話ができるはずです。次のポイントに移るタイミングを確認しておきましょう。

壇上での存在感を高める

壇上での存在感となると、ちょっとしたコツが必要です。初期のリハーサルの際によくある失敗は、体を動かすことです。体を左右に揺らしたり、足の重心を左右交互に移動しながら立つのはお勧めできません。プレゼンテーション中、なるべく下半身を動かさない方が舞台上での存在感が高まります。舞台の上を歩き回る人もいますが、あくまでも自然体でいることが大切です。ほとんどの人にはそれが難しいので、一か所に立って、強調したいところは

手振りで表すのがよいでしょう。

壇上ですべき最も重要な動作は、アイコンタクトです。観客の中から親しみやすそうな人を5～6人選んでおき、スピーチ中に彼らの目を見るようにします。まるで1年間会っていなかった友人に、自分の今の仕事について報告するような気持ちで話します。アイコンタクトは、あなたの講演を最高のものとする最強の武器となるでしょう。

ほとんどの人が、緊張することを心配し過ぎてしまいます。この緊張は決して悪いことではありません。なぜなら、聴衆はあなたが緊張しているだろうと思っているはずですし、緊張感というのは自然な体の反応で、かえって良いスピーチができることもあるからです。緊張感で体に力がみなぎり、神経も研ぎ澄まされます。深呼吸して臨めば、緊張していても大丈夫です。

マルチメディアを利用する

さまざまなテクノロジーを利用できる今日、プレゼンテーションではスライドを使うのが当たり前のようになってきています。パワーポイントを利用したスライド作りについて、既にアドバイスを受けたことがあるかもしれませんが、ポイントは、シンプルにまとめることです。聴衆に見せるスライドに、自分が話す内容のためのメモを含めるのはやめましょう（例：箇条書きのリストなど。これらは自分だけのメモとして書きとめておくのがベストです）。また、スライドに書かれていることを大きな声で読み上げることも避けるべきです。これはすでに知られているコツですが、今でもこの方法でプレゼンをしている人を会社などで見かけます。

TEDでも優れた講演者は、スライドを使わず、また必要としません。話題を生き生きとさせるための写真、イラスト、またはビデオなどがあれば、もちろん利用してもかまいません。そうでない場合は、少なくともプレゼンの一部は、スライドなしで話すことを検討してみましょう。スライドを利用するのであれば、パワーポイント以外の方法を模索するのも一案です。

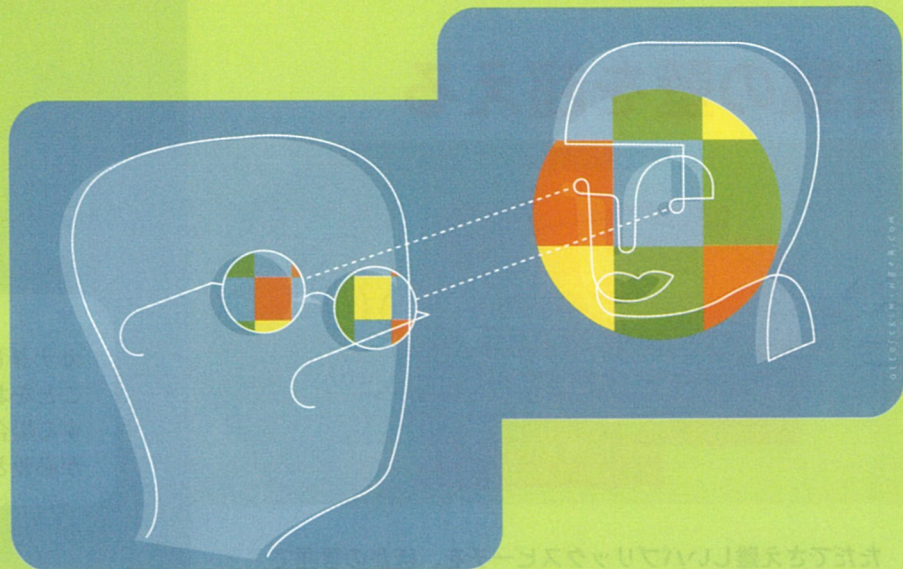
しっかりまとめる

究極的に、プレゼンが成功するか否かは、アイデアの質、ストーリーの流れ、講演者の情熱にかかっています。話し方やテクノロジーの駆使が問題ではなく、内容が重要です。スピーチにおいては、コーチが問題点を指摘し、それを修正することは簡単ですが、基本的な話をコーチが直すことはできません。スピーチの基となる体験は、講演者本人が持っています。伝えたいアイデアがしっかりとしていれば、おのずと素晴らしいスピーチになるはずです。

この記事は、『Harvard Business Review』誌2013年6月号の内容をもとにしたものです。



著名な人に 卓話を お願い するには (4つのヒント)



あなたがロータリーへの入会を検討していると想像してみてください。クラブ例会に出席して卓話を聞いてみましたが、話がつまらなく、感動ありません。それでも入会を考えますか？「クラブ会長も含め、講演者となる人は誰よりも例会の成功を左右する」と話すのは、第 6380 地区（アメリカ・オンタリオ州とミシガン州の一部）のガバナーノミニーで、公共イメージ委員長のマイケル・アンジェロ・カルーソ氏です。カルーソ氏は、コミュニケーションを専門とするコンサルタントで、ビジネスリーダーや営業担当者にプレゼンのスキルを教えています。世界で 400 以上のロータリークラブや地区で講演をしてきたカルーソ氏とシドニー国際大会でお会いした際、毎週の例会での卓話を魅力的なものとし、ときには著名人も呼ぶ方法について、以下の 4 つのヒントを教えてくださいました。

1

クラブを売り込む：卓話を頼みたい相手に、クラブでの卓話の重要性を伝え、相手にも必ずメリットがあることを強調します。その日の卓話に大勢の会員が集まれそうにない場合は、「この町のトップリーダー 20 人が出席する」と約束すると効果的だと、カルーソ氏は言います。さらに、依頼する際の言葉遣いも工夫して、「クラブ例会でのプログラム」で話をしてほしいと言う代わりに、「昼食会での基調講演」と言って頼むとよいでしょう。講演者に真摯に接すれば、相手もあなたのクラブのことを真剣に扱ってくれるはずです。

2

卓話がある例会の前、例会中、例会後に、ソーシャルメディアで話題を盛り上げる：講演者に、自分の写真か短いビデオを送ってもらい、それをソーシャルメディアのページに掲載して、この卓話に対する関心を引きます。さらに、卓話中にツイッターでコメントや写真を発信できるよう、講演者から許可を得ておきます。ソーシャルメディアは、現在起こっていることを伝えて、話題を大きく膨らませる力を持っています。カルーソ氏によれば、ほとんどの講演者がこの申し出を受け入れてくれると言います。また、卓話のビデオを撮った場合は、後ほどそれをソーシャルメディアに掲載します。

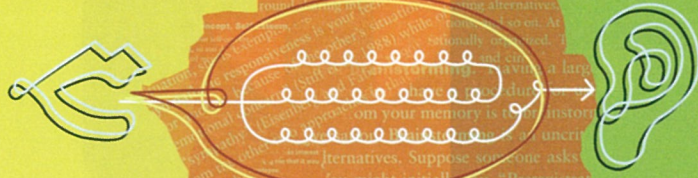
3

既存会員と会員候補者の両方に魅力的な講演者を選ぶ：地元で著名な人に卓話を依頼する場合、その人の友人、仕事上の知り合いや顧客などもその例会に出席する可能性があります。講演者が聴衆を連れてくることを歓迎しましょう。それがきっかけとなって入会者が見つかるかもしれません。また、この講演者の話に関心がありそうな人を招待することも大切なポイントです。

4

目標は高く、まずはこじんまりとスタート：年間 52 人の著名人を招くのはかなり大変だと思われるかもしれませんが、その数を 12 人にしてみたらどうでしょうか。カルーソ氏の提案では、例えば、毎月最初の例会を、卓話を中心としたものにし、出席者をいつもの倍にすることを目標とします。多くの人に参加してもらうことで、地元メディアに取り上げられて関心が高まる可能性があり、それによって、別の著名な講演者が興味を抱いてくれるかもしれません。また、今後のクラブ行事やプログラムを知らせられるように、出席者に名刺をもらうことを忘れずに。

言葉の壁を超える



ただでさえ難しいパブリックスピーチを、ほかの言語で行うのは至難の業かもしれません。しかし、正しいアプローチを取り入れることで、誰でも外国語による効果的な話し方を身に付けることができます。自分のメッセージを伝えるコツについて、数か国語を話すロータリーリーダーに話を伺いました。

考えすぎは禁物：「話せばいいのです」。スウェーデン語を母国語とするカール・ヴィルヘルム・ステンハマー 2005－06 年度国際ロータリー（R I）会長は、「文法が間違っているとしても、話を進めること」と助言します。また、聞き手は発表者が何を伝えようとしているのかに耳を傾けるのであって、どれほど上手に言葉を使っているかを知りたいのではないと、R I のスピーチライター、アビー・ブライトスタイン氏は話します。

安心できる方法を見つける：外国語で発表する場合、自分の語学力に合った方法を見つけましょう。堪能でない人は、スピーチ全文を書き上げる必要があるかもしれません。タイ語を母国語とし、英語と中国語も話すビチャイ・ラタクル 2002－03 年度 R I 会長は、場合によって手法を変え、公式の場ではスピーチ原稿を使用し、非公式な場では要点に沿って話しています。概要を書くだけで十分な人もいますでしょう。

練習を重ねて完ぺきに：「原稿があっても、暗唱できるほど練習すること」とステンハマー元会長。ブライトスタイン氏は、特に発音を確認したい場合は、自分の発表を録音して聞き直すことを勧めています。

冗談は控えめに：ユーモアが必ずしも相手に伝わるとは限りません。慎重に使用し、または使用を避けましょう。「冗談が好きな人もいますが、私は極めて真剣に話します」と述べるのは、聞き手の共感と呼ぶ印象的な逸話を好むラタクル元 R I 会長です。「特にロータリーでは、聞き手の心に語りかけるような話を用意するようにしています」

カナダ

カナダには 2 つの公式言語があることをお忘れなく。ケベックで仕事する場合、英語とフランス語の資料が必要となります。

アルゼンチン

ビジネス上の関係が深まると、握手に加えて頬へのキス、抱擁（ハグ）、体を軽くたたくといったことがよく起こります。相手の動作に合わせておきましょう。

ドイツ

ビジネス会合は真剣な態度で取り組み、ユーモアは社交の場だけにとどめましょう。

インド

相手に足を向けてはいけません。また靴や足が相手にぶつかってしまったら謝りましょう。

ケニア

すぐにビジネスの本题に入らずに、多少の世間話から始めましょう。

インドネシア

名刺を受け取ったら、その場で丁寧に目を通しましょう。すぐにポケットに入れると失礼だとみなされます。

プレゼン作成の準備が整っていますか？

世界で通用するプレゼンテーション作成に役立つ3つのツールをご紹介します。

Haiku Deck www.haikudeck.com

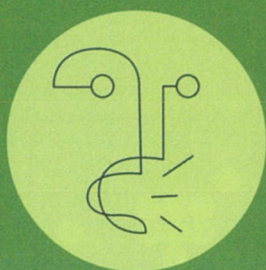
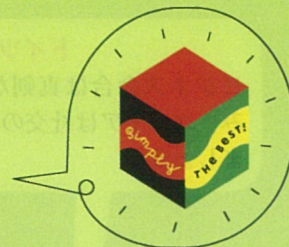
ビジュアルに重点をおいたプレゼンを作るためのツールです。非営利デジタルライセンス団体「Creative Commons」から背景画像を選び、自分で撮った写真を加えたり、「Getty Images」から画像を安価で購入できます。シンプルなデザインと一貫したフォーマットを使えば、間違いなく相手の関心を引くプレゼンテーションができます。iPadと通常のパソコンで利用可能。対応言語：日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語、簡体字中国語

Prezi www.prezi.com

ビジュアルに優れ、発表全容を記した1つのスクリーンからプレゼンテーションを作成できるツールです。ズーム機能を用いてトピックを表示できるほか、クラウド上で行うため、複数のユーザーで同時に作業できます。対応言語：日本語、英語、フランス語、ドイツ語、ハンガリー語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語

Flowboard www.flowboard.com

フォトギャラリー、ビデオ、リンクを使ったプレゼン作成に便利な、iPadとMacパソコン用のアプリです。作成したプレゼンごとにURLが設定されるため、オンラインで簡単にアクセスし、ソーシャルメディアでシェアすることもできます。コンテンツは、Dropbox、Instagram、Facebook、YouTubeからアップロード可。対応言語：日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語、簡体字中国語



就任に向けた発表の準備

ガバナーエレクトが出席する国際協議会では、パブリックスピーチを練習するためのセッションがあります。また、クラブ会長エレクトは、地区研修・協議会でスピーチの研修を受けます。ウェブサイト（www.rotary.org）から、「地区協議会 指導者用手引き」をダウンロードしてご参照ください。

賞を授与する側のヒント

- ・賞の重要性を物語る話を紹介する
- ・受賞者の名前を正確に発音する
- ・受賞者に関する基本的な情報を紹介する
- ・賞状や授与品を大切に扱い、丁寧に受賞者に手渡す
- ・表彰は立って行い、賞状や贈与品が聴衆からよく見えるようにする

受賞する側のヒント

- ・聴衆にあいさつし、ゆっくりと心を落ち着けてから本題に入る
- ・「あのー」「えー」などの不要な間投詞は避ける
- ・礼を述べ、名前の紹介は最低限に抑え、明確に発音する
- ・聴衆は自分を応援してくれているという気持ちを持つ

ROTARY 掲 示 板

新クラブ（既存クラブの合併）

杉戸（2770・埼玉県）

2014年9月6日承認

会員数 39人 例会日 木 12:30
 例会場 埼玉縣信用金庫杉戸支店2階
 事務所 〒345-0036 北葛飾郡杉戸町
 2-15-21 埼玉縣信用金庫杉戸支店2階
 会長 廣井 慎一 幹事 古谷 豊
 *杉戸RCと杉戸中央RCが合併。杉戸RCの加盟承認日は、元の杉戸RCの加盟日を保持した1971年5月3日です。

事務所住所変更

今市きぬ（2550・栃木県）

〒321-1273 日光市吉沢 230-10

村上朱実方

氷見中央（2610・富山県）

〒935-0252 氷見市中村 1369

本川方

南アルプス（2620・山梨県）

〒400-0422 南アルプス市荊沢 1312-1

長沼工業所内

東京国立（2750・東京都）

〒186-0011 国立市谷保 5234-1

鎌倉（2780・神奈川県）

〒248-0035 鎌倉市西鎌倉 3-1-2

東大阪中央（2660・大阪府）

〒543-0031 大阪市天王寺区石ヶ辻町

2-8 クレアツィオーネ上本町 704 号

八尾中央（2660・大阪府）

〒581-0869 八尾市桜ヶ丘 1-88

ベルドミール桜ヶ丘 203 号室

例会場・曜日・時間変更

帯広東（2500・北海道）

アパホテル帯広駅前（建物名称変更）

新札幌（2510・北海道）

ホテルエミシア札幌（建物名称変更）

敬弔 第2520地区・菅原周一氏が6月9日逝去されました。74歳。謹んで哀悼の意を表します。

（塩釜RC会員・1986-87年度G）

敬弔 第2730地区・島津久厚氏が7月27日逝去されました。96歳。謹んで哀悼の意を表します。

（都城RC会員・1965-66年度G）

敬弔 第2520地区・及川新氏が8月3日逝去されました。87歳。謹んで哀悼の意を表します。

（宮古RC会員・1985-86年度G）

敬弔 第2580地区・松島寛容氏が8月12日逝去されました。94歳。謹んで哀悼の意を表します。

（那覇西RC会員・1992-93年度G）

横浜瀬谷（2590・神奈川県）

e モール 2 階

* 春日部（2770・埼玉県）全例会 火

12:30 春日部市商工振興センター

川口南（2770・埼玉県）江南春

* 氷見中央（2610・富山県）

第1・2・3のみ 金 12:30

粋な民宿 美岬

* 清水（2620・静岡県）全例会 火

12:30 ホテルサンルート清水

八尾中央（2660・大阪府）

ベルドミール桜ヶ丘 203 号室

* 春日部・氷見中央・清水ロータリークラブは、国際ロータリーの例会頻度試験的プロジェクト（2007年7月1日～2013年6月30日実施）参加クラブ。移行措置期間における変更です。

インターアクトクラブ名称変更

柳井商業高等学校→柳井商工高等学校

（2710・山口県・柳井）

2008年4月1日承認

広報誌 ROTARY 刊行！



今年度も一般向け、会員勧誘用の2つの広報誌を改訂し制作しました。ご案内状（申し込み用紙付き）は、9月号と同送で見本誌と一緒に、クラブへお送りしました。「ロータリーデー」での広報にご活用ください。ご注文は『友』事務所まで。

ローターアクトクラブ名称変更

大阪御堂筋→大阪御堂筋本町

（2660・大阪府・大阪御堂筋本町）

2013年7月1日承認

ローターアクトクラブ終結

土浦（2820・茨城県・土浦）

2014年6月30日承認

各種変更はお早めにお知らせを

「掲示板」原稿はガバナー月信、各ロータリークラブから文書で通知されたものを基に作成しております。ご所属地区ガバナー事務所や国際ロータリーのウェブサイト「My ROTARY (www.rotary.org/myrotary/ja)」などへ、クラブ事務所・例会場・例会曜日や開始時間等、各種変更をご連絡される時には同時に、ロータリーの友事務所へもお知らせください。

2015年3～6月号『友』誌表紙写真再募集 締め切り今月末！

写真のテーマは設けません。詳細は8月号横組みP 38または『ロータリージャパン』www.rotary.or.jpをご覧ください。お待ちしております。

『友』誌ご購読部数 変更についてのお願い

- ①今年度『友』誌下半期分(2015年1月号～6月号)の減部のご連絡は、2014年12月5日までに直接友事務所をお願いいたします。ご連絡は郵便・電話・FAXのいずれでも結構です。
- ②1月号の発行部数決定や発送準備の都合上、12月6日以降は、1月号の減部はご容赦ください。
- ③12月6日以降の会員変動による減部は、2015年1月13日までにご連絡いただければ、「2月号～6月号」の減部として対応させていただきます。
- ④1月14日以降にご連絡いただいた減部はすべて、次年度7月号からになりますのでお気をつけください。
- ⑤追加申し込みは、残部がある限りお受けいたします。随時ご連絡ください。
- ⑥部数変更のご連絡がない場合には、2014年12月号と同じ部数を送付させていただきます。

なお、『友』誌2014年1月号から試験的に電子版を会員の皆様全員に提供しております。1月号～6月号下期の購読料は電子版も含めて、定価200円＋消費税といたします。今後の購読料などの詳細につきましては、あらためて別途、ご案内申し上げます。以上、よろしくお願いいたします。

◆訂正 本誌10月号横組みP3右段上から6行目のサイトをendpolionow.org/jaへ、おわびとともに修正します。

ご投稿・お問い合わせは――

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル4階
一般社団法人ロータリーの友事務所
ロータリージャパン www.rotary.or.jp
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

地区別クラブ数・会員数・出席率一覧表 (2014年8月末現在)

地区	R C 数	会員数	前年同月末 会員数	出席率(%)
第2500地区	67	2,269	2,242	82.17
第2510地区	70	2,580	2,590	84.55
第2520地区	80	2,284	2,290	80.91
第2530地区	66	2,339	2,326	83.96
第2540地区	42	1,113	1,057	81.91
第2550地区	51	1,706	1,656	87.23
第2560地区	56	2,071	2,018	83.96
第2570地区	52	1,688	1,717	83.16
第2770地区	76	2,612	2,569	84.50
第2790地区	84	2,788	2,753	82.32
第2800地区	50	1,619	1,638	85.74
第2820地区	58	1,978	2,005	85.65
第2830地区	41	1,135	1,134	84.12
第2840地区	46	1,967	1,900	85.52
第2580地区	70	3,013	3,012	85.70
第2590地区	60	2,191	2,192	88.37
第2600地区	55	1,998	2,017	89.53
第2610地区	65	2,621	2,669	84.68
第2620地区	78	3,010	3,043	89.40
第2630地区	80	3,122	3,119	86.62
第2750地区	97	4,693	4,616	79.31
第2760地区	84	4,854	4,863	93.67
第2780地区	64	2,327	2,245	83.45
第2640地区	70	1,968	2,042	86.28
第2650地区	97	4,615	4,567	90.75
第2660地区	82	3,657	3,671	87.90
第2670地区	74	2,993	2,967	87.30
第2680地区	73	2,886	2,899	91.70
第2690地区	67	3,103	3,097	86.10
第2700地区	61	3,179	3,189	89.61
第2710地区	74	3,313	3,283	90.86
第2720地区	74	2,421	2,402	85.52
第2730地区	65	2,342	2,339	84.89
第2740地区	57	2,220	2,191	85.40
34地区合計	2,286	88,675	88,318	

日本のロータリー

会員数 88,360人
クラブ数 2,277
(左の表中34地区合計から、第2750地区のPBグループを引いた数です)
ガバナー月信より 第2750地区のクラブ数・会員数は、PBグループ9RC315人(北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ)を含みます。P6「日本のロータリー」数は、34地区合計からPBグループを引いた数になります。前年同月末PBグループ8RC会員数288人。
修正 本誌7月号横組みP54(4月末)表中、第2740地区平均出席率を85.90%、会員数を2,205人、34地区合計会員数を88,774人、表外とP6「日本のロータリー」最終行の会員数を88,489人へ修正。同9月号横組みP39(6月末)表中、地区会員数：第2520地区を2,232人、第2710地区を3,243人、34地区合計会員数を87,011人、表外とP6「日本のロータリー」最終行の会員数を86,699人へ修正。同10月号横組みP43(7月末)表中、地区会員数：第2520地区2,277人、第2560地区2,064人、第2770地区2,604人、第2820地区1,968人、第2830地区1,132人、第2590地区2,182人、第2620地区2,996人、第2780地区2,320人、第2670地区2,970人、第2710地区3,297人、34地区合計会員数を88,284人、表外とP6「日本のロータリー」最終行の会員数を87,969人へ修正。平均出席率、第2530地区83.60%、第2540地区84.44%、第2690地区86.68%へ修正。
*『ロータリー・ジャパン』の「ロータリー関連資料」には、データ修正後の表を掲載。
*第2520地区の数値はすべて概数です。

ロータリーの友

12月号主要記事予定

横組み 特集 家族月間

配偶者の奉仕活動／夫婦でロータリアン
よねやまだより

縦組み 海外見聞録

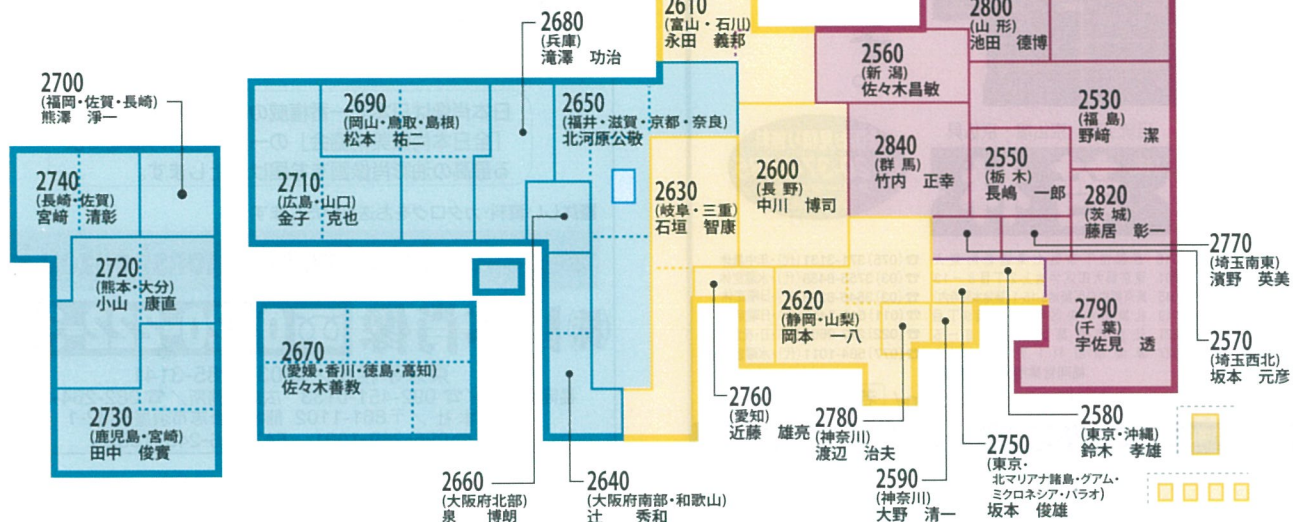
当別町町長 宮司 正毅

わがまち……そしてロータリー 弘前市





第1ゾーン
第2ゾーン
第3ゾーン



『Rotary Japan』 www.rotary.or.jp に各地区のホームページをリンクしています。

月刊 ロータリーの友

第62巻 11月号

2014年10月31日印刷 2014年11月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

■ 社員 北 清治 (浦和東)
杉谷 卓紀 (玉名)
鈴木 孝雄 (東京池袋)
坂本 俊雄 (東京八王子南)
渡辺 治夫 (横須賀)
泉 博朗 (大阪帝塚山)

■ 理事会

代表理事 橋本 長平 (京都東)
理事 清水 良夫 (横浜)
中山 義之 (横浜南)
神崎 正陳 (茅ヶ崎湖南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
本田 博己 (前橋)
志田 洪顯 (静岡)
大室 僞 (宝塚武庫川)
鈴木 喬 (東京江北)
水野 功 (東京飛火野)
森本 行俊 (東京町田サルビア)
横山 武志 (東京北)
中里 公造 (川口モーニング)
大澤 成美 (東京臨海)
野中 茂 (川崎)
渡辺 誠二 (東京みなと)
二神 典子 (東京築地)
高良 明 (川崎西)
船越 豊 (千葉中央)
板橋 敏雄 (足利東)
中村 昌平 (東京北)

監事 相談役

■ 職員

所長 渡辺 誠二 (東京みなと)
編集長 二神 典子 (東京築地)
編集 稲川 やよい
黒野 稷二
野崎 恭子
山名 愛
飯田亜由香
経理 富澤 美子
半田 弥生
福元菜穂子
振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591
印刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人ロータリーの友事務所

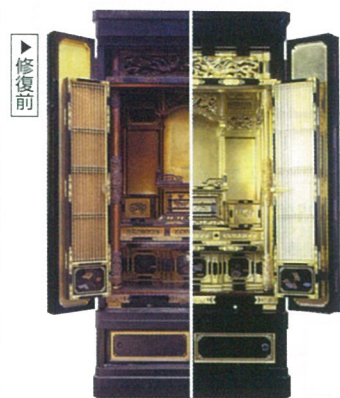
〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
電話 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956
ホームページ www.rotary.or.jp
定価 200 円 + 消費税 (送料別)

落丁本・乱丁本は一般社団法人ロータリーの友事務所までお知らせください。
本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

京に生まれ育って185年、若林はお仏壇・仏具の専門店です！

伝統的工芸品の京仏壇から新感覚の仏壇・仏具まで
在庫豊富に取り揃えております。

◎ご予算に合わせた修復お見積りをいたします



お仏壇の
「洗い修復」
承ります。



伝統工芸 京仏壇・京仏具

(株) 若林

全国お見積り無料
0120-37-8585
フリーダイヤル
(各店共通)

京都本社/〒600-8218 京都市下京区七条通新町東入 〆(075) 371-3131 (代)・年中無休
東京店/〒146-0081 東京都大田区仲池上2丁目8-13 〆(03) 3755-8488 (代)・水曜定休
築地店/〒104-0045 東京都中央区築地3-15-1 (築地本願寺内) 〆(03) 3546-8228 (代)・日曜定休
札幌店/〒064-0919 札幌市中央区南19条西9丁目 〆(011) 512-3455 (代)・日曜定休
仙台店/〒980-0821 仙台市青葉区春日町8-5 〆(022) 213-0666 (代)・日・祝定休
近江草津店/〒525-0027 草津市野村1丁目3-10 〆(077) 564-1011 (代)・水曜定休
福岡営業所/新湯営業所 〆(077) 564-1011 (代)・水曜定休

http://www.wakabayashi.co.jp/ 若林仏壇 検索

楽天市場店「お仏壇ショップ」http://www.rakuten.co.jp/kyo-butsudan

肖像画のことなら信頼と実績を誇る日本肖像へ

肖像画壇を代表する一流画家が揮毫
芸術の香り高い迫真の肖像画。



価値ある人生の年輪を永遠に
法人企業や団体の創立者、功勞
者のご顕彰に。叙勲、褒章、就任
退任のご記念に。還暦、古希、
喜寿、米寿など人生の節目の記
録に。金、銀婚式などのお祝に、
また遺影を肖像画にしますと仏
間の暗さが減じ明るくなります。
褪色のない油彩肖像画・・・
是非お薦め申し上げます。

日本肖像は日本で一番権威のある肖像画家の団体
「全日本肖像美術協会」の一流先生方の揮毫によ
る最高の油彩肖像画をお届けいたします。

■詳しい資料・カタログをお送りいたします

ホームページ <http://www.nihonshouzou.jp/>

(株)日本肖像 ☎0120-222-368

東京事務所/〆03-5285-3141
福岡事務所/〆092-451-0133 広島事務所/〆082-264-6075
熊本本社/〒861-1102 熊本県合志市須屋3882-1
〆096-249-1081 FAX 096-249-1082

2014～2015年度版 大改訂版(さくいん付)

ロータリー入門書

最新ロータリー情報・2013年規定審議会準拠

著 者 前原勝樹
重田政信
改訂協力者 渡辺好政
曾我隆一

RI会長代理、ウイルバー・F・ペルJR氏の地区大会メッセージより抜粋
……「もし善意というものがなければ、ロータリーはただの社交クラブだ。職業は金儲けでし
かなく、社会奉仕というも施しにすぎず、国際奉仕は外交以外の何ものでもない。」ロータ
リーの綱領を实践する態度について、あるロータリアンが昨年このように非常に感動的な
反省をおこなって、当時のアンスト・G・ブライツホルツRI会長に書き送りました。

ブライツホルツ前会長はこれに深く感動し、しばしば引用しております。前会長が引用し
ているこの感動的一文は、皆さんご存知のように、群馬県桐生クラブの前原勝樹バスターガ
バナーが書いたものであります。(昭和47年9月～10月 350、351、353、355、356地区大会)

ご注文はFAXにてお願いいたします 03(5207)8255 (株)北斗企画 担当:内園

「ロータリー入門書購入希望」と明記の上、ご注文部数、貴クラブ名、貴クラブご住所・
郵便番号、御電話番号、御担当者名をご記入いただき、FAXにてご送信ください。

※個人の方は、ご注文部数、所属クラブ名、お名前、御送付先(住所・郵便番号)、御電話番号をご記入ください。

お問合せ先/株北斗企画 内園・牛島 03(5207)6681 E-mail: ushijima@hokutokikaku.co.jp



定価800円(税込・送料別)

表紙のメッセージ

岡井 耀毅



「京都清水寺の夜景」(京都府)
撮影 浅岡 謙治 (2760 岡崎東)

京都の清水寺の開創は、奈良時代末期の宝龜九(七七八)年。山号は音羽山、宗派は北法相宗。古くから桜と紅葉の名所として知られ、老木風枝を交えて秋の紅葉の壮観は「新高尾」と世に称されてきた。

清水寺という寺名は、音羽山中からこんこんと湧き、音羽の滝に流れ込む霊泉に由来している。この霊泉は、「すべての人を救う」観音のご利益とあわせて古来から無病息災、立身出世、良縁・子授けなど現世利益を願う善男善女を集めてきている。

本堂舞台からの都の俯瞰も壮観で、昔から東国の旅人は山科から東山を越えて当寺に参詣してから都を眺めて坂を下り、五条大橋から京へ入ることが多かった。

道傍には茶屋や土産物店が連なり、遊興地でもあった。門前の名物では清水団子などがよく知られていて、五条坂は「弥次喜多」でも名を残している。

庶民信仰で栄えた当寺も、明治初年の廃仏毀釈の嵐で打撃を受け、その後は境内も十分の一以下にせまくなっている。

東山区にある奥の院崖下の音羽の滝は天下五名水の一つで諸病に効くといわれ、持ち帰る人

や祈誓する人が絶えない。

本堂の舞台は観音に願をかけて、その結願の日に堂下に身を投げると所願成就ならケガもなく、否ならば死して成就できると信じられ、古来から投身者が絶えなかった。これにちなんで、死を覚悟して事を行うことを「清水の舞台から飛び降りる」ということわざも生まれている。

文明開化の世になって、明治五(一八七二)年、政府はこの投身の風習を禁止して、投身よけの柵を設けた。

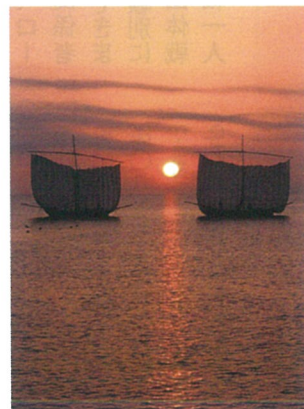
東山、音羽山の中腹にひろがる十三万平方メートルの境内には、国宝・重要文化財をふくむ十五の伽藍が建ち並ぶが、そのほとんどが江戸初期の再建であり、平成六(一九九四)年にユネスコ世界文化遺産「古都京都の文化財」の一つに登録されている。

「紅葉シーズンの京都は人出が多いので敬遠していたのですが、たまには混雑覚悟の上で行ってみるかということで、去年十一月三十日から翌月一日と南禅寺近くの宿を予約して家内と二人で行ってきました。夜の清水寺はすごく混むと聞いていましたので、覚悟して八時ごろ出かけましたが、はたして人の頭を見るのか紅葉を見るのかといった状況でした」

と、浅岡謙治氏は言う。

*

霞ヶ浦の日の出は壮大で神々しく限りなくうつろい。その湖面を帆曳き漁の帆船がゆつたりと浮かんでいる。霞ヶ浦は、わが国第二の淡水湖で、古くは海の入江だったが、利根川の土砂堆積によって入り口がふさがれて出来上がった海跡湖。したがって、いまなおワカサギ、シラウオ、コイ、フナ、ウナギなど淡水魚類が多く生息しており、休日などには多くの釣り人



「霞ヶ浦の日の出」(茨城県)
撮影 豊島 泰之 (2770 浦和東)

が訪れている。

四季を通じて約百五十種もの野鳥も飛来してきて、自然観察の絶好の宝庫でもある。

最近では、ヨットを楽しむ若者のメッカとしても知られ、休日などにはカラフルな三角帆が湖面のあちこちを疾走していくセーリング光景が楽しい。なお、遊覧船も運航していて、霞ヶ浦の自然を心ゆくまで楽しむこともできる。

帆曳船は、七月から十二月にかけて、土浦市、かすみがうら市、行方市が観光用に運航しており、豊島泰之氏は、浦和東ロータリークラブのカメラ同好会の撮影旅行に参加して、二〇一一年十二月、撮影船(ホワイトアイリス号)に乗船して撮影に出かけた。

「天候にも恵まれて、筑波山、富士山のダイヤモンド富士もきれいに見られ、うまくカメラに収めることができました」

と、豊島氏。

霞ヶ浦の帆曳船は、土浦市など三市がそれぞれ観光船を運航しており、八月十六日にはかすみがうら市のあゆみ祭りが開催され、三市合同の七艘の帆曳船が出る。

走りゆく帆船がやく日の出かな

岡井輝生
(ジャーナリスト)

大会関係者と観客に、福島県の元気を発信し、災害や原発事故、風評被害に負けずに頑張っている姿を伝えたいと思い、「選手がんばれ!! 福島がんばる太鼓フェスタ」を行いました。おもてなしの心を表すには何がふさわしいかと考えた結果、選手を鼓舞する意味も込めて入場口で太鼓演奏をしようと企画した次第です。

開催期間中は三日間とも雨でしたが、雨天の合間をぬって、地元では有名な太鼓チームが精いっぱい熱演してくれました。

来場者は、よい席を確保しようと小走りで向かう足を止め、演奏を楽しんでくれました。たたき手も想像以上の観衆に気合が入って、バチが割れるほどの力の入れようでした。



太鼓チームが気合の入った演奏

サーコードが厳格で、本来、オフィシャルスポンサー以外の企業・団体名は会場内で表示できないようですが、厚意により、入り口の広場にロータリー徽章と当クラブ名の表示を許していただきました。会員たちも雨に濡れながら、見た目以上に重い太鼓やその架台を必死に移動しました。おかげで、事故もなく、無事イベントを終えることができました。

(菅野日出喜・記)

元気な子どもたちに 移动式プール寄贈

福島しんたつロータリークラブ

第二三〇地区 福島県

五月一六日、原発事故により福島県飯館村から福島市飯野町に避難し



贈られたばかりのプールで遊ぶ子どもたち

ている飯館村立草野・飯樋幼稚園に移动式プールを寄贈しました。

クラブでは昨年度、学校間の連絡や避難中の子どもたちの送迎などに利用できる軽ワゴン車一台を飯館村に寄贈するなど、福島市に避難しているという地理的条件もあって、これまでも継続的に支援と交流を深め、飯館村の応援をしてきました。

今回は、避難生活中の子どもたちが外遊びや水遊びなどが十分にできない環境にあると聞き、発達段階に応じた身体機能の低下にならないよう、また、成長著しい子どもたちに今年の夏をプールで大いに楽しんでもほしいと思い、贈呈に至りました。

当日は早速、園児たちが水の張った

ていないプールに入り、水遊びできることを待ち望んでいる様子で歓声を上げていました。

最後に、飯館村の菅野典雄村長をはじめ、多くの園児たちからの「プールでたくさん遊びます」と大きな声によるお礼の言葉がありました。福島が明日に向かって頑張っている元気な姿を見ることができ、会員一同、満足感を味わいました。

Annotation

AED (自動体外式除細動器)
けいれんし、血流を送るポンプ機能を失った状態(心室細動)になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。

内外よろず案内

第二回全国RC親睦卓球大会in出雲開催

出雲中央RC会長 高橋 英一

出雲中央ロータリークラブ(RC)は一月三〜四日、島根県出雲市大社町の県立浜山体育館(カミアリーナ)で「第二回全国RC親睦卓球大会in出雲」を開催します。ロータリアン、ロータリー関係者と、障がい者の方も参加できます。団体戦と個人戦で経験別に試合を行い、参加費は団体戦一人五〇〇円、個人戦一人

三〇〇円です。二三日夜には、出雲ならではの趣向を凝らした親睦会(参加費五〇〇円)を予定しています。皆さま、奮ってご参加ください。

◇問い合わせは、出雲中央RC事務局まで。

TEL 〇八五三二〇〇九九〇
FAX 〇八五三三一一五一八
Email: chuor@white.pala.or.jp

一人五〇〇円、個人戦一人



懇親会の最後は「手に手つないで」の大会唱

国から三三合唱団が参加した。

名古屋出身のオルガニスト・吉田文さんが演奏するバッハの「トッカータとフーガ 二短調」で開会。当クラブの木村光徳会長（当時）、盛田和昭同連合会会長、田中正規ガバナ（当時）のあいさつに続き、当クラブのオオスシンガーズの合唱で開始。合唱後は愛知県立芸術大学の末吉利行教授の講評をいただき次の合唱団へ、という形で進化した。途中、三三合唱団で代表者会議を開き、次回は二〇一五年六月六日に函館RCをホストに開催、次回は別府での開催が確認された。

名古屋地区RC合唱団連合会は二〇一一年から、東日本大震災復興支援のチャリティーコンサートを開催し、義援金をあしなが育英会に送

ってきたが、今回は全国の合唱団の賛同をいただいて、この合唱祭もチャリティーとし、当日の義援金を含め一〇〇万円以上を同育英会に寄付した。

当日の総入場者は一〇〇〇人を超え、一般の人たちも多く、ロビーでは当地区が行っている東日本大震災復興支援の活動が展示され、広く一般の来場者にもPRできた。

終了後、六〇〇人以上のロータリアンが参加して懇親会を開いた。「函館の女」など、次回の開催地にちなんだ合唱が続ぎ、最後は「手に手つないで」の合唱で閉会となった。

（鬼頭茂成・記）

第二回福モモコンサート

福島中央ロータリークラブ

第二五三〇地区 福島県

四月一六日に福島市のホテルで、復興支援プロジェクトとして地区復興補助金を活用した「福モモコンサート二〇一四」を開催しました。東日本大震災と原発事故で福島市民は大きなダメージを受けました。これから三年以上がたちましたが、今なお不安な日々を送る人が多く、彼らの心の癒やしのためのミニコンサート



心の癒やしのため2回目のコンサートを開催

トです。

昨年五月は福島市音楽堂で、シンガーソングライター・モンデンモモさんを招き、桜の聖母学院小学校の子どもたちを交えて「福モモコンサート二〇一三」を開催。大好評で終えることができ、今年度も地区復興補助金を活用した第二回の開催となりました。

今回は桜の花が真つ盛りの、絶好のタイミングとあって、テーマは「心の花を咲かせよう。花見山の幾千の花と共に」とし、地元の花見山公園から福島市の復興を応援したいという思いで開きました。

当日は花見山公園園主の阿部一夫氏とご家族をお招きし、花見山から取り寄せた切り花でモンデンさんのステージを飾るとともに、帰りには

全員にお花を渡すことができました。本当に思いに残る復興支援プロジェクトとなりました。来場者には、モンデンさんの素晴らしい歌声とともに癒やしのひとときを過ごすことで、元気アップを図ってもらえたのではないかと思います。

モンデンさんが花見山への思いをこめて作った曲「花見山伝説」から、その歌声に乗せて、私たちの感謝の気持ち全国に広がっていくことを願っています。

（坂本和司・記）

選手と福島を応援する太鼓フェスタ開催

福島北ロータリークラブ

第二五三〇地区 福島県

六月六・八日に福島市で、第九八回日本陸上競技選手権大会が開催されました。日本最高峰の陸上競技大会であり、アジア競技大会の予選も兼ねる重要な大会が、地方都市の福島市で開かれるのは珍しいことです。開催により、復興支援の一助としたいという日本陸上競技連盟の配慮があった、と聞きました。

その恩情に応えるには、われわれとしても、ただ大会を楽しむというわけにはいきません。全国から来る



インストラクターの指導を受ける会員たち

いくことでしよう。

(篠原英介・記)

痛くて楽しい健康例会

斜里ロータリークラブ

第二五〇〇地区 北海道

クラブは六月一日、「健康な未来への運動講座」と題して、ストレッチを中心とする例会を開催した。会員の平均年齢が約六二歳と高齢であるため、日常生活で簡単にできる運動の方法を学んだ。

初めにFTPマットピラティスインストラクターの橋本由香氏から健康寿命などの説明があった。健康寿命とは、健康的で日常的に介護を必要としないで自立した生活ができる

生存期間のこと。日本人の平均健康

寿命は男性約七二歳、女性約七八歳だそう。また、メタボリックシンド

ローム（内臓脂肪症候群）やロコモティブシンドローム（運動器症候群）

により、健康寿命が短くなる、あるいは要介護状態になると教えられた。

続いて、橋本氏から①靴下を立ったまま履くことができるか、②家

の中でつまづくことはないか、③階段の上り下りの時に手すりが必要とするか、④横断歩道を青信号点滅中

に渡りきれぬか、⑤一五分間歩いても疲れを感じないか、⑥二キロほどの重さの買い物袋を家まで持ち歩き

できるか、⑦布団の中で起きるまでぐずぐずしていないか、という質問があり、各会員がわが身を真剣に振り返っていた。

その後、約二五分間、足の指と足首の曲げ伸ばし、かかとの上げ下げ、タオルを利用しての足指の運動、片

足立ち、第二の心臓ふくらはぎのマッサージ、スクワットなど、ストレッチの実技指導を受けた。

会員の中には十分対応できなくて転んだり、顔をゆがめたり、体が悪うように動かないなど、痛いながらも笑いの絶えない、とても愉快で有意義なひとときとなった。

(辻舒宏・記)

早期復興に向けて「絆号」贈呈

会津若松西ロータリークラブ

第二五三〇地区 福島県

四月二十六日、福島県会津若松市にある、双葉郡大熊町の仮庁舎前で、大熊町への軽ワゴン車「絆号」の贈呈式を行いました。これは、東日本大震災からの復興に向け同市に避難を余儀なくされている大熊町を支援しようと、友好クラブ第二八〇〇地区（山形県）の鶴岡西ロータリークラブ（RC）、第二七三〇地区（鹿児島）の鹿児島中央RCとの五か年計画の中の三年目のプロジェクトとして、当地区復興補助金を活用して実現したものです。



ゴールデンキーを手渡し、「絆号」寄贈

贈呈式では、大熊町から渡辺利綱町長らが出席し、ロータリーからは

渡邊公平ガバナ（当時、以下同）、鶴岡西RCの松森昌保会長、鹿児島

中央RCの小原正信会長ほか、総勢三四人が出席しました。当クラブの

佐藤榮朗会長が「ゴールデンキーを手渡し、受け取った渡辺町長からは謝辞をいただきました。その中で、

さまざまな支援を受けていますが、五年の長期にわたる計画はほかになく、本当にうれしく勇気をいただいています」と述べていました。

今後も長期の避難生活が予想される大熊町の町民のため、「絆をひとつに、新たな明日へ」を合言葉に掲げ、事業を継続・発展させていきたいと思ひます。

(渡邊博康・記)

第一九回 全日本RC親睦合唱祭

名古屋大須ロータリークラブ

第二七六〇地区 愛知県

六月七日、愛知県名古屋市で、当クラブが主幹ホストクラブを務め、名古屋地域の七合唱団から成る名古屋地区ロータリークラブ（RC）合唱団連合会主催により「第一九回全日本RC親睦合唱祭」が開かれ、全

実演もありました。まだまだ器材、血液とも不足しているとのことですが、この他、商工会議所の方との会談など、大変充実した訪問となりました。今後もミヤンマーの人々との交流を継続していきたいと思えます。

(古家豊・記)

チャレンジしましょう サーフセラピー

高鍋ロータリークラブ

第二七三〇地区 宮崎県

五月二四日、高鍋海水浴場で、知的障がい者を対象にしたサーフセラピーを、クラブとして初めて実施した。スポーツを通じた障がい者や引きこもりの人たちの健全育成、参加者のリーダーシップ育成、地域社会の活性化が目的である。

イギリスなどで効果を挙げているこのサーフセラピーは、その名も「ウェイブ・プロジェクト」という団体によって運営されており、サーフィンなどを通じた障がい者のセラピーを行っている。

今回はサーフィンと水上ボート、タグラグビー（腰に巻いたヒモを取ることでタックルの代わりとするラグビー）という三つの体験を用意した。サーフインは体験者一人に対し



子どもたちがサーフィンに挑戦

ライフセーバー三〜四人がつき、水上ボートは体験者一人にライフセーバー二人が挟んで同乗、タグラグビーは宮崎市立住吉南小学校児童によるデモンストレーションからルール指導、交流試合、鬼ごっこなどで遊びを入れたレクリエーション型とした。

対象は、知的障がい者支援施設・うからの里高鍋事業所と、発達障がい者支援施設・このみ園からの計二三人。支援者としてNPO法人の児湯・高鍋ライフセービングスポーツクラブのライフセーバー二人、住吉南小児童二人、うからの里職員五人、このみ園職員四人と同保護者一〇人、それに当クラブ会員一五人が参加した。

多くの人の協力で、無事終了。人と

あまり関わらないという子どもたちが、「積極的に行動し、笑顔を見せてくれた」と参加した全員が喜んだ。好評につき、来年五月に第二回を実施する予定でいる。

トライアスロン大会 サポート

宮崎中央ロータリークラブ

第二七三〇地区 宮崎県

七月一三日、今年も「宮崎シーガイアトライアスロン大会」が開催され、全国から世代・年代を超えた一〇〇人以上のアスリートが集結し、熱い闘いを繰り広げました。私たちのクラブからもボランティアとして、大会前日の準備から多数の会員が参加し、大会運営の一翼を担いました。

当日は、時折スコールも降る不安定な天候でしたが、奮闘する選手や多くの学生ボランティアと一緒に過ごしたひとときは、私たちに感動を与えてくれました。

押川紘一郎会長（大会実行委員長）をサポートしようと、クラブとして動き出しましたが、この大会の距離がオリンピック・ディスタンス（オリンピック競技と同一の規格）になったことで、国内トップクラスの選



多くの参加で盛り上がったトライアスロン大会

手の参加も目立つようになりました。二〇二〇年の東京オリンピックに向け、宮崎はトライアスロンの強化練習の拠点にもなっており、来年で以降ますます発展していくのではないのでしょうか。

大会創設時の方針である、チャレンジ部門、ジュニア部門の設定を通じた競技の振興、競技者の育成もきちんと受け継がれており、今回も宮崎中央ロータリークラブ（RC）賞の対象として、多くの初心者やジュニア・キッズを表彰しました。

第二六七〇地区・観音寺東RC（香川県）の小林英夫会長は三回目の参加。手土産を持参して本部を訪ねてくれました。完走後も元気な姿を見せ、その場で来年の参加も表明してくれました。こうした交流も続いて

ROTARY AT WORK

文章編

ロータリークラブならびに地区の活動を紹介、6000字以内。関連写真があれば添付してください。

青少年交換事業と初めてのホームステイ

西条ロータリークラブ
第二六七〇地区 愛媛県

当地区では三〇年以上前から、第七四七〇地区（アメリカ・ニューヨーク州北部）との間で短期の青少年交換事業を行っています。当クラブではここ三年ほど、学生の派遣ができていませんでした。昨年一二月からクラブ国際奉仕委員長やほかの会員が熱心に活動してくれたおかげで、二〇一四―一五年度は素晴らしい女子学生の派遣が決まり、具体的な計画が進む中、新年度が始まりました。

六月二十九日、アメリカ第七四七〇地区から受け入れ学生が来日しました。徳島、香川、高知を回り、最後

に愛媛入り。七月一日に地元のホテルで、受け入れ学生のジュリアン・プランチャード君とノア・ハンフリーズ君との対面式を行いました。妻や子どもの協力を得て、この日から三泊四日の日程で、わが家としては初めてのホームステイをスタートしました。

食事も含め昼間の行動計画をスムーズに進め、当クラブ会員のサポートもあり、本当に楽しく過ごすことができました。二人の男子学生も素晴らしい。心配も取り越し苦労になりました。家族も献身的に協力してくれて大変ありがたく、素晴らしい体験をさせてもらいました。

協力してくれた人たちに感謝するとともに、二人の学生の日本での貴重な体験



青少年交換学生たちとさまざまな体験

重な体験が、帰国後、役に立つことを願っています。また、今回の青少年交換事業が無事に終わり、彼らが日本とアメリカの親善大使として、友好の懸け橋となることを願っています。

（金子卓行・記）

ミャンマーのヤンゴンで奉仕活動

神奈川ロータリークラブ
第二五九〇地区 神奈川県

七月二〇～二四日、川崎北ロータリークラブの川野正久・バスター・ガバナリーにも同行いただき、一二人で「ミャンマー・ミッション」を挙行しました。

きっかけは、ミャンマーからの留学生であるエイ・タンダー・チョーさんを今年度の米山奨学生としてお世話をする機会に恵まれたこと、加藤信明幹事に、ミャンマーの政財界の方々と太いパイプを持つ知己がいたことでした。そこで、現地の人々と交流を図るとともに奉仕活動ができないかと検討を始めました。両者からのアドバイスで、現地のニーズをタイムリーに、的確に得ることができ、実践に至りました。主な活動

は次の二点です。

経済的に恵まれない子どもたちへ教育支援をしている二つの寺院（寺子屋のようなもの）にノートと鉛筆、粉末飲料と固形栄養食品五〇〇人分を寄贈。雨期で学校の入り口は水深二〇センチほどの池になっており、泥水の中を足でかき分けながら進まなければならぬような所でしたが、大勢の子どもたちからは「勉強がしたい！」というものすごい熱意が伝わってきて、その目の輝きに圧倒されました。

献血ボランティア団体にAED（自動体外式除細動器）一台、注射器一八〇〇本を寄贈。同団体の副会長で、ミャンマーの国民的スターであるウイル・チョーさんによる献血の



現地に赴き、AEDを寄贈

ROTARY AT WORK

若手ロータリアン研修 セミナー開催〈第2660地区〉

泉博朗ガバナーの強い要望で、今後の地区を背負う55歳以下の若手(?)ロータリアンと地区役員の総勢230人が大阪市内の中国料理店に大集合。昨年度の地区職業奉仕委員長・木越正司氏の講演「ロータリーは人づくり」、泉ガバナーによる来年5月開催のロータリーフェスティバルの話、続く討論会では、入会間もない若手ロータリアンの熱気あふれる質問にガバナーも汗をかきながら応じるなど盛り上がった。懇親会では交換学生の歌などが披露され、熱気ムンムンの研修会となった。

(8月12日 大阪府)



ROTARY AT WORK

少年少女ニコニコキャンプ

〈大阪西南R.C.・大阪西南RAC〉地区独自の青少年奉仕活動として毎年行なう「少年少女ニコニコキャンプ」を、今年は大阪西南R.C.と大阪西南RACをホストクラブに大阪府立青少年海洋センターで開催。「夏の思い出 海から始まる! 仲間との絆!」をテーマに、小学4~6年生65人、ロータリーアクター62人、インターアクター16人、ロータリアン70人が参加した。児童たちはカヌー、筏、カッターなどの海洋プログラムを体験。ロータリーアクター、インターアクターも児童の世話を通じてリーダーシップを学ぶ貴重な機会となった。

(8月1~3日 第2660地区 大阪府)



観光遊歩道を清掃〈江田島R.C.〉

全国に多数ある国民宿舎の中でも珍しい海上建築の「能美海上ロッジ」と、江田島の窓口の一つである中町港を結ぶ約800mの遊歩道を、社会奉仕の一環として清掃した。海辺の道は普段からきれいにはされているものの、会員たちで植木の中など細かな所まで注意深く清掃すると、大きなごみ袋数個分のごみを集めることができた。海水浴のシーズンとなり、レジャーで江田島を訪れる多くの人々に気持ちよく歩いてもらえることを期待している。

(7月27日 第2710地区 広島県)



模擬面接で就職活動支援〈横手R.C.〉

職業奉仕活動の一環として、秋田県立平成高等学校(横手市)で、就職試験模擬面接を実施した。同校にIACがある縁で行ったもので、就職希望の3年生38人が参加。会員が次々と質問し、生徒は緊張しながら熱心に答えていた。生徒の一人は「学校で練習する内容より実践的で役立つ」と語っていた。クラブとしては、若者の早期就職を減らし、地元定着を支援する活動が続けていきたいと考えている。

(8月18~20日 第2540地区 秋田県)

ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。必ず活動日を入れてください。記念写真(集合写真)は掲載できません。

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK



地域イベントで「流しソーメン」

子どもたち197人が参加して、夏恒例の地域イベント「ジャリン子七夕」が行われた。クラブでは毎年、青少年奉仕委員会が「流しソーメン」を企画し、会員と実施している。今回のサブライズとして缶詰のバイナッブルとお菓子（グミ）も一緒に流し、子どもたちの歓声に会員も元気をもらった。短い夏の思い出となった。

（8月7日 第2510地区 北海道）



子どもの笑顔に出会う

〈前橋RC・前橋RAC〉
親子の絆、自然との触れ合いなどを目的とした地域のイベント「ホリデーインまえばし」に前橋RACは毎年参加している。第40回の今回は前橋RCも運営に協力し「緑日体験ブース」を出展。落書きせんべい、かたぬきなどのコーナーに多くの親子連れが集まり、子どもの笑い声であふれた。何度も並び直して同じ種目に挑戦する子や、全ての種目に挑戦する子もあり、真剣なまなざしが印象的だった。会員も多くの笑顔に出会い、前橋の暑い夏の疲れを忘れ、「参加してよかった」とあらためて感じるひとときとなった。

（8月24日 第2840地区 群馬県）



夏休み恒例、河川敷クリーン大作戦

〈入間RC〉

地域青少年健全育成推進会支援事業として夏休みに行われる「西武地区入間川クリーン大作戦」に、今年は約250人が参加。クラブは同事業を後援している。真夏の太陽が照りつけるこの夏一番の暑さの中、入間川兩岸で空き缶などのゴミを拾い、また自転車や家電製品などの粗大ゴミの片付けに、会員も参加者とともに汗を流した。関係者によると、開催前的大雨による増水でゴミが流されたことから、例年より量が少なかったとのこと。開会式で小・中学校各2校にクラブが贈呈したリヤカー4台は、さっそくその機動力を発揮していた。

（7月26日 第2570地区 埼玉県）



祭りでかき氷1200人分を無料配布

〈京都市RC・華頂女子中学高等学校IAC〉

次年度にクラブ創立25周年を迎える京都市RCは、会員数38人の少数精鋭ながら、活発に奉仕活動を行っている。今回は、京都市東山区で開かれた「白川子供まつり・魚つかみ大会」に協賛。夏休み中の子どもたちや近隣住民約2000人が来場した会場で、1200人分のかき氷を無料配布した。また、昨年創立の華頂女子中学高等学校IACは「フヨヨヨすくい」に参加した。魚を追いかける元気な子どもたちの姿に、会員は明るい次世代の到来を見た。

（8月3日 第2650地区 京都府）



ロータリー アットワーク

ROTARY 写真編
AT WORK

シューズバンクプロジェクトと創立20周年

東京練馬中央ロータリークラブ
第2580地区 東京都

5月21日に開催した、クラブ創立20周年記念イベントと例会で、記念事業として行った「シューズバンクプロジェクト」を披露しました。練馬区内の小学生が、まだ十分に履ける中古の靴を集めて、靴が高価で買えないフィリピン的小学生に履いてもらうために送る、その手伝いを当クラブと地元フィリピンのイムスインディペンデンシアRCが行うという事業です。

収集した靴を清潔に保ち、確実に子どもたちの手に渡すことが重要で、そのためイムスインディペンデンシアRCと現地の小学校と連携を取りながら、会員が直接、現地を訪問して手渡す必要がありました。一方、練馬区内の小学校では、4年生の授業の一コマとして取り上げていただき、PTA、教育委員会の協力を得るまでに発展しました。約10年前に2クラブで始めた同事業は成長し、創立20周年記念事業の目玉として披露できるまでになりました。

同事業の本質は、靴という物質的支援とともに、子どもの自立を手伝うという精神的支援も行っているということ。そして支援対象のフィリピン子どもだけでなく、練馬区の小学生在が自ら靴を送ることを通して「奉仕」を実体験し、フィリピンという国を知り、ある種の国際親善を体験するといった多様な学習の可能性を持ち、それを学校、PTA、教育委員会、フィリピンの多くのロータリアンが支えていることです。20周年事業としてロータリークラブ員利に尽きると、会員一人ひとりが実感できました。

(堀部正行・記)

沢蟹の甲羅濡らして戻りくる

千葉・富津中央 三枝かずを

亡き妻も見をらむ月と帰る道

千葉・市川 照井 親資

読み比べ社説八月十五日

神奈川・横浜旭 吉原 則光

草むらに瓜の香や蟻の列

富山・上市 水野 昇平

残暑見舞知床の印押してあり

大阪うつば 齊藤 隆二

傘差すも差さぬもありて梅雨に入る

鳥取・米子南 中村 夢窓

朝の陽に箆かたむけて梅を下す

埼玉・日高 高木 祥子

世の隅に気ままに暮し更衣

福岡城南 吉武 草徑

かくまでも思ひつるや盆参り

大阪・堺 堤 淳

大阪のしぶとき暑さ盆に入る

兵庫・芦屋川 廣瀬ゆきを

オスローの白夜の月を探しけり

奈良 田伏 博子

水撒きて虹の生れる芝生かな

神奈川・横浜戸塚 中村 裕一

遠き日の一銭銅貨かき氷

東京荒川 井上 一郎

オホーツクの際に佇み今朝の秋

北海道・登別 寺島紀子夫

蜜豆や夫婦めおととなりて五十年

山梨・甲府西 太田 道夫

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』俳壇係宛

螢見はたのしきものぞ黒姫山の
ゆるき水辺と寂かなる間

東京ワセタ 福地桂之助

立ちあがり腰をなでつゝ振り向けば
深きみどりのジャガイモ畑

神奈川・川崎西 吉田 寿枝

右するも左するも日本なんとなく
危ふき崖を歩む心地す

岐阜長良川 井戸 豊彦

ザグレブの青き市電の乗客は
皆お洒落して日曜の朝

岐阜加納 鶴飼 武彦

三十年を花鳥に籠めし写真集
魂は充ち光輝く

富山・魚津西 加納 綾子

平成の修理を終えし平等院
阿吽の鳳凰虚空に羽ばたく

石川・金沢百万石 石丸 恭子

俳句にも歌にもならぬ思ひあり
言葉とぼしくいら立つ晩夏

奈良 寺田眞佐子

変りなく父母の年月過ぎゆきて
九十二歳は奇跡のごとし

奈良 吉田 淳一

原爆のあと生々しき広島に
すいとん食みて学びたる日々

兵庫・甲子園 田中 由子

『夾竹桃』母の遺せし歌集の名
乙女の華やぎ花に託して

香川・高松 平峯 千春

出土せし銅剣三百五十本
埋もれぬし謎秘めて蓮咲く

島根・出雲南 小村 尚子

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』歌壇係宛

年上の十円玉に励まされ

神奈川・横須賀 物井 宏介

生真面目が時に仲間を遠くする

熊本西南 古閑 修

入道のほうが優しい積乱雲

群馬・伊勢崎 秋山 春海

終戦日なかったことにしたい国

愛知・新城 鳥居 栄一

暇もでき人間らしい顔になる

兵庫・神戸中 吉井 邦弘

雨割りの酒もまた良しねぶた見る

新潟・吉田 佐藤 良一

煙突が都市鉦山に名を変え

埼玉・入間南 大野 快三

花言葉ない雑草の自己主張

茨城・日立港 小松 弘二

その昔男は泣くなど訓えられ

千葉・市川 照井 親資

あちこちに痴呆議員が多すぎる

埼玉・入間南 大河内隆敏

平凡に生きた自分史色香添え

和歌山・新宮 塩崎 公治

お酌され爛酒しみる式前夜

群馬・太田 柳田 秀男

ミヤマキリシマ見た事ないが登山好き

大分・中津 福澤 廣明

朝顔を描こうと思った夏休み

愛知・豊橋 武田 芳幸

例会は妻のストレス解消日

北海道・斜里 辻 舒宏

川柳にぼけぬ薬効ありと聞く

富山・射水 江守 正

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』柳壇係宛



長谷川 權



好日の街を蝶々と歩きけり

東大阪東 田中 邦夫

心軽やかな一句。好日という言葉から天気がいいだけでなく、心もはずんでいることがうかがえる。その勢いで「蝶々と歩く」という発想が生まれたのだろう。

虫干しや箱に小さくイタリア語

埼玉・日高 落合 好雄

何の箱か。イタリア語で何かしたためてある。商品名でもいいのだが、ここは誰かがペンで書いたメモのようなものかもしれない。どちらにしても虫干しの品々の中で異色。

夏落葉そうかおまえも暑いのか

熊本グリーン 河島 一夫

落葉が一枚ひらひらと夏木立から舞い降りてくる。青ざめて、あるいは紅く色づいて。この句はその落葉への共感。あまりにも暑いのに疲れて落ちてきたんだな。

寝転んで居れば日暮るる蟬時雨

東京日本橋東 廣瀬 嘉夫

昼寝の延長か。遠く蟬しぐれを聞きながら長々と横になっていると、いつの間にか太陽が西へ傾き、夕暮れてきた。日がのぼり、日が沈む。大きな時の流れをとらえている。

雨蛙生れしままを恥らはす

福井南 松山 古来

「生れしまま」とは裸ということ。たしかに雨蛙は生れてから死ぬまで裸のまま。衣をまとい、顔を装うのは人間だけのようである。せめて心ばかりは裸のままでもいい。



馬場あき子



かたはらに老妻あることの当然がある日ある時どちらかが一人

神奈川・相模原 佐藤 清一

当たり前で普通の関係が崩壊すること、これは災害にあうと同じように不幸なことだ。時々私たちはその不幸について考え、方途を失う。私たちが夫婦二人になり、生活も不安がないのに、老いて夫婦二人になり、生活も不安がないのに、ふと、どちらかが一人になることを考えた時、なおその後の余生に自信があるという人は、あまり多くない。この一首に触発されて物思うことは多いだろう。ついに人間はひとりなのだとわかっていても。

沈黙に平気でぬられる間柄
日と目で会話楽しみてをり

岡山・真庭 山下 輝子

長い間の深い関係の中で、相手のことを知りつくしてしまうと、しだいに言葉がいらなくなっていく。互いに目と目を見合わせるだけで、互いが何を欲しているかわかり、行為ができる。すばらしいことだし、少し面白すぎるが、よくわかる。

間柄という客観的な言葉もユーモラスだが、もちろん夫婦以外ではないだろう。

大口に嘴まんとすればはずれたる
入れ歯に瞬時夕餉とまどふ

青森・三戸 加藤 定男

夕べの風呂まだ暖かし追い炊きし
今日は日曜のんびり入る

山形・余目 佐藤孝二郎



てじま晩秋



過積載わびて足湯でマッサージ

新潟 小林 悟

短文芸の特色であります「擬人法」に長（た）けておられる作品です。貨物トラックやダンブカーに見立てた我が身に、素直に詫びて「野菜類を主体にした食事に切り替え、ウォーキングや腹筋運動などをして、適切な体形に戻ります」と足湯で反省されて、ダイエットを誓う「決意」と覚悟」作者のその希望が見えます。

小林さん、どうか頑張ってください。

神仏も視野に入らぬ絶頂期

埼玉・川越 小川 正夫

注記にもありましたが、九〇歳をとうに超えられて、ますますお元気な小川さん。「小江戸」の呼称で知られる歴史の街、埼玉県川越市にお住まいになっておられるんですね。前項の作者、小林さんと同じく、健康的な日々をお過ごしのことと拝察しております。どうかいつまでもお元気で「ロータリークラブ」の振興・運営をリードしてください。

夏セール売れ筋係のランドセル

神奈川・横浜旭 吉原 則光

夏休み中にランドセルを孫にプレゼントする風潮が、流行（はや）ってきたらしいです。もう少し前までは春休み、少し早い冬休みの買い物でしたが、今は元氣な祖父母、いわゆる「じいちゃん・ばあちゃん」が暑さにもめげず、デパートなどの売り場を占拠しているらしいです。昔から、色は黒と赤が主体でしたが、緑、青、果てはバイオレットもとか。隔世ですね。

ひたすらにレール支える寂びた石

京都・宇治鳳凰 辻 幸男

す。また、医療を受ける場合、使用する注射器が使い捨ての安全なものかどうかチェックする必要がある、日本から注射器などを持参するほうがよいと指導されることもあり、高血圧など慢性疾患がある方は、内服薬を必ず持参してください。

大都市では人ごみの中で行動する機会も多く、インフルエンザなどにも感染しやすいですから、手洗いやうがいを行わなければなりません。大きな問題の一つが結核菌の感染。極めて感染力の強い菌ですから、人ごみの中で知らぬ間に感染してしまうことがあります。比較的、咳、痰に大嫌いな国民性ですから、注意してください。もちろん、見た目に不潔そうな食べ物屋などでの食事はなるべく避けてください。熱を通してあっても、かなり使い古された油で調理されていることもあります。

中国はいまだに鳥インフルエンザの撲滅はできていない状況です。中国を訪問する際は、感染情報を事前にチェックすることが必須です。旅行保険に加入し、特に緊急搬送時の支払いが可能な保険を選んだから、中国や東南アジアへお出かけになることをお勧めします。

(第二五九〇地区・神奈川県・横浜港北RCにて、同RC会員)

酒の歴史

(一社日本バーテンダー協会
名誉会員) 相原 勝

「酒とはアルコールを含んだ飲み物のことである。古今東西、いろいろな酒が生まれ改良が加えられ、そして飲み継がれて現代に至っている。人類の歴史は、酒の歴史とともに繰り広げられたといっても過言ではない」(『バーテンダーズマニアル』福西英三著・柴田書店・一九八七年)

人間の手による酒造りが文献に挙げられるのは、紀元前五〇〇〇年ごろからです。古代オリエント文明最古の文学作品と言われる『ギルガメシュ叙事詩』には、その時代を述べたものがありますが、その中に、赤ワイン、白ワインを造ったということが記されています。また紀元前四〇〇〇年ごろと推定されるシュメール人の遺した板碑『モニュマン・ブルー』には、ビール醸造用のエンメル小麦を脱穀してビールを造る様子が描かれています。

その後、酒造りに大きな変化をもたらしたのが、ヨーロッパの錬金術師たちによる蒸留技術の酒への応用でした。これによりアルコール分の多い強烈な酒を造

ることが可能になり、錬金術師たちは強い酒をラテン語で、アクア・ビテ「生命の水」と呼び、主に薬酒扱いにしました。この「生命の水」の製法は中世ヨーロッパの各地に伝えられ、これらの酒が人間の持つ経験と知恵によって改良され、ポーランドやロシアのウォッカ、フランス、イタリア、スペインなどのブランドー、スコットランドやアイルランドのウイスキー、北欧諸国のアクアビットと分化して今日飲み継がれています。

こうした蒸留酒が出現して間もなく、多くの薬草、香草などを蒸留酒に配してその成分を抽出し、より薬用効果のある秘酒の製造が行われるようになりました。この種の酒はリキュールと呼ばれて珍重され、大航海時代に世界各地で新しいリキュールが開発され多様化しました。

コメで造る日本酒は、水稲技術が普及した紀元前四世紀ごろから大陸や朝鮮半島の文化の影響を受けて生まれたと考えられています。また、焼酎は一五世紀ごろ東南アジアから琉球を経て渡来した蒸留技術によって生まれたと考えられています。

お酒を飲んでお金を無駄にするか、お酒を知らずに人生を無駄にするか。

(第二六二〇地区・静岡県・沼津北RCにて)

卓話



■「卓話の泉」は、各クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

電気火災について

東京消防庁 神田消防署長 吉田 成美

火災の原因に、電気火災があります。

電気による火災とは、普段使っているコンセントや延長コードの銅線部分がスパークを起こす、あるいは発熱、高温となることにより周囲のものが焦げる、炎を上げて燃える、といった現象です。そのスパーク、発熱にいたる経過としては接触時の緩み、ショート、トラッキング現象、過負荷などがあります。

火災事例としては、束ねたコードからの出火があります。五メートルの延長コードを折り返して束にしたものを結束、使用していたところ、束ねたコード

が電気コンロのニクロム線と同じ働きをしたため、やがてコードの表面が溶け、ショートして出火に至りました。また、天井に敷かれた照明器具の電気配線をネズミがかじったために芯が露出し、その部分がショートして周囲の断熱材や木材に着火し火災に至ったという事例があります。パソコン内部がトラッキングにより発火したという事例は、本体内部にたまった埃が発火し、火災の原因となったものです。

調理方法をよく読まずに、即席麺を電子レンジで容器ごと加熱したため、容器のアルミホイルから火花が飛び散って合成樹脂の容器に着火し、火災に至ったというケースもあります。これは本来、容器に入っている麺だけを加熱し、それから容器に戻して食べるという調理方法でした。電子レンジを使用する場合は、商品に書いてある使用方法、温め方などをよくご確認ください。

電気火災の予防法としては、定期的な清掃、適正な維持管理、そして取り扱い説明書に従った使用、ということが重要になります。電気火災は火災原因のうち、ある意味一番怖いものであり、注意が必要です。

(第二五八〇地区・東京都・神田RCにて)

中国の医療事情

(独労働者健康福祉機構
横浜労災病院 院長

西川 哲男

中国・北京を訪れる場合、大気汚染のため、呼吸器系疾患やアレルギーのある方は、マスクを常に持参すべきです。けがや病気で困ったら、在中国日本大使館に相談するのも一法です。適切なアドバイスや診療施設の紹介、場合によっては即時帰国を指示されることもあります。

北京では最近、日本と同程度の診療を受けられる環境が整備されつつありますが、病院などで中国人医師の診療を受ける際、医療器材の消毒が完全か否か注意すべきです。現在では、消毒、衛生観念が十分行き届いていると言っても、すべてが共通認識で医療行為を行っているとは限りません。医療行為から感染する疾患は、梅毒、エイズ、肝炎、マラリアなどです。例えば、日本のように血液採取時に感染症の有無を十分に検査する体制が確立されているとも思えません。従って、交通事故をはじめ外傷や、大出血をきたす可能性のある胃潰瘍などの消化器系疾患には十分注意する必要があります。

の小森津枝子さんという方から手紙と寄付が届きました。以下は小森さんの手紙の抜粋です。

先日の連休に「東北支援ツアー」に参加し、ウミネコ繁殖地「蕪島神社」に行つてまいりました。ガイドさんから「ここは古いトイレのあった場所ですが、現在はあちらに新しいトイレができていますのでご利用ください」の案内がありました。ウミネコの爆弾を浴びることなく、蕪島神社のお参りを済ませて、おしゃれな造りのトイレへと向かいました。そこにはロータリークラブのロゴ、八戸ロータリークラブの表示が……「ひゃあ、ロータリーさん、ええことしたはる〜」、思わず声を出してしまいました。もちろん、しっかりと写真にも記録済みです。

私は四二年間（昨年退職）ライオンズクラブの事務局員として勤め、隣室のロータリークラブの事務局さんとも懇意にしていましたので、ライオンズやロータリーの文字を見ますとうれしくなるのです。

帰ってから、すぐにロータリーさんの事務局で「トイレ」の話をいたしました。よくご存じでした。地区からの広報で知っていると……会話が進みます。おこがましく分不相応は承知の上、トイレを気持ちよく使用させていだいたお礼を「ニコニコ」でと思い、お隣さんからニコニコ袋を頂戴して送金させていただきます。

「トイレ建設の奉仕」、本当にありがとうございました。一観光客としてのお礼です。事

務局さんのお名前も表記できず申し訳ございませんが、会員の皆さまに私の気持ちを伝えただけは幸いです。

この手紙を例会で読みあげたところ、会員から小森さんの感動に感動したということで、たくさんニコニコが集まりました。全国のロータリアンの皆さまに紹介したいと思い、筆を取りました。

（第二八三〇地区 青森県 印刷）

My Road to Rotary

白井 丸岡伸比古

ロータリー歴一七年になる。入会した当初、例会に行く度に「ロータリーとは……」「委員会報告です」などという話に辟易し、出席率は三〇割未満、首を切られることを半ば期待していた時期があった。そのころ沢々出席したインターシティーミーティングで、講演者が「ロータリーは社交クラブである」とさうろつと云つてのけたのである。私の目から一〇〇割が続いている。友に会って、一緒に飯を食う。これがロータリーの原点であると考えている。

さて、昨今話題に上るのは会員増強、寄付のことばかり。もちろん活動に人、資金が必要なることを否定はしない。国際奉仕、大きな

プロジェクトも重要かもしれない。しかし、巨額の資金を果てしなくつぎ込むことが、果たして、ロータリーの創始者ポール・ハリスの望んでいたクラブの姿なのであるうか、と思わずにはいられない。

この疑問を解く鍵がある。ポール・ハリス著『My Road to Rotary（ロータリーへの私の道）』である。英文で読み、昨年から少しずつ訳しては、時々例会で解説をしている。まだ本の半ばに到達したところであるが、驚くばかりである。なぜなら、本の四分の三は、ロータリークラブを作るまでの「自分史」なのである。生い立ち、少年時代を過ごしたバートン州の小さな町ウーリングフォードでの、たわいない話であるからだ。彼が祖父母の元で暮らした少年時代のエピソードが満載なのだ。スケートをした、冬山で遭難しかけた、パイがおいしかった、夜中にこっそりと列車に忍び込んで遠出をした、などなど。

ロータリークラブをつくる時に彼が思い描いたのは、少年時代を過ごした村での生活、人々とのつきあいを、都会にもつてくることはできないか、ということだったと言われている。

本はあと半分残っている。読み終えた時に、私のクラブに何が残るか、楽しみである。

（第二二〇地区 大分県 脳神経外科医）

*『My Road to Rotary』は、全文または抄録としていくつかのクラブが翻訳し、出版しています。詳細はロータリー文庫にお問い合わせください。

は』という『願望』の上からこのことを記したものであって、いうなれば願望追求の思惟の世界のことです。それに対して後段は、『物格りて而る後に知至る』というように、すでに実践を経て、そのことを体得し、把握した後のこと、即ち体得の世界の消息を記したものであると、私は見たいのであります」

こうして父の私に対する思いと、黄RI会長の世界のロータリアンに対する思いが私の中で重なる。ここにくるまでに十分に人格を陶冶し、修行を積んできたであろうと。ここから先は、ますます実践に励みなさいと。ここにこそ天下平らか、世界平和、発展繁栄に至る道があると。

(第二七九〇地区 千葉県 総合建築)

ユジノサハリンスクRC の宮西豊氏を訪ねて

神戸南 米谷 収

昨年九月の『神戸新聞』の記事に、旧樺太庁博物館のライトアップに尽力したとして宮西豊氏が紹介されていた。この人を訪ねてみようとの連絡を取り、今年七月三〇日から八月四日までロシア・ユジノサハリンスクへ行ってきた。

出発直前になって宮西氏がユジノサハリンスクロータークラブ(RC)の創立会員で、唯一の日本人であることが判明し、例会

でバナー交換もしたいし、例会後、同行するアコーディオン奏者の後藤ミホコさんに、演奏をさせたいと連絡し、出発した。

空港ではロータリーの看板を持って出迎えていただいた。例会には先方の地区内三クラブからゲストが出席、医師でアコーディオン奏者の会員による演奏で歓迎され、例会後は後藤さんの演奏で大いに盛り上がった。

宮西氏は札幌出身でアコーディオンの腕を見込まれて北海道放送に入社、作曲した「函館ブルース」は一九六七年にヒットしたとのこと。九一年からユジノサハリンスク市(旧豊原市)に住み今年で二三年。傘寿を迎えられ、経営する日本料理店「ふる里」をはじめ、児童養護施設や病院の支援、ガガーリン公園に桜並木をつくるなど慈善活動に日々努め、



空港まで出迎えていただきました。ネクタイを締めているのが宮西氏

二〇〇八年には同市の名誉市民として表彰されている。また、一二年、ロータリー世界平和フォーラムがハワイで開催された時に参加し、田中作次国際ロータリー会長(当時)から世界平和大使に任命された。

滞在中、コルサコフRCの会長をはじめ七人の会員とバーベキューパーティーで交流を深め、ロシア人の温かい心に感銘を受けた。コルサコフ(旧大泊)市の港湾施設は日本統治時代に建設されたもので、現在、LNG(液化天然ガス)搬出港として利用されている。

一〇月五日に小生が専務理事をしている(一社)神戸日華実業協会主催のコンサート「ロシアの歌を楽しもう会」があり、お誘いしたところ、来ていただけることになった。その翌日が神戸南RCの例会日なので卓話をお願いし、楽しみにしていたのだが、九月下旬に秘書の方から電話があり、体調を崩され移動は無理なので、誠に残念だが今回は行けないとのこと。クラブでも熱烈歓迎する予定であっただけに誠に残念であるが、ご回復を祈るばかりである。

(第二六八〇地区 兵庫県 人材紹介業)

奉仕に芳志

八戸 峯 正一

ロータリーの奉仕活動に対して、京都在住



にぎやかでカジュアルな台湾の結婚式

さん(当時)。以下同。台湾のロータリーでは、職業に関係する英語の名前で呼び合う習慣があります)の結婚式に招かれ、六月二九日、西川亮彦会長と出席してきました。台湾の結婚式は軽装で参加するのが一般的なようで、ロータリーの仲間もGパンとシャツでの参列でした。受付には新郎新婦の写真が置いてあり、そこでお祝いを渡します。お祝いは四を除いた偶数の金額を包むのが習慣で、友人なら二六〇〇元、その上は六六〇〇元となるそうです。

式ではガバナーのあいさつの後、私たちも紹介してもらいました。新郎新婦がシャンパンタワーをしたり、式当日に新郎が新婦の家へ迎えにいく儀式(新婦の家のドアにクイズがあり、新郎はそのクイズに解答してドアが開きます。夫婦の苦勞を乗り越えるためのおまじないだそうです)のDVDが上映されました。

またロータリアンの席で飲む時は必ず乾杯するので、誰かが飲むたびに自分も飲まなければいけませんでした。式には特にきちんとした終わりはなく、三々五々解散でした。式後は会員の自宅にうかがったのですが、その豪華な家にびっくり。家に着くまでに三つのゲートを通り、周囲にはいろいろな様式の豪邸が並んでいました。

夕食は会員のエリックさんの経営するレストラン「銚・善・閣」で精進料理をこそうになりました。肉の食感をキノコや豆腐で出していて、おいしくいただきました。ちなみに僧侶は食事代が三割引になるのだとか。

翌日、新年度の初例会に出席して帰国しました。空港のお迎えから見送り、お土産、食事の予約など、最初から最後まで親切にいただき、言葉にできないほど感激しています。これからもお互いおもてなしと感謝の気持ちを大切に、友好を深めたいと思います。

(第二六六〇地区 大阪府 デザイン)

まず自分の行いを 正しくし

成田 平山 秀樹

黄其光氏が国際ロータリー(RI)会長に就任するにあたって引用した孔子の言葉「まず自分の行いを正しくし、次に家庭を整え、次に国家を治めてこそ、天下が平和となる」

とは、「修身齊家治國平天下」のことを言っている。この「修身」とは中国の古典中の古典、『大学』の一節としてよく知られている。そして、私の父、平山金吾(第二七九〇地区一九九七―九八年度ガバナー)が私の社長就任時に与えてくれた言葉でもある。

「修身齊家治國平天下」は、「格物致知誠意正心」と合わせて「大学の八条目」という。これは、『大学』の「八條目」について書かれている節で、前段と後段で思惟と実践を述べていることに由来する。読み下し文を引用する。

古の明徳を天下に明らかにせんと欲する者は、まずその國を治む。その國を治めんと欲する者は、まずその家を齊ふ。その家を齊へんと欲する者は、まずその身を修む。その身を修めんと欲する者は、まずその心を正しうす。その心を正しうせんと欲する者は、まずその意を誠にす。その意を誠にせんと欲する者は、まずその知を致す。知を致すは物に格るに在り。

物格りて而るのち知至る。知至りて而るのち意誠なり。意誠にして而るのち心正し。心正しうして而るのち身修まる。身修りて而るのち家齊う。家齊いて而るのち國治まる。國治まりて而るのち天下平らかなり。

安岡正篤のもとで東洋哲学を修めた菅原兵治氏の著書『大学味講』にこうある。

「結論からいうと、前段は『明徳を天下に明らかにせんと欲する者は、まずその國を治む』というように、『何何せんと欲するもの

ンとしての自覚と誇りが感じられます。

今年度の「ロータリーに輝きを」は、素晴らしいRテーマで、個人奉仕を基盤におくロータリーとしての各会員がその趣旨を自覚し、奉仕に徹することにより、ロータリアンとしての輝きを増すのではないのでしょうか。

(第二六七〇地区 愛媛県 耳鼻咽喉科医)

アメリカインディアンと日本人

出雲中央 山口 孝之

昔、私が浪人をして予備校に通っていた時の人文地理の先生が話された雑談で、今でもよく覚えていることがあります。

「皆さんは子どもの時、映画やテレビの西部劇の中でアメリカインディアンが白人に追われて逃げていくのを見て、手をたいて喜んでいたと思いますが、実はアメリカインディアンとわれわれ日本人は先祖が同じなんですよ」

あらためてインターネットで調べてみたところ、その内容が正しいか否かは別として、いろいろな情報が出てきました。

アメリカインディアン(ネーティブアメリカン)の半数がすでに白人との混血で、残りの半分は日本人とうり二つの顔をしているそうです。

最近の研究で、アメリカインディアンとア

イヌのDNAが似ていることが判明したとのこと。現在の日本人はアイヌ人と弥生人との混血がほとんどだと言われていますから、日本人とアメリカインディアンとは人種的には兄弟の関係にあるといえます。このアメリカインディアンは、日本人と同じモンゴロイドであり、氷河期だった約三万〜一万年前にモンモスやバイソンを追ってアジアからベering海峡を渡ってアメリカ大陸へ移動した民だと考えられています。

日本人とアメリカインディアン共通のDNAは、他のアジアの国、また韓国や中国ではほとんど見つからないそうです。しかしチベットの人々には多く見られるそうで、縄文人とチベット人とアメリカインディアンに何かつながりがありそうです。さらに日本人そっくりの顔の人々がなぜかペルーの山奥にいたりもします。

日本の神道とアメリカインディアンの文化には共通点が多いそうです。それは、「自然とともに生きる」「人は自然の一部」「木や川に神が宿っている」「生き物を大切に」「感謝する」などです。

DNAテストで日本人とアメリカインディアンに共通のDNAを持っていることが明らかになったのは、縄文人の骨から採取したDNAからD1a、M7a、N9bという型が見つかり、D1aはアメリカインディアンによく見られるDNAグループであり、ほかのアジアの国からこれが見つかるのは普通ありえないからだそうです。

バナー自慢

桑名西ロータリークラブ

第二六三〇地区(三重県)



昭和五三年六月、当クラブの創立と同時にバナーが作られました。美しく気品に満ち、しかも桑名市のシンボルでもある菖蒲を、栗田秋生創立会員がデザイン。試作品の中から、創立会員によってこのデザインが選ばれました。

す。まさに数万年を超えた壮大なロマンと言えるでしょう。

(第二六九〇地区 島根県 外科医)

益成RC会長の結婚式に参列して

門真 泉 光典

門真ロータリークラブ(RC)は、昨年台北の益成RCと姉妹クラブを締結しました。今年四月に開催した当クラブの創立四五周年式典には、会員と家族に参加していただきました。その折、益成RC会長のエルイーディ

友愛の広場



FRIENDSHIP
PLAZA

エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

時は移って

京都西北 島崎 俊夫

昭和一桁生まれは、少なくとも若くして死を覚悟したことのある世代です。覚悟せよ、と思わされた年代です。今の世代は、その覚悟は要らない。この両者、年長になって、その精神に何か差があるか。今は思いもしないがその差、その痕跡。一桁世代が集った時に、その痕跡は、突如として頭を出す。サッカーなどで死に物狂いでやれ、と叫ぶのは前者、またはその教えを受けた者たち、まあこんなもの、と気を静めるのは後者の習いか。今、日本には、この両者の肝が交わっている。

少数派なのか、国際競技や国際外交の現実、に弱腰とじだんだを踏み、これが高じると、戦争になった。釈然としない外交活動、憲法問題を見て「弱腰」と「死に物狂い」の二者

択一で、国や人生の航路を決められるのだろうか。

物事には、戦略 (strategy)、戦術 (tactics) があり、残念ながら、日本が昔から苦手としていることである。それを身に付けるためには、活発な精神活動が必要である。

例えば世界に通用する文学、メルヴィル、ホイットマン、マーク・トウェーン、シェークスピア、モーパッサン、ゲーテ、ドストエフスキーなどの小説は、精神作用の根源を見せてくれ、人間の本质を表現する哲学を身に付けることが求められる。

人間の心の動きを理解し、知ることから、物事の判断を下すのが、日本人に欠落してしまっただ点である。昔の高校生は、一年から「哲学」の授業があった。日本は大事な物事を失ったように思う。さてロータリーが修養の場とも言うならば、日本のロータリアンは、失った必要なものを取り戻したいものである。

(第三六五〇地区 京都府 精密機器研究)

ロータリーに輝きを

松山 佐藤 昭美

ロータリーとは利己と利他の調和をはかる人生哲学と言われていますが、利己と利他の調和を図るためには、売って喜び、買って喜ばれる関係「適正利潤」を念頭において考え

る必要があります。つまり相手の立場を尊重し、誠意をもって対応することが大切で、これを「奉仕の理念」の言葉で説明しています。

「ロータリーの目的」には、「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」とありますが、第二六六〇地区パストガバナの故・塚本義隆氏は「ロータリーというサービスとは、『他人のことを考える』、『他人の役に立つ』こと」と表現していました。

「四つのテスト」には、言葉や行動に移す前に、四項目を念頭に置くようにと論しています。その中に、「みんなに公平か」「好意と友情を深めるか」とあります。取引に際し、関連業者との関係が話題になることがあります。関連業者に犠牲を強いてその上に自己の幸せを築くようなことがあってはならない、と公平さを求め、その結果、「みんなのためになるか どうか」になるわけです。

ポール・ハリスはロータリーを「Tolerance」と説きました。これは「寛容」「忍耐」を意味しており、問題を克服するには、お互い善意をもって努力する必要があるという意味だと考えます。

国際ロータリー (RI) 定款第五条にあるように、職業上および (または) 地域社会で良い評判を受けているという条件をクリアして入会を認められた会員は、週一回の例会に出席して親睦の中に自己研鑽に努め、人格形成、人間性の向上に励み、社会的信用を高め、よく精進していますが、ここにロータリア



100キロウォーク、スタート 提供：赤平RC

甲子園で 提供：赤平RC

に薄く削り出したのがベニヤ（単板）、それを貼り合わせたものがベニヤ板（合板）と、だいたいそういうことらしい。知らなかった。

松尾和俊会員の「空知単板工業」は内装用の単板で全国の四割近いシェアを持つ。

製造過程を見せてもらったが、冷凍された木材を、解凍し、糊で固め、煮沸してカットし、それを真空パックする。「木は生モノなので」という松尾さんの言葉が実感として響いた。

同社が主催して毎年行っている「チャリティーウォーキング大会（通称一〇〇キロウォーク）」が熱い。名前の通り一〇〇キロのコースを二日ばかりで歩き抜くイベントだ。

日大野球部出身のスポーツマン松尾さんが始めて、今年で一三回目。参加者は年々増えて九七四人。うち六二人が完歩した。

三年前には板垣さんが七五歳の記念に参加して見事完歩、最年長記録を更新している。

赤平RCの話に戻る。例会日の夜、宴会になった。「例会より出席率いいんでないか」という盛況。店主の石野茂元会長が日本海側の増毛まで足を延ばして仕入れたご馳走が並ぶ。

今回の取材の窓口、「友」の地区代表委員・柳孝一さん（札幌幌南RC）も付き合ってくれた。この後、運転して札幌まで帰る。ご苦労さま。ローターアクトクラブの武田洋平会長ら、若者四人の顔もある。赤平はアクトの活動も盛んだ。現在一五人。六月に行われる町最大のイベント「火まつり」の会場で、盲導犬育成の募金などを続けている。来年度、創立四〇周年。地域と一体となった活動、そして野球。赤平

RCの得意ジャンルに「歌」も加えねばなるまい。まあ、たいていのクラブがそうだが。

前夜は宮川さんの絶唱「ラヴィ・イズ・オーヴァー」を聴いた。今夜は会長幹事の現役コンビによる「白いブランコ」。近く聞かれる「赤い羽根チャリティーカラオケ」で歌う、その練習だそう。

岡田さんの振り付き「松の廊下」、松尾さんのAKB48「恋するフォーチュンクッキー」と続いて、終わりに近く、「サライ」をやるうの声。

谷村新司、加山雄三のこの曲は「二〇〇キロウォーク」の親睦会などでよく歌われるという。

松尾さんが歌い出すと会員が次々に立ち上がった。アクトの若者も加わり、合計一〇人以上が並んで揺れながら歌う。

♪いつか帰る いつか帰る……
赤平の町によく似合った。

☆

赤平の野球チームは後日、来年の甲子園出場を決める北海道大会に参加した。六チームが二組に分かれての予選で一勝一敗。突破ならず。会長、幹事コンビによる「白いブランコ」は三〇〇人の市民から大喝采を受けたそうだ。本人の申告なので真偽は定かでない。

宮本貢（みやもと・みつぐ）
元朝日新聞記者。退社後、フリーで活動。
水村孝（みずむら・たかし）
元朝日新聞出版写真部編集委員。現在フリー。

アクトが寄贈した障がい者作業所の看板





北海道光生舎の作業風景

従業員と談笑する高江理事長(右から2人目)

旅行用バッグなどの大手「エース」のグループ企業として、部品や完成品を納めている。

以前は石炭関係の会社をやっていた。炭鉱が閉鎖されて会社は立ち行かなくなり、私財も失った。エースの製造工場(エースラゲージ株式会社)が赤平に進出したのを機に、まったく畑違いのバッグ製造に踏み切ったのだった。

岡田さんの「空知バッグ」、宮川さんの「宮志工業」もエース関連のバッグ製造業。石炭関係から転業したことも菊島さんと同じだ。

赤平の最大の危機は七年前だったと、市の商工労政観光課・伊東嘉悦課長らは回想する。やはり産炭地だった夕張市が財政破綻し、財政再建団体(いまは財政再生団体)に指定された。企業の倒産と同じである。

次は赤平と、既定路線のように言われた。指導を仰いだ大学の先生も、数字を睨んで「うむ」と唸るばかり。「どんなことをしても無理だね」。続く一言が、じつは赤平再生のキーだったかもしれない。「でも人は元気だよ」

「財政破綻は赤平で食い止めねば」。市職員の希望退職を募り、給与も最高三〇％カットするなど行政のスリム化を断行した。学校などの統合、各種料金の値上げなど、市民生活もきびしい負担を強いられた。

市民はそれに耐えた、だけではない。たとえば病院に赴任してくる医師のために、テレビやこまごました家庭用品を自発的に寄付してくれたのだそう。よくぞ来てくださった、との気持ちであり、行政だけに頼らない(頼れない)自助自立の心意気でもあろう。

赤平市は、夜間人口より昼間の人口の方がわずかながら多い。働く場所があるからだ。会員の企業をいくつか見せてもらった。

高江智和理会員が理事長を務める「北海道光生舎」は障がい者の授産施設だ。父の故・常男さんが創業し、いまや日本で最大規模という。

常男さんは事故などで片目は義眼、両腕切断の障がいを負った。それにもめげず、自立の意を込めて「企業授産」という理念を掲げ、クリーニング業を立ち上げた。

以来、半世紀余。光生舎は札幌などで家庭やホテルを相手のクリーニング業を展開する一方、老人ホームなども手がける。常男さんの不屈の生涯は去年、アニメ映画になった。

石炭以後の赤平を支えた柱の一つはバッグ製造である。板垣英三会員も「エース」にいた。

靴職人として、名匠のもとで修業。独立後「エース」に誘われ、一九七一年の赤平工場立ち上げでは運営を任された。しかし一〇年後に退社、自分の納得がいく手作りの靴を目指し、あらためて独立した。

苦難続きだったが、手間のかかる「タンニンなめし」にこだわった。こうして育て上げた「いたがき」は靴のブランドとして確立し、道内各地や東京、京都にも直営店を開いている。

板垣さんは意外な「勲章」を持つ。社会人野球をやっていたころ、ひとりの少年に野球を(ちょっとだけ)教えたことがあるのだ。少年の名は、王貞治。

ところでみなさんは、ベニヤとベニヤ板の違いをご存じですか? 木材をかつら剥きのよう

空地単板工業の松尾社長(左)

単板でこんな製品も

「いたがき」のショールーム

今も現役の板垣さん





渡部元会長は牧場経営

そう尋ねたら、宮川さんが大きな声で断言した。「チームワーク。なにをやるにも必ず一丸となつてまとまる」。これに何度も頷いたのは仙田さん。二人は三年前に行われた赤平RC創立五〇周年の実行委員長・幹事コンビである。五〇周年記念の映像がネットで見られる。その大半は歴史や風土、産業、イベントなど赤平市の紹介で、クラブ自慢は最後に控えめに。「よそから来る人に落ちぶれた町のイメージを持ってもらいたくないんです」（宮川さん）、「ここは自分たちの町、ですから」（渡部さん）こうした気合が「第二の夕張」と言われた赤平の危機（後述）を救い、苦しいけれど胸を張



例会風景。中段左側の写真が菊島会長（左）と早坂幹事

ちが大威張りしたのだった。赤平高校の生徒たちが土持ってきたゾ」。赤平園には計九回出場。第一八回大会では三勝してベスト8になったと、元会長たちの野球談議はとめどなく熱い。

財政破綻は赤平で食い止める

赤平RCの創立は一九六〇年。赤平が市になって六年後である。以来半世紀余り。この町の絶頂期から衰退期、どん底、そして再生へと、クラブは地域と一体の歴史を歩んできた。たとえば菊島会長が経営する「エルム工業」。

れるいまにつながっているの
だろう。

チームワークと言えば野球である。野球部は二六年前、岡田さんが会長のときに作った。狙うは「夢の甲子園」。幸い北海道はチーム数が少なく、出場のチャンスは大きい。ド素人ばかりのチームが、しかし毎朝五時からの練習の甲斐あって次第にカタチになり、その年の道予選を勝ち抜いてしまった。まあ、参加は三チーム、最後はじゃんけんによる勝利だったが、勝ちちは勝ち。甲子園は甲子園。

翌一九八九年、甲子園の初舞台を踏んだ一行は球場の土を持ち帰り、「おじさんたちが土持ってきたゾ」。赤平高校の生徒たちが大威張りしたのだった。

交通事故が減った？ 立て看板

50周年記念で寄贈した時計



作業を見守るエルム工業の菊島社長（左）

エースラゲージのショールームで



わがまち.....ROTARY そしてロータリー

北海道 赤平市



どん底から再生へ 町を愛する人たちの底力

文・宮本 貢 写真・水村 孝

ここは自分たちの町
ですから……

あかひら
赤平市に行ってきました。

かつて炭鉱で栄えた町である。戦後の日本の復興と成長を支えた町の一つだが、二〇年前に最後の「ヤマ」が閉山となった。

最盛期に六万人を数えた人口は、いまや一万八千人。全国七九〇の市の中で下から四番目。歌志内、三笠、夕張、そして赤平。四市とも北海道、しかも空知地区の「炭鉱の町」だ。

人は減り、産業はなく、空き家が目立つ——そんなさびれた町を想像して訪れたのだが、とんでもない。いやあ、元氣じゃないですか。

赤平ロータリークラブ（RC）の早坂喜幸幹事の会で、駆けつけた菊島好孝会長にあいさつ。早坂幹事の案内で町をひと回りする。

「ここが会員の〇〇企業で、あそこは会員の△△社。その向こうは□□工業。会員じゃありません」。空知川に沿った細長い町に、企業や施設が結構多い。さびれているヒマはないか。

ふと思いついて、「空知川の岸辺」という小説が」と言いかけたら、「ええ、『独歩會遊の地』という小さな公園があります」。明治二八（一八九五）年、国木田独歩はこの地を訪れ、『空知川の岸辺』を書いた……。

余計な話でした。

その夜、岡田知治、宮川徹、渡部芳己、仙田哲夫の四会員が一席設けてくれた。いずれも会長を経験したクラブの重鎮である。

赤平RCの特徴はなんでしょう？

例会場の「赤平交流センターみらい」。駅ビルも兼ねている

駅前的大通り



赤平の繁栄の象徴だった
旧住友炭鉱の立坑櫓

ださい、ということですよ。これはつまり近ごろはやっている、やましたひでこ著『断捨離』に通じます。

今七〇歳以上の方はラッキーな世代で、おそらくこのままの状態が継続するかもしれませんが、私たちの世代以降から、大きく変わります。しっかりと生きていかなければ、孤独で貧困な時代が待っているでしょう。

このリンダ・グラットンの本のベースにある考え方は、「クリエーティブ・クラス」という考え方です。これはアメリカの社会学者リチャード・フロリダ（一九五七〜）の提唱した概念です。クリエーティブ・クラスが、繁栄のカギを握るという考え方です。彼はジョージ・メイソン大学の大学院教授です。ロータリアンは、ほとんど彼の言うクリエーティブ・クラスの方です。科学者とかエンジニアとか経営者とか芸術家とか専門家とかアーティスト、そういう方たちのことをクリエーティブ・クラスと言います。一次産業、二次産業、三次産業というような分け方がありますが、その中でウエイトを増しているのはこのクリエーティブ・クラスがいる街とない街、そういう形で経済の繁栄がずいぶんと変わってきている、ということを手張しています。

国の繁栄も都市の繁栄も、このクリエーティブ・クラスがどのくらいいるかで決まる、ということですよ。彼は三つのTが重要だと主張しています。最初のTは技術 technology のTです。次は才能 talent のTです。最後は寛容性 tolerance のTです。寛容性について少し付言しま

すと、私は東京で学生のベンチャーを支援するNPOスプリングウオーターの理事をしています。年に一回大きなビジネスプランコンテストを行っています。去年初めてゲイの学生が提案したものが優勝しました。欧米などから二〇〜三〇年遅れ、いよいよ日本でも、ゲイが差別用語としてではなく表に出てくる時代になったのだ、と感慨深く思いました。寛容性は非常に重要なファクターなのでしょう。

リチャード・フロリダは、国々のクリエーティブ・ファクターを数値化して発表しています。これで見ると日本は第九位ぐらいに入っています。スイスとかシンガポール、フィンランド、ドイツ、アメリカ、スウェーデン、香港、オランダに次いで日本が九位。その下にイギリス、というようなランキングです。日本はそう悪くはないと思います。

ただ、彼の大げなメッセージは、これからは国家間の競争ではなく、「都市間競争」になるということですよ。東京は間違いなく、上海などと競争しています。価値の競争の源泉は人、人のクリエーティビティー（creativity）しかない。だからいろいろな異端者、移民などを認めていかないとけない。アメリカの成功者は、ほとんどが移民です。ワシントン州のシアトルにはマイクロソフト、アマゾン、スターバックス、ボーイング、UPS（ユナイテッド・パーセル・サービス）など数多くの企業があります。

都市間競争という時代では、国境を超えて、オーストラリアのメルボルンとシドニー、ニュージーランドのウエリントンとオークラン

ド、インドのバンガロール、中国の上海、太平洋を隔てシリコンバレーやトロントとかバンクーバーと、東京は戦っているのです。クリエーティブ・クラスの人たちが集まっているサンフランシスコは、非常に所得が高く、そうでないところは所得が低く、同時に良い教育ができないので、優秀な大学も少ない。ある程度お金がないと良い大学にも行けないので、こういうことが連鎖していくことにより、格差を余計に大きくしていきます。ですから、そういうクリエーティブな人たちに投資をすることが大切であると思います。

欧米では、MBA（経営学修士）を創り、強化しリーダーを育てています。これから本当に日本を強くしようとするならば、経営学をしっかり勉強した良いリーダーをつくっていくか、とだめになる、と思っています。発展途上国に行くと気づくのですが、大学に経営学部はなく、経済学部しかないのです。東大も京大も経済学部の下に経営学部がついている状況になっていますが、それでは良いリーダーは養成できないと思っています。

また、文化や教育を盛んにするためには、産業を育成しなければなりません。その文化をつくり上げるのは人であり、その根幹は全て教育にあります。街をつくり上げるには時間が必要ですよ。一〇〇年や二〇〇年は時間がかかると思われます。

方向を絞ってぶれないで、一〇〇年後、二〇〇年後をつくりあげていけばよいと思います。

（ホスト 津山西RC・岡山東RC）

す。やりたくなければ辞めてしまい、自分のしたいことを見つけて、それをやっていけと言っています。これからの時代は「ポッセ（posse 同志志を持つ仲間）」という仲間と一緒に、「co-creation コ・クリエーション（共創）」をする時代だと言っています。つまり一人ではなく、仲間と一緒に何かを作っていく時代になっていくのだろーうと思います。

広く浅い知識を持っていたても、意味のない時代を迎えます。iPadがあり、ウィキペディア（インターネット上の百科事典）があれば足りるのです。そうではなくて、しっかりと専門的知識、誰にも負けない知識が今後必要となります。

二〇一三年末に、私が主催している岡山大学のベンチャー研究会であるOUVL (Okayama University Venture Laboratory) で、岡山県加賀郡吉備中央町にある、吉田牧場の吉田全作社長に講演していただきました。彼はヨーロッパを放浪してチーズに出合い、牧場を開き、チーズ作りに取り組んだそうです。吉田さんのチーズは本当においしくて、作れば売り切れるような状況になっています。

これからは、このように高い価値を持つ専門技能を持つ人、つまりゼネラリストではなく、スペシャリストが必要なのです。本当の価値のためには、ダイヤモンドのように希少性があるとか、模倣されにくいものを作っていないといけません。まさに吉田牧場のチーズなのです。

岡山に岡山ローカルアソシエイト (Okayama Local associate Oia) という岡山の財界の若手の人たち（この中に、先の池田博昭会長もい

らっしゃいます）が作り上げている組織があります。私はOiaにもかわらせていただいています。Oiaは仲間です。「ポッセ」なのです。こういう仲間の中から、新しい価値が生み出せるのだと思っています。

また、これからはワーク・ライフ・バランスを考える必要があります。チャリー・チャプリンが、映画『モダン・タイムス』の中で演じているような、人が機械の一部のように使われている時代は過ぎ去りました。これからは自分の好きなことを見つけて、それを行っていく時代なのです。

国の繁栄・都市の繁栄を決める クリエーティブ・クラス

二〇一二年刊行のリンダ・グラットン著『ワーク・シフト』の非常に明快なメッセージは、「これからは死ぬまで働く時代」「年金とか退職金ももらえる時代」はとくに過ぎ去った、とい

うことです。年金や退職金は完全にゼロではないかもしれませんが、それでは到底食べていけない時代になるのです。ですから彼女は、働き方はカリヨン（幾つもの小さな釣り鐘）・ツリー型に変えるべきだと主張しています。つまり、寄らば大樹、のような大きな釣り鐘だけにしがみついた時代ではないのです。小さな鐘でも、より好きな鐘を死ぬまで鳴らし続ける、そんな時代を迎えるのです。株価チャートのように上がった下がつたりしますが、自分のやりたいこと、好きなことを大切にすることが重要だ、というメッセージです。

漫然として迎える未来は、孤独な貧困が待ち受けている。主体的に築く未来は、自由で創造的な未来がある。だから未来図を描くためには、いらないものを捨てる。大切な要素を肉付けしなさい、足りない要素を探して頑張らなさい、集めた要素を分類し直して一つの絵柄を見つけて出さなさい、と。自分のワーク・ライフ・バランスを考えながら、やりたいことを見つけてく



■ 就実大学経営学部長 杉山 慎策

四九年 岡山県生まれ。七一年 岡山大学法文学部経済学科卒業。
一九七一年 七二年度 ローターリー財団奨学生（スポンサー 岡山北ロータリークラブ）としてアメリカの西ワシントン州立大学大学院経済学研究科（修士課程）留学。七二年 岡山大学法文学部副手を経て、資生堂入社。八九年 資生堂UK取締役社長。九二年 資生堂本社国際広報課長。九五年 日本リーバ（現ユニリーバ・ジャパン）入社、理事。九九年 マテル・ジャパン代表取締役社長。〇一年 日本ロレアル取締役副社長。〇三年四月〜〇八年三月 東京水産大学（現東京海洋大学）客員教授。〇六年四月 立命館大学経営管理研究科教授。一一年四月〜一三年三月 岡山大学教授、立命館大学大学院講師。一三年四月 就実大学教授、岡山大学講師。一四年四月 同大学経営学部長 現在に至る。著書に『愛しのイギリス』日本経済新聞社、一九九四年、『日本ジーンズ物語』吉備人出版、二〇〇九年など。岡山ロータリークラブ会員。

ドン・ビジネス・スクール教授のリンダ・グラットンとは、今の大きな変化には五つの要因があると言っています。①テクノロジーがすぐく変化している、②グローバル化が進展している、③人口構成が変化して長寿化している、④個人、家族、社会の関係が変わる、⑤エネルギーと環境問題が深刻化する、の五つです。

最初の「テクノロジーの変化」ですが、スマートフォンとかPadとか、恐ろしいほどの変化が今、起きています。世界の七〇億人の中の五〇億人が、インターネットで結ばれる時代です。アラビア数字とアルファベットと@（アットマーク）で世界中の人が結びついてしまったのです。残念ながら、そこにはひらがなもカタカナも漢字も入っていません。実際に私もフェイスブックをしておりませんが、毎日アメリカ、フランス、イギリスなどの友人とつながっています。クラウドコンピューティング（データを自分のパソコンや携帯端末などではなく、インターネット上に保存する使い方、サービスのことも大きく変わります）。

最近、岡山県中小企業団体中央会の池田博昭会長に支援いただき、地域デザイン学会の中国地区部会を開催しました。慶應大学の村上敏也先生にツイッターのビッグデータを分析してもらって、岡山の観光資源がどのようなキーワードと連動しているか、研究発表をしていただきました。二〇世紀は企業の時代である、とされているのに対し、ドラッカーは二一世紀はNPO（民間非営利団体）とかNGO（非政府組織）の時代になると予測していますが、私は、正直

そんな時代は来ないと思っております。

しかし、どうもそのような時代になりそうです。片一方には大きな企業と中小企業の元氣な企業がいて、もう一方ではNPOとかNGOとかいっぱい出てくる時代、そういう時代なのだろうと思います。

知識のデジタル化が進み、メガ企業とミニ起業家が台頭する、バーチャルな空間でアバター（チャットなどのコミュニケーションツールで、自分の分身として画面上に登場するキャラクター）を利用する人工知能のアシスタントが登場し、テクノロジーが人間の労働にとって代わる時代が来るのだろう、と思います。

グローバル化の進展について言えば、二四時間、週七日、休まない、グローバルな世界が出現しました。新興国がどんどん成長を遂げています。一九七〇年代に、私は初めて中国とインドに行きましたが、正直、両国がこのような発展を遂げるとは考えもしませんでした。たかが三〇年、四〇年の間にそれだけの変化が起きた。これからもっとその変化は加速するでしょう。

その中で、都市化が世界中で進行します。国同士の戦いから都市同士の戦いに変化し、バブルの形成と崩壊は繰り返されます。実際に中国のバブルも多分崩壊するでしょう。人口構成については、絶対的長寿化の時代を迎えるでしょう。団塊の世代が老後を迎えるこの時代は、先進国で大変大きな問題になってきます。

社会が変わり、家族の在り方が変わる。女性の力が強くなる。政府や大企業への不信感が高

くなり幸福感は相対的に弱まります。

エネルギー環境問題は深刻化しています。先ほど、フクシマの話をしました。南太平洋のツバルは、あと数十年すると温暖化による海面の上昇でなくなってしまう可能性があります。ツバルの人にとっては大変なことですが。

日本は一九七〇年代初頭のエネルギー危機の中で、原子力政策を推進しました。その結果、高い原油に左右されないで、比較的安価な電力を長年享受することができました。この基本政策は、恐らく二〇一一年三月一〇日まででは正解だったでしょう。しかし三・一一以降をどうするのか。そういう問題が私たちに突き付けられているのだろうと思います。

未来に向けた「三つのシフト」を考えなさいというのが、先のリンダ・グラットンの意見です。一つには「未来は延長線上にはない」ということです。私たちの世代、特に団塊の世代は高度経済成長の恩恵も受け、バブルも知り、バブル後の失われた一〇年、二〇年も知っています。しかし、根底では「何とかなる」と思っている方が結構多いかもしれません。グラットンとは、私たちの世代から大きく二つに分かれると予測しています。ちゃんと安泰に暮らせるグループと、ものすごく苦しくなるグループです。

このような中で自ら好きなことを見つけ、それをやり遂げる人にはかなわない、と言っています。アップルの創業者の故スティーブ・ジョブズは「朝目覚めて顔を洗う時に、今日これからやろうとしていることが、本当に自分のやりたいことなのか」を自分に問え、と言っています。

は地球の未来に対して、かなりの危機感を持っているのだらうと思います。

キングは、アメリカのシステム工学の専門家のデニス・メドウズ（一九四二）に委託して、未来予測をしたわけです。この予測によると、人口が二〇五〇年に一〇〇億になる。世界人口は二〇一二年には七〇億を超えて、この人口予測のグラフにびったりとあてはまっています。

『成長の限界』の中に含まれている理論は、経済学者トマス・ロバート・マルサス（一七六六～一八三四）の『人口論』です。人口が幾何級数的に伸びるのに対して、食糧は算術級数的にしか伸びない。だから人口増加はいつか歯止めがかかるだらう、という理論です。実際は必ずしもこの予測通りにはなっていない。地球人口が仮に一〇〇億人を超えても、牛肉とかカツオなどのような高級食材でなく、フード・エフィ

シエンシー（food efficiency 食料効率）の良いもの、例えば、トウモロコシとか小麦、米などを食べていけば、人口は一二〇億～一三〇億人くらいは維持できそうです。

もう一つ、『成長の限界』の中で注目したいのは汚染ということについてです。汚染は、二〇三〇年ぐらいがピークになるだらうと予測されています。今、PM二・五が大きな問題になっていますが、この問題は一国にとどまらず世界中に拡散していくものです。また、フクシマの原発事故による放射線も拡散し続けています。このような時代に人はどのように生きていくべきなのか、真剣に考える必要があります。中国の古典『易経』に「天地人三才」という言葉があります。天という大きな器の中に大地があり、その大地の上で人が働いていて、その人が新しい価値を作り出すという考え方です。火を手に入れることによって、飛躍的に地球上の人類の文明度が上がっていき、文明によって文化がつくられますが、所詮、全てこの天の中の活動、営みであり、人は何をなすべきか、真剣に考える時になっているのではないのでしょうか。何をすべきなのか、あるいはしてはいけないのか、というようなことを、少し真剣に考えていかねばならないのだと思います。

世界で進行する都市化

先ほど、ピーター・ドラッカーが三つの大きな変化があると述べている話をしました。ロン

未来予測

このように高い価値を持つ専門技能を持つ人、つまり、スベ
シャリストが必要なのです。本当の価値のためには、ダイヤ
モンドのように希少性があるとか、模倣されにくいものを作
っていないといけません。

就実大学経営学部長・1971 - 72年度 ロータリー財団奨学生

杉山 慎策

Shinsaku Sugiyama

何をすべきか 何をしてはいけないか

変化の激しい時代、未来予測はなかなか難し
いものです。私の学生時代は、学園紛争の真っ
ただ中でした。東京大学の学園紛争からスター
トし、京都大学に波及し、その後、岡山大学に
も飛び火しました。学園紛争とはそもそも一体
何のためだったのか、いまだに理解できないで
います。

日本人は、どちらかというと物事を突き詰め
て考えるのが得意な人種ではないのかもしれま
せんが、優秀な多くの若者たちが熱狂的に参加
した学園紛争は、何のためであったのか、また、
その社会的意義は何だったのか、私自身にとっ
ては謎です。

精神科医の岸田秀（一九三三〜）氏は、著書
で「戦後の民主主義の幻想」などと、学園紛争
を解説されています。私たちの世代は「ベビー
ブーマー」と言われますが、この反体制運動は
世界中で起きていました。日本の学生たちは「ベ
トナム戦争反対」とか言っていました。実際に
アメリカに留学し、アメリカの若者たちの中
に入ってみると、「兄が徴兵されベトナムに行
く」と言っているのを見ました。アメリ

カは結構病んでいる、というのがその時の印象
でした。

一九六九年に、経済学者のピーター・ドラッ
カー（一九〇九〜二〇〇五）が『断絶の時代』
という本を書きました。その本の中で、①これ
からは新しい知識社会（knowledge society /
レジソサエティー）の時代に入る、②グロー
バル化がごく進展する、③一つの価値ではな
くていろいろな価値がある「多元価値」の時代
に入っていく、と予言しています。『断絶の時代』
は脚光を浴びたのだろうと思いますが、私の周
りの学生も先生も、それほどすごいという評価
はしていません。今読み返して、ドラッカーの
すごさをあらためて認識しています。その重要
性に当時気づけなかった自分を恥じています。

この本の少し後、一九七二年に『成長の限界』
という本が出版されました。私の記憶では、
おそらくドラッカーの本よりもっと注目されたよ
うに思います。いずれにしても、この二冊の本
が出た後、日本は高度経済成長に入り、バブル
崩壊まで浮かっていたのだろーうと思います。

この『成長の限界』とは、ローマクラブとい
う組織が提唱したものです。ローマクラブは、
イタリアのオリベッティ社の会長だったアウレ
リオ・ペッチェイ（一九〇八〜八四）が、イギ
リスの科学者で政策アドバイザーであったアレ
キサンダー・キング（一九〇九〜二〇〇七）と
一緒に設立した団体です。この本はペッチェイ
がキングに依頼し、地球の未来を研究しよう、
ということを発表されたものです。ペッチェイ

11月はロータリー財団月間です
11月3日～9日は世界インターアクト週間です

THE ROTARY-NO-TOMO

未来予測

■就実大学経営学部部長
一九七一年度ロータリー財団奨学生 杉山 慎策

4
73

シリーズ わがまち……そしてロータリー…… 9
68

どんだから再生へ 町を愛する人たちの底力

北海道 赤平市

文・宮本 貢 写真・水村 孝

友愛の広場

時は移つて

ロータリアンに輝きを

アメリカインディアンと日本人

益成RC会長の結婚式に参列して

まず自分の行いを正しくし

ユジノサハリンスクRCの宮西豊氏を訪ねて

京都西北 島崎 俊夫

松山 佐藤 昭美

出雲中央 山口 孝之

門真 泉 光典

成田 平山 秀樹

神戸南 米谷 収

八戸 峯 正一

白杵 丸岡伸比古

My Road to Rotary

●バナー自慢

卓話の泉

電気火災について

中国の医療事情

酒の歴史

横浜港北 吉田 成美

西川 哲男

相原 勝

ロータリー 俳壇

ロータリー 歌壇

ロータリー 柳壇

◆長谷川 權 選 20
57

◆馬場あき子 選 20
57

◆てしま晩秋 選 20
57

ロータリー・アット・ワーク

シューズバンクプロジェクトと
創立20周年

東京練馬中央ロータリークラブ

〈写真〉前橋・前橋RAC／砂川／入間／

京都中・華頂女子中学高等学校・IAC／

第2660地区／大阪西南大阪西南RAC／

江田島／横手

青少年交換事業と初めてのホームステイ

ミャンマーのヤングンで奉仕活動

チャレンジしましょう サーフセラピー

トライアスロン大会サポート

痛くて楽しい健康例会

早期復興に向けて「絆号」贈呈

第一九回全日本RC親睦合唱祭

第二回福モモコンサート

選手と福島を応援する太鼓フェスタ開催

元気な子どもたちに移動式プール寄贈

●内外よろず案内

表紙のメッセージ

岡井 耀毅

30
47

表紙 横組み 「霞ヶ浦の日の出」 豊島 泰之(二七七〇 浦和東)

縦組み 「京都清水寺の夜景」 浅岡 謙治(二七六〇 岡崎東)

表紙題字 加藤 光峰

表紙レイアウト 箕牧 彰

●横組みの目次は、反対側の表紙を開いた4～5ページにあります。
●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

22
55

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

ROTARY
JAPAN
Home Page
www.rotary.or.jp

ポリオのない世界まで あと少し

子どもたちが、ポリオによって二度と体の自由を奪われないよう
今こそポリオを世界から撲滅しましょう。

歴史に1ページを刻むために
募金、認識向上、支援の働きかけにご協力ください。

endpolionow.org/ja



あと少し

Jack Nicklaus

ロータリーの友

THE ROTARY-NO-TOMO NOVEMBER 2014 VOL.62 NO.11

ロータリーの友11月号 第62巻 第11号
平成26年11月1日発行(毎月1回1日発行)
通巻743号 昭和28年1月創刊
昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

11
2014



SPEECH ———

未来予測

杉山 慎策

わがまち……そしてロータリー
北海道赤平市

Rotary 